取扱説明書

形名 **WS003SH**

かんたん操作ガイド

SHARP®

はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または、ウィルコムサービスセンターまでご連絡ください。
別添の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この『取扱説明書』をよくお読みになってからご使用ください。また、この『取扱説明書』は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役にたちます。
- 当社は、この製品の使用誤り、ご使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き一切その責任を負いません。
- 当社は、この製品において内蔵ソフトウェアや追加ソフトウェアを使用された結果に関しては、いかなる保証も致しかねますので、あらかじめご了承のほどお願い申しあげます。
  なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- お客様または第三者がこの製品の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは記憶内容が変化・消失するおそれがあります。
- 次のことを必ずお守りください。
  重要な内容は必ず控えを取っておいてください。動作確認済みの市販のminiSDカードにバックアップ（保管）することができます。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

ご使用前に、「安全にお使いいただくために」（☞0-6ページ）を必ずお読みください。

公衆サービスについて

ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされるときは、契約手数料がかかります。また、契約申込後は毎月の基本料金と通話料がかかります。

くわしくは、下記ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

- ●ご契約内容(加入、変更、引越等)
- ●オプションサービス
- ●この製品の紛失
- ●基本料金・通話料等
- ●サービスエリア
- ●その他、通信サービスについて

ウィルコムサービスセンター

受付時間:9:00〜21:00
(日・祝日を除く)
この製品から……………………局番なしの116(無料)
一般加入電話・公衆電話から…0120-921-156(無料)
(携帯電話・PHSからもかけられます。)　番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

ウィルコムのデータ通信に関してのお問い合わせ窓口

受付時間:9:00〜21:00
(日・祝日も受付)
この製品から……………………局番なしの157(無料)
一般加入電話・公衆電話から…0120-921-157(無料)
(携帯電話・PHSからもかけられます。)　番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

もくじ

3　PIM機能

4　映像と音楽

5　パソコンとの連携

6　その他の機能

7　設定

8　付録

この製品には、本書で説明している以外に次のプログラムがあります。

- Word Mobile
- PowerPoint Mobile
- Excel Mobile
- Picsel PDF Viewer

これらの説明は、付属のGetting Started CDに収録されている『Windows Mobile 5.0 Office アプリケーションマニュアル』または『Picsel PDF Viewerマニュアル』をご覧ください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠ 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図表示の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

⃠ 記号は、してはいけないことを表しています。

❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

■ WS003SH本体の取り扱いについて

⚠ 警告

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。

- 万一、異物(金属片・水・液体)が製品の内部に入った場合は、まずACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

- 指定のACアダプターや充電池をご使用ください。指定以外のACアダプターや充電池などを使用すると、火災・事故の原因となります。

この取扱説明書の用紙は、再生紙を使用しています。

⚠警告

- 屋外で雷が鳴っているときは、使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

- 交通事故の原因になりますので、自動車・バイク・自転車などを運転中は使用しないでください。自動車・バイク運転中の使用は法律で禁止されています。自動車・バイク・自転車などを安全な場所に止めてからご使用ください。

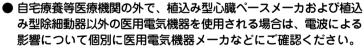
- 航空機など使用を禁止された区域では電源を切ってください。航空機内での使用は禁止されています。
  ただし、ワイヤレスLAN装着のある航空機内において、この製品から当該ワイヤレスLANシステムに接続して使用する場合は、離着陸時を除き内蔵ワイヤレスLANを作動させることができます。

- 通話するときは周囲の安全を確認してから、使用してください。安全を確認せずに通話すると、転倒や交通事故などの原因になります。

- 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどから離して携行および使用してください。
  電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与えることがあります。

- 満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、この製品の電源を切ってください。
  電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与えることがあります。

- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
  - ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、この製品を持ち込まないでください。
  - ・病棟内ではこの製品の電源を切ってください。
  - ・ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、この製品の電源を切ってください。
  - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

- 自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器に影響を与える場合があります。
  ご注意していただきたい電子機器の例：心臓ペースメーカ、補聴器、その他医療用電子機器、火災報知器、自動ドアなど。心臓ペースメーカやその他医療用電子機器をお使いの場合は、各機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

- 心臓の弱い方は、バイブレータや着信音の設定に注意してください。

⚠注意

● ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。バイブレータを設定しているときも、ご注意ください。

● 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与えたり、この製品に影響を受けたりする場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、このようなときは使用しないでください。

● 皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め医師の治療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

● miniSDカードやW-SIMを取り外すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがスロットに確実に装着されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。miniSDカードやW-SIMを装着しているカードスロットを顔の方に向けて、取り付けたり、取り外さないでください。急に指を離すと、カードが飛び出し危険です。

■充電池の取り扱いについて

⚠危険

● 充電池(リチウムイオン充電池)について、次のことをお守りください。発熱・発火・破裂の原因となります。
- ・この製品で使用できる充電池は、EA-BL12です。これ以外の充電池は使用しないでください。
- ・装着するとき、充電池の向きが決められています。この製品にうまく装着できないときは、無理をしないで、充電池の向きを確かめてください。
- ・充電には、付属のACアダプター(EA-75)以外のものを使用しないでください。また、充電池は指定機器以外の機器には使用しないでください。
- ・直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所(60℃以上)に放置しないでください。
- ・釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- ・外傷、変形の著しい充電池は使用しないでください。
- ・分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
- ・水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
- ・端子をショートさせないでください。金属小物(鍵、アクセサリー、ネックレスなど)と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
- ・電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。

⚠危険

● 充電池からもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。障害を起こすおそれがあります。

⚠警告

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。

・電子レンジや高圧容器に入れないでください。
・水や海水に浸けたり、雨滴などでぬらさないでください。万一、ぬれた場合には、直ちに使用を止めてください。
・充電池から液がもれたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。
・液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
・充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

⚠注意

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。

・小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。

・乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児がこの製品から取り出さないように注意してください。

・充電は必ず５～35℃の範囲で行ってください。

・充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。

● 充電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

● 充電池を本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、充電池を本体に装着しないでお買いあげの販売店にご持参ください。

■ ACアダプターの取り扱いについて

⚠警告

● WS003SH本体に接続するACアダプターは、必ず付属のEA-75を使用してください。他のACアダプターは使用しないでください。

● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

● 付属のACアダプターはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

● ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

● 次のことをお守りください。火災や感電の原因となります。

・ACアダプターを水やその他の液体につけたり、ぬらしたりしないでください。

・ACアダプターおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。

・お客様による改造や分解・修理はしないでください。

・ACアダプターに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

・ACアダプターに針金などの金属を差し込んだりしないでください。

・コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

● 使用されないときには、安全のため、ACアダプターをコンセントおよび本体から外しておいてください。

● 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外しお買いあげの販売店にご連絡ください。

● 雷が鳴りはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

● 長期間使用されないときには、安全のため、ACアダプターをコンセントおよび本体から外しておいてください。

⚠注意

- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。
  - ・ 周囲温度0～40 ℃、湿度35～85％の範囲でご使用ください。
  - ・ 直射日光の当たる場所では使用しないでください。
  - ・ ほこりの多い場所に置かないでください。
  - ・ 落下させたり衝撃を与えないでください。
  - ・ つけ根部分を無理に曲げないでください。
  - ・ 重いものを載せないでください。
  - ・ 電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
  - ・ 布などでくるまないでください。

■付属 CD-ROM の取り扱いについて

⚠警告

- 付属のCD-ROM は、一般オーディオ用のCD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量によって耳に被害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

使用上のご注意とお手入れのしかた

持ち運ぶときや使用しないときは、必ずキーボードを閉じて、付属のソフトケースに入れてください。
ソフトケースに入れずに持ち運ぶと、画面が割れたり傷ついたりします。

日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
高温により、変形や故障の原因となります。

落としたり、ズボンのポケットに入れたり、満員電車の中などで強い衝撃や力を与えたりしないでください。また、ハンドストラップなどをご使用になり、落とさないようにしてください。
故障や破損の原因となります。

表示部を開いた状態で表示部だけを持って移動したり、振り回したりしないでください。
本体が外れ、落ちて破損したり故障の原因となります。

画面は、ときどき乾いた柔らかい布でふいて、汚れないようにしてください。
汚れたまま画面にタップすると傷つくことや、スタイラスペンのすべりが悪くなることがあります。

お手入れは、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。
シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

ホコリの多い場所や湿度の高いところに置いたり、使用しないでください。
故障の原因となります。

画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。
画面などを傷めることがあります。

スタイラスペンの先や画面の汚れを取って操作してください。
汚れたまま操作すると、画面に傷がついたり、スタイラスペンのすべりが悪くなることがあります。

本体の上に書類などをのせないでください。
誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。

使用中に、強い磁石を近づけないでください。
故障の原因となります。

突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。
入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、破損の原因となります。

防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

長時間使用していると（特に内蔵ワイヤレスLAN使用時など）、この製品は温かくなりますが、故障ではありません。

・この製品では、W-SIMにデータを保存することはできません。

●内蔵カメラについて

・レンズに直射日光があたらないようにしてください。直射日光があたる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
・大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。

●USBポート／カードスロットについて

・USBポートやminiSDカードスロットなどにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記憶内容の消失の原因になります。
・USBポートやminiSDカードスロットなどにはカバーがあります。使用していないときは、カバーを閉じてください。

●液晶表示について

・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
・画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。
・画面タップの操作は、付属のスタイラスペンを使ってください。鉛筆やシャープペンシルなど先のとがったものは、使わないでください。

●公衆の場で使用するときは、まわりの方に迷惑にならないようにご注意ください。

●ハンドストラップについて

ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。ハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っぱるなどストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

●この製品が持つPHS電話機能は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

著作権等に関するお願い

音楽用CD等各種CD、TV映像等、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、他人の肖像が含まれる画像データを利用する場合、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。
著作権にかかわる画像やサウンドの伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。
実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、この製品にはデジタルカメラ機能が搭載されていますが、このデジタルカメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

・Microsoft、ActiveSync、Outlook、Word Mobile、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、Windows、Windows Media、Windowsロゴ、MSNロゴ、Officeロゴは、米国およびその他の国における米国マイクロソフト社の登録商標または商標です。

・この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。
Powered by JBlend™. Copyright 1997-2005 Aplix Corporation.
All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

・ miniSD™はSDアソシエーションの商標です。

・Contains Macromedia® Flash™ Player technology by Macromedia, Inc., Copyright ©1995-2005 Macromedia, Inc. All rights reserved.
Macromedia, Flash and Macromedia Flash are trademarks or registered trademarks of Macromedia, Inc. in the United States and internationally.
（MacromediaによるMacromedia® Flash™ Player技術を含む。
著作権 ©1995-2005 Macromedia。すべての権利は留保される。
Macromedia、Flash、およびMacromedia Flashは、米国内および海外における、Macromediaの商標または登録商標である。）

・This product contains software copyright © Beatnik, Inc. 1996-2002.

・Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。

・Picsel, Picsel Powered, Picsel Viewer, Picsel PDF Viewer, Picsel Document Viewer and the Picsel cube logo are trademarks or registered trademarks of Picsel Technologies and/or its affiliates.

・その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

ワイヤレスLANに関するご注意

・電波法に基づく適合証明について

この製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、この製品を使用するときに、無線局の免許は必要ありません。

ただし、下記のことは行わないでください。法律に罰せられることがあります。

・この製品に内蔵のワイヤレスLANモジュールを分解、改造する

・この製品の銘板をはがす

2.4DS4

①「2.4」：使用する周波数帯域を表します（2.4GHz帯）。

②「DS」：変調方式を表します（DS-SS変調方式）。

③「4」　：想定される与干渉距離を表します（約40m）。

・電波干渉に関するご注意

この製品の使用周波数帯は2.4GHzです。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この製品の使用前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、またはこの製品の運用を停止してください。
3. 医療機器（心臓ペースメーカ）などの動作に影響を与える場合がありますので、病院内などにいる時や、混雑した場所（満員電車の中など）、ワイヤレスLANを使用していない時は、ワイヤレスLANのアンテナを無効にしてください。

・使用上のご注意

この製品に内蔵されているワイヤレスLANは、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

ご注意

- **本品は、総務省の技術基準に適合しています。**
- **本品に付されている表示は、その証明マークです。**
- **表示マークの付された製品を総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。改造すると法律により罰せられます。**

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

ワイヤレスLANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用して、この製品とワイヤレスアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる
　　悪意のある第三者が、電波を故意に傍受し、
　　　IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
　　　メールの内容
　　等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
・不正に侵入される
　　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　　　個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
　　　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
　　　傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
　　　コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
　　などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレスアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレスLAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
ワイヤレスLAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレスアクセスポイントをご使用になる前に、必ずワイヤレスLAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、ワイヤレスLANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
※他社製のワイヤレスLAN機器をお使いの場合は、各製品のマニュアルを参照してください。
当社では、お客様が、セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のワイヤレスLANのセキュリティに関するガイドラインについてはこちらをご参照ください。
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/wirelessLAN2/index.html

取扱説明書の表記

ボタンやキーの表記

・画面上のメニューやボタンなど … ・ メニュー などと表記します。
・表示部のボタン …………………………… ・画面（表示部）の下のボタンは、『ok ボタン』などと表記します。
・カーソルボタンは、『カーソル ボタン』と表記します。
・キーボードのキー ……………………… ・『A キー』などと表記します。
・キーの上に表示されている「Del」などの機能は、『BS（Del）キー』などと表記します。

操作手順の表記

この製品を操作するには、次の2つの方法があります。
・ボタンやキーを押して操作する
・スタイラスペンで画面にタップして操作する
※主に縦表示の場合を説明しています。

マーク

MEMO …… 補足的なことを説明しています。

ご注意！ …. 注意していただきたいことを説明しています。

☞ …………… 参照する取扱説明書のページを指しています。

表示画面

・本書に記載されている画面例は、縦表示のものを掲載しています。
・本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。
※この取扱説明書に記載しているお問い合せ先の電話番号や時間帯、各種サービスの電話番号などは、2005年11月現在のものです。

かんたん操作ガイド

この製品を使って電話やメールをする

この製品ではPHS電話機能を使って、電話・メール・ライトメール・ホームページ閲覧などができます。
また、内蔵ワイヤレスLAN機能を使って、メール・ホームページ閲覧などができます。

電話をかける
電話をうける

ライトメールを送信／受信する

ご購入してすぐに、電話、ライトメールができます。

◆電話　　　：2-2ページ
◆ライトメール：2-56ページ

メールを送信／受信する

ホームページを見る

PHS電話機能または内蔵ワイヤレスLAN機能で、次の設定をすると使えます。

① 内蔵PHSでインターネットに接続

オンラインサインアップ（☞2-26ページ）をすると、メールアカウントなどインターネット接続に必要な情報がウィルコムのセンターより送られ、この製品に自動的に設定されます。

② 内蔵ワイヤレスLANでネットワークに接続

内蔵ワイヤレスLANを使った設定（☞7-2ページ）、メールアカウントなどの設定（☞2-46ページ）をします。

ネットワークには、①または②どちらか一方で接続します。
同時に両方の方式で接続はできません。

- お持ちのインターネットプロバイダーの情報などを設定しても、メールの送受信やホームページの閲覧ができます。

PHS電話機能でインターネットに接続

PHS電話機能でインターネットに接続しているときは、画面上部にが表示されます。
が表示中は、インターネットに接続中です。

ご注意！

- ホームページ閲覧中など（このアイコン表示中）は、電話をかけたり受けたり、ライトメールの送信／受信はできません。

内蔵ワイヤレスLANでネットワークに接続

内蔵ワイヤレスLANでネットワーク接続中は、画面上部にが表示されます。が表示中は、ネットワークに接続中です。

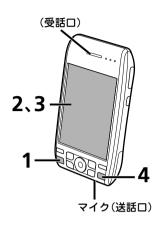
- 内蔵ワイヤレスLANでネットワーク接続中（このアイコン表示中）でも、電話をかけたり受けたり、ライトメールの送信／受信ができます。

ネットワークを切断するときは

- **インターネットから切断するときは PWR ボタンを押すか、にタップし表示されたウィンドウの 切断 にタップします。**
- **ネットワーク（内蔵ワイヤレスLAN）から切断するときは、7-4ページをご覧になり内蔵ワイヤレスLANを無効（オフ）にします。**

ご注意！

- ホームページ閲覧後、okにタップして画面を消しても、ネットワークは切断されていません。

電話をかける

1 電波状態が良好であることを確認し（☞1-4、1-17ページ）、[通話]ボタンを押します。

電話（ダイヤル）の画面が表示されます。

2 画面のダイヤルボタンをタップして電話番号を入力します。

番号を間違えたときは、[クリア]をタップして入れ直します。

3 [通話]または、画面左下の[発信]にタップします。

電話番号が点滅してダイヤルされ、電話がかかります。

4 通話が終わったら、[PWR]ボタンを押します。

ご注意！

- 通話中、電話画面で[×]をタップしても電話は切れません。
  電話を切るときは[PWR]ボタンを押してください。

- マイクは[✉]ボタンの下側にあります。ふさがないように通話してください。
- 一般電話に電話をかけるときは、必ず市外局番から入力してください。
- 通話を保留にするときは画面左下の[キー表示]にタップしてダイヤルボタンを表示したのち、[保留]にタップします。解除するときは[保留解除]にタップします。
- ご購入時、自分の電話番号は相手に通知する設定になっています。設定の変更は2-103ページ、2-16ページをご覧ください。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、

- 着信音が鳴ります。
- 電波状態ランプ（Y）が青色点滅します。
- 画面に相手の名前や電話番号が表示されます。

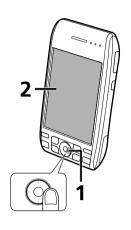
2 [発信]ボタンを押し、相手と話をします。

3 通話が終わったら、[PWR]ボタンを押します。

ご注意！

- 通話中、電話画面で✕をタップしても電話は切れません。
電話を切るときは[PWR]ボタンを押してください。

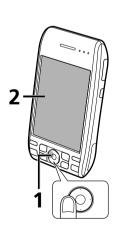
- マイクは[✉]ボタンの下側にあります。ふさがないように通話してください。
- 通話中に相手の声の大きさを変えるときは、右側面にある音量調節ボタンを押します。
- 着信の設定は変更できます。
  - ・着信音を鳴らさない（☞2-93ページ）
  - ・着信をバイブレータで知らせる（☞2-96ページ）
  - ・着信音を変更する（☞2-94ページ）
  - ・電波状態ランプを点滅しない（☞2-98ページ）。
- 着信の履歴は、電話の画面で(カーソル)ボタンの左を押して確認できます（☞次ページ、2-7ページ）。

前にかけた相手にもう一度かける(リダイヤル)

1 ダイヤル画面で、(カーソル)ボタンの右を押します。

発信履歴画面が表示されます。

2 リストからかけたい相手をタップします。

3 電話がかかります。

かかってきた相手にかけ直す

1 ダイヤル画面で、(カーソル)ボタンの左を押します。

着信履歴画面が表示されます。

2 リストからかけたい相手をタップします。

3 電話がかかります。

着信音を変える

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を、あらかじめ登録されているパターンやこの製品に保存した音楽ファイルから設定します。

1 スタートメニューの“設定”にタップし、“着信音/バイブ”にタップします。

2 メロディタブにタップし、電話・ライトメール・メールの各欄のにタップして、表示されたメニューから設定する音を選択します。

保存している音楽ファイルを着信音にするときは

表示されたメニューから《ファイル参照》にタップし、リストより音楽ファイルをタップします。

3 画面右上のokにタップします。

自分の電話番号を見る

1 ダイヤル画面を表示します。

2 画面右下のメニュー－自局番号表示にタップします。

マナーも携帯しよう

この製品を使うときは、周りへの心くばりを忘れないようにしましょう。

◇鉄道やバスでは…
新幹線や電車、バスの中では、車内アナウンスや掲示ルールに従いましょう。

◇飛行機などでは…
使用を禁止されている場所では、電源をオフにしましょう。

◇病院内では…
必ず医療機関の指示に従いましょう。

◇劇場、図書館、美術館などでは…
着信音で迷惑にならないように、電源をオフにしておきましょう。

◇ホテルのロビーやレストランなどでは…
静かな場所では、周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。

◇カメラを使うときは…
撮影や画像送信するときは、著作権や肖像権、プライバシーなど他人の権利を侵害しないように充分に配慮しましょう。

ご注意！

- **運転中の使用は大変危険です。**
  自動車やバイクの運転中に使用することは法律で禁止されています。
  運転中は留守番電話や安全運転モードに切り替えましょう。
- **歩行中や自転車に乗りながらの使用は控えましょう。**
  歩きながら、自転車に乗りながらの通話・メールなどの使用は、周囲への注意がおろそかになり大変危険です。通行の邪魔にならない安全な場所に止まるなどしてご利用ください。

マナーを守るための機能について

◇マナーモード（☞1-15、2-100ページ）
着信音をオフ、バイブレータをオンなどにします。

◇安全運転モード（☞1-15、2-101ページ）
相手に運転中で電話に出られないことを伝えます。

◇伝言メモ（☞1-15、2-102ページ）
電話に出られないときに、相手のメッセージをこの製品に録音できます。

◇バイブレータ（☞2-96ページ）
着信などを振動で知らせます。

◇無線ON／OFF（☞7-4、7-38ページ）
PHS電話機能、内蔵ワイヤレスLAN機能を停止します。

◇留守番電話サービス（有料）（☞2-111ページ）
ウィルコム留守番電話センターが応答し、メッセージをお預かりします。

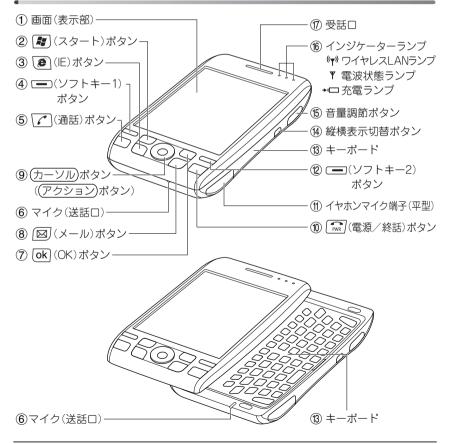
1　基本操作

基本的な使いかた

この製品の基本的な使いかたについて説明します。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとその働きを覚えましょう。

正面・右側面

① 画面（表示部）

各種のデータを表示します。また、付属のスタイラスペンでタップして操作します（☞1-14ページ）。

② (スタート)ボタン
スタートメニューを表示し、プログラムを起動したり、設定画面を表示したりします(☞1-27ページ)。

③ (IE)ボタン
“Internet Explorer Mobile”を起動します。

④ (ソフトキー1)ボタン
画面左下(メニューバー)の 新規 などにタップと同じ働きをします。

⑤ (通話)ボタン
電話をかけるときや電話を受けるときに使います(☞2-2ページ)。

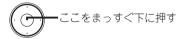
⑥ **マイク(送話口)**
自分の声をここから伝えます(☞0-22ページ)。

⑦ ok (OK)ボタン
画面右上の ok または ✕ にタップするのと同じ働きをします。

⑧ (メール)ボタン
・“メール”を起動します(☞2-28ページ)。
・長く押すと“ライトメール”を起動します(☞2-57ページ)。

⑨ **カーソルボタン(アクションボタン)**
上下左右を押すと、カーソルが上下左右に動きます。

アクションボタン
・中心をまっすぐ押すと、キーボードの Enter キーに相当する操作を行います(プログラムや設定画面によって、動きが異なることがあります)。

ここをまっすぐ下に押す

⑩ (電源/終話)ボタン
・通話中の電話を切ったり(☞2-3ページ)、インターネット接続を切断します。
・“予定表”や“Windows Media Player”などのプログラムが終了します。ただし、“電話”、“メール”、“ライトメール”、“バックアップツール”、“ActiveSync”、“ブンコビューア”、“ファイルエクスプローラ”、“Picsel PDF Viewer”などは終了しません。
・ボタンを長く(約2～3秒)押すと、電源の入/切ができます(☞1-11ページ)。

⑪ **イヤホンマイク端子**
イヤホンマイクなどを接続します。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

⑫ (ソフトキー2)ボタン
画面右下(メニューバー)の メニュー などにタップと同じ働きをします。

⑬ キーボード

キーボードを引き出して、キーボードを使って文字を入力できます(☞1-35ページ)。

⑭ 縦横表示切替ボタン

・画面を縦表示から横表示へ切り替えたり、横表示から縦表示に切り替えます。ただし、カメラ撮影時(☞4-3ページ)は、切り替わりません。
・Today画面(☞1-15ページ)で、長く(約2秒)押すと、キーロックします。キーロックの状態になるとボタンやキー、画面にタップしても動作しません(画面下部に🔒アイコンが表示されます(☞1-19ページ))。
キーロックを解除するには、このボタンを長く(約2秒)押します。

⑮ 音量調節ボタン

・通話中、音量(受話音量)の調節をします(☞2-13ページ)。
＋:音量が大きくなります。　**－**:音量が小さくなります。
・通話中以外では、着信音やアラーム音などの音量を調節します。

⑯ インジケーターランプ

この製品の状態をランプの光りかたで表します。

ワイヤレスLANランプ

ワイヤレスLANが使用可能な場合、ワイヤレスLANで通信中に黄緑色点灯します(☞7-2ページ)。

電波状態ランプ

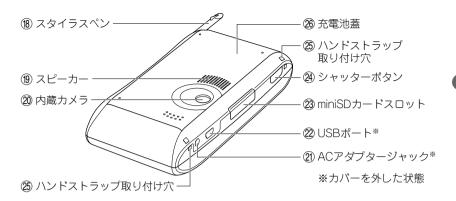
・電話の電波強度を表します(☞1-17ページ)。
タイトルバーの電波状態アイコンと連動しています。
・緑色に点灯　　　　:
・オレンジ色に点灯:
・赤色に点灯　　　　:
・消灯　　　　　　　:圏外(エリア外であることを示します。)
・電話着信時やメール/ライトメール受信時、青色に点滅します。※
・不在着信や未読のメール/ライトメールがあるとき、青色に点灯します。※
※点滅や点灯をする/しないを設定できます(☞2-98ページ)。
ご注意:ホームページ閲覧やメール送信/受信のためにPHS電話機能を使ってインターネットに接続したときは、ランプ(緑色)の点灯/点滅で電波状態を示します。点灯している時間が長いほど電波状態が良好になり、点灯したままの状態が一番強くなります。

充電ランプ(☞1-9ページ)

・オレンジ色に点灯:充電中であることを示します。
・黄緑色に点灯　　:満充電であることを示します。
・黄緑色に点滅　　:予定表などのアラームを知らせます。※
・オレンジ色に点滅:充電中に異常が発生したことを示します。
※点滅する/しないを設定できます(☞7-33ページ)。

⑰ 受話口

通話中に相手の声が聞こえます(☞0-22ページ)。

背面・左側面

⑱ スタイラスペン
画面にタップしたり、画面に文字を書きます（☞1-8ページ）。

⑲ スピーカー
着信音や“予定表”のアラームなどが鳴ります。

⑳ 内蔵カメラ
写真を撮影します（☞4-4ページ）。

㉑ ACアダプタージャック
付属のACアダプター（EA-75）を取り付けます。
他のACアダプターは取り付けないでください。故障の原因になります。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

㉒ USBポート
付属のUSBケーブルを接続し、パソコンと接続します（☞5-5ページ）。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

㉓ miniSDカードスロット
動作確認済みのminiSDカードを装着します（☞1-50ページ）。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

㉔ シャッターボタン
内蔵カメラ使用時、写真を撮影します（☞4-4ページ）。

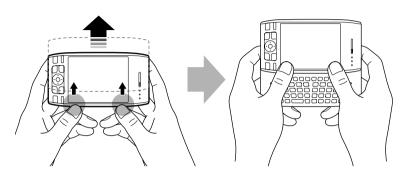
㉕ ハンドストラップ取り付け穴
市販のハンドストラップを取り付けます。

㉖ 充電池蓋
この蓋を外し、充電池を取り外したり取り付けます（☞8-9ページ）。
また、W-SIMを取り外したり取り付けるときも充電池蓋を取り外します（☞8-11ページ）。

キーボードを開く／閉じる

キーボードを正しく開きます。また、閉じます。
キーボードを使う場合、キーボードを開いてから行ってください。

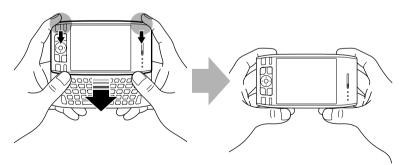
1 ●部分を軽く押して、表示部をスライドさせて開きます。

しっかりと開いてください。

ご購入時の設定は、電源を入れた状態でキーボードを開くと自動的に縦表示から横表示に切り替わります。
キーボード開閉による画面切り替えの設定は、7-44ページをご覧ください。

ご注意！

- カメラ撮影時（☞4-3ページ）は、キーボードを開いたり、閉じたりしても画面は切り替わりません。

2 ●部分を軽く押して、表示部を閉じます。

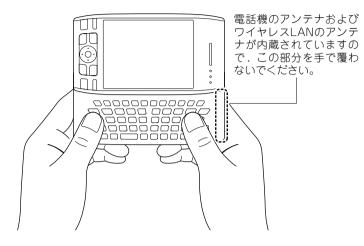
「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

キーボード開閉による画面切り替えの設定は、7-44ページをご覧ください。

- ご自分で画面を切り替えるときは、縦横表示切替ボタン（☞1-2ページ）を押します。

ご注意！

- **持ち運ぶときは**
  必ずキーボードを閉じてください。キーボードを開いたまま持ち運ぶと、破損の原因になります。

キー操作をするときの持ちかたについて

この製品を使って文字入力や登録したデータを見るためにキー操作などを行うとき、下図のように両手でこの製品を下から支えるようにして持つことをおすすめします。

キーロック

誤って画面にタップしたりボタンが押されても動作しないようにできます。

キーロックを設定する

1 Today画面（☞1-15ページ）で、縦横表示切替ボタン（☞1-2ページ）を長く（約2秒）押します（☞1-4ページ）。

Today画面（待ち受け画面）にが表示されます（☞1-19ページ）。
キーロックします。キーロックの状態になるとボタンやキーを押したり、画面にタップしても動作しません。
キーロック中でも電話がかかってきたときは、電話に出ることができます。

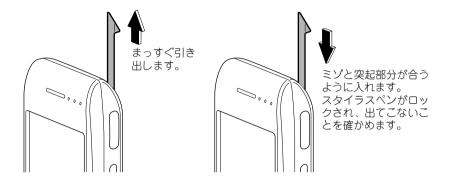
キーロックを解除する

1 電源が入っている状態で、縦横表示切替ボタンを長く（約2秒）押します。

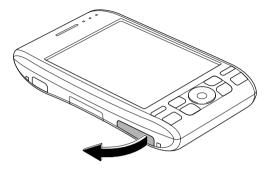
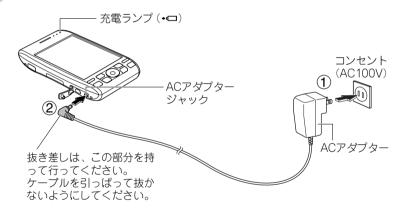
Today画面（待ち受け画面）のが消えます。
キーロックが解除します。ボタンやキーを押したり、画面タップが行えます。

スタイラスペンを取り出す／取り付ける

スタイラスペンを正しく取り出します。また、取り付けます。

スタイラスペンを取り出す　　**スタイラスペンを取り付ける**

充電する

この製品を使用中に充電池が消耗したときは、すぐにこの製品の専用充電器である付属のACアダプター（EA-75）を使って充電池を充電してください（他のACアダプターは使用しないでください）。

1 ACアダプター／USBポートのカバーを開きます。

2 下図のように①、②の順で、ACアダプターを接続します。

充電ランプがオレンジ色に点灯して、充電が始まります。

3 満充電になると、充電ランプが黄緑色になり、充電が完了します。

電源を切った状態で満充電になるまでに、通常、常温25℃で約3.5時間かかります（充電池の残量や周囲温度によって変わります）。
また、この製品を使用しながら充電を行うと、満充電になるまでには長い時間がかかります。使用状態（データ通信や通話など）によっては、消費電流が多いため充電されないことがあります。

4 ACアダプターをこの製品のジャックから抜き、コンセントから取り外します。

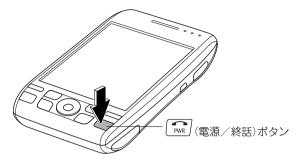
ご注意!

- 必ずこの製品に付属のACアダプター(EA-75)を使用してください。
- ACアダプターを、市販されている「電子変圧器」などに接続しないでください。ACアダプターが故障することがあります。

MEMO

- 充電は、周りの温度が5〜35℃の場所で行ってください。温度が変わると充電時間が長くなることがあります。また、充電は満充電するまで行ってください。
- ACアダプターを取り付けた状態で長時間使用していると、満充電にならずに充電ランプが消え充電が自動的に終了することがあります。
  このようなときは、ACアダプターをいったん取り外し、再度、取り付けると充電ランプが点灯し充電が行われます。USBケーブルを接続している場合、USBケーブルは取り外してください。
- 長時間使用しなかった充電池の充電には、通常より多くの時間がかかります。
- 充電池については、8-8ページをご覧ください。
- 充電中にこの製品やACアダプターが温かくなることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる／切る

1 PWR ボタンを長く（約2～3秒）押します。

2 電源が入り、Today画面（待ち受け画面）が表示されます。

3 電源を切るときは、PWR ボタンを長く（約2～3秒）押します。

- 充電池が消耗して電源が切れた後に、付属のACアダプターを接続しても電源が入らないことがあります。このような場合は、しばらく充電してから使用してください。
- （充電池を交換したときなど）電源が入らないときは、フルリセットしてみてください（☞8-5ページ）。

オートパワーオフで電話着信／ライトメール受信する

ご購入時には、最後の操作から一定時間が経過するとこの製品の電源が自動的に切れるように、オートパワーオフが設定されています（☞7-39ページ）。
オートパワーオフによって電源が切れても、次の場合は自動的に電源が入ります。
・電話がかかってきたとき
・ライトメールを受信したとき
・オンラインサインアップで入手したメールアドレスにメールが送られてきたとき
・予定表などで設定しているアラーム時刻になったとき

また、以下の操作を行うと電源が入ります。
・PWRボタンを含めていずれかのボタンを押したとき
・USBケーブルを接続したとき

- オートパワーオフの設定は変更できます（☞7-39ページ）。
- ワイヤレスLANなどで接続しているときは、オートパワーオフしません。

ご自分で電源を切ったときは

PWRボタンを長く押して電源を切ったときは、電話着信やメールなどの受信はできません。
予定表などで設定しているアラーム時刻になっても自動的に電源は入りません。
ご自分で電源を切ったときは、PWRボタンを長く押して電源を入れてください。
USBケーブルを接続しても電源が入ります。

減光したバックライトを点灯する

自動節電機能（☞7-35ページ）によって最小輝度になった画面のバックライトを点灯（元の明るさ）します。

画面にタップしたりキーボードのキーを押します。
ライトが点灯します。

- しばらく操作しないと自動的にライトが最小輝度になります。この設定は変えることができます（☞7-35ページ）。
- ライトを点灯して使用すると、使用時間が短くなります。
必要なとき以外は、ライトを消したり、明るさを調整して使用することをおすすめします（☞7-36ページ）。
- 「ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける」設定のチェックを外しているときは、点灯しません（☞7-35ページ）。
- ライトの特性上、ライト点灯時には濃淡のラインが見えますが、故障ではありません。

キー操作について

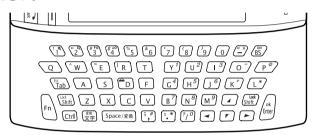
キー操作を行うとき、大きく次の2つがあります。

・キーボード（文字を入力する）

・画面（表示部）下のボタン（画面を切り替えたりする）

※キーボードは文字入力のときに使い、隠したり／出したりすることができます（☞1-6ページ）。

■キーボード

キーボードは文字を入力するときに使います。操作方法については1-35ページをご覧ください。

■画面下のボタン

電話をかける／切るやプログラムを起動します。操作方法については、1-2〜4ページをご覧ください。

スタイラスペンで操作する

付属のスタイラスペンで画面にタップして操作します。

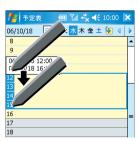
タップする

スタイラスペンで画面に1回軽くタップします。プログラムの起動や設定などを行うときに操作します。

タップアンドホールド

スタイラスペンで画面に数秒間軽くタップしたままにします。タップアンドホールドすると、タップした位置に青い円（）が表示されたのち、ポップアップメニューが表示されます。

ドラッグ

スタイラスペンで画面に軽くタップしたままなぞります。

Today画面(待ち受け画面)を使う

この製品の電源を入れると、Today画面(待ち受け画面)が表示されます。また、スタートメニューの “Today”をタップしても表示されます。
Today画面(待ち受け画面)には、電波状態、充電池残量やマナーモードなどの状態、メール/ライトメールの未読件数などが表示されます。

① スタート
タップするとスタートメニューが表示され、プログラムを起動したり(☞1-27ページ)、設定画面を表示します。

② タイトルバー
電波状態、ネットワーク接続中/通話中などを示すアイコンや時刻などが表示されます。タイトルバーに表示されるアイコンについては1-17ページをご覧ください。

③ 日付表示
日付を表示します。タップすると「時計とアラーム」画面が表示され、日付/時刻を変更できます(☞7-48ページ)。

④ 伝言メモ、マナーモード、安全運転モードの状態表示
伝言メモ、マナーモード、安全運転モードはボタンになっており、タップすると色が変わります。オレンジ色になるとオン状態(有効)になります。もう一度タップすると、グレー色になりオフ状態(無効)になります。
キーボードを開いて、Fnキーを押したままキーを押しても安全運転モードになります(☞1-35、2-101ページ)。
※オン(有効)にすると、それぞれのアイコンが画面下に表示されます(☞1-19ページ)。

⑤ 不在着信件数表示
不在着信の件数を表示します。ここにタップすると、着信履歴画面が表示され不在着信を確認できます(☞2-7ページ)。

⑥ **メール、ライトメールの未読件数表示**

メール、ライトメールの未読件数を表示します。メールの場合は、オンラインサインアップを行い取得したウィルコムのメールアドレス（☞2-26ページ）へ送られてきたメールと、ご自分で設定したメールアドレスへ送られてきたメールを別々に表示します。

アイコンに表示されている未読件数は、ご自分で設定したメールアドレスの未読メール件数、アイコンに表示されている未読件数はウィルコムのメールアドレスの未読メール件数です。

ここにタップすると、“メール”画面や“ライトメール”画面が表示されます。

⑦ **各種アイコン表示**

キーロック設定中などを示すアイコンが表示されます。これらのアイコンについては、1-19ページをご覧ください。

⑧ **メニューバー**

左端と右端にボタンが表示されます。Today画面（待ち受け画面）では、予定表、連絡先などが表示されそれぞれにタップすると“予定表”、“連絡先”などが起動します。プログラムによって、表示されるボタンは異なります。

タイトルバーに表示されるアイコンについて

① **時刻表示 10:00**
時刻を表示します。タップするとウィンドウが表示され、今日の日付と時刻、今日これから一番近い予定が分かります（ウィンドウはしばらくすると自動的に消えます）。
時刻にタップしたままにするとメニューが表示され、アナログ表示に変更できます。

② **音量のアイコン**
音量のレベルを表示します。
タップすると音量設定のウィンドウが表示され、音量の調節やオン／オフを設定できます。バイブレートを選択すると、アラームがバイブレートで通知されます。

③ **インターネット接続のアイコン ／**
：内蔵PHSを使ってインターネットに接続している状態を示します。
：インターネットに接続していない状態を示します。

④ **電波状態のアイコン**
PHS電話機能の電波の受信状態をアイコンで表示します。
このアイコンは、電波状態ランプと連動しています（☞1-4ページ）。
※ ホームページ閲覧中やメール送信／受信のためにインターネット接続中、このアイコンは消えます。このとき、電波状態は電波状態ランプで示します（☞1-4ページ）。
圏外：エリア外または電波が届いていない場所にいます。

強 ←→ 弱
：PHS電話機能を停止（W-SIM（PHS）を停止）状態を示します（☞7-43ページ）。
：W-SIMをロックしている状態を示します（☞2-107ページ）。
：W-SIMがこの製品に装着されていません。

- タイトルバーに表示されるアイコンの数は4つです。この数を越えると が表示されます。 にタップすると隠れているアイコンが表示されます。

⑤ **充電池残量のアイコン**

充電池の残量を表示します。

：ある程度残っています。

：少なくなっています。

：あまり残っていません。充電してください。

：ほとんど残っていません。充電してください。

充電池の残量は、パワーマネージメント画面（バッテリタブ）（☞7-38ページ）でも確認できます。

：充電中を示します。

⑥ **通話中／通信中のアイコン** ／PF

：通話中であることを示します。

PF　PT　FC：この製品をモデムとして使用したとき表示されます。

それぞれのアイコンについては、5-16ページをご覧ください。

⑦ **ワイヤレスLANのアイコン** ／

：内蔵ワイヤレスLANがオン（有効）になっていることを示します（☞7-2～3ページ）。

：アクセスポイントを介してネットワークに接続しています（☞7-2～3ページ）。

・使用が禁止されている場所で、一時的に内蔵ワイヤレスLAN機能を停止することができます（これをフライトモード（☞7-5ページ）と呼びます）。フライトモードにすると、通常より充電池を消耗します。内蔵ワイヤレスLANを使用しないときは、無効（オフ）にすることをおすすめします（☞7-4ページ）。

⑧ **アラームのアイコン**

予定にアラームを設定しているとき、アラーム時刻になると表示されます。また画面下部にその予定の内容を表示します。画面下部に表示された予定の内容を消すには、画面左下の消去にタップします。

画面下部のアイコンについて

Today画面（待ち受け画面）の下部には、以下のアイコンが表示されます。

：キーロックがオン（有効）になっています（☞1-4、1-7ページ）。

：通話／通信機能が制限されています（☞2-105ページ）。

：バイブレータがオン（有効）になっています（☞2-96ページ）。

：伝言メモがオン（有効）になっています（☞2-14ページ）。
1-15ページの④で伝言メモのボタンをオン（オレンジ色）にすると、このアイコンが表示されます。オフ（グレー色）にすると、このアイコンが消えます。

：マナーモードがオン（有効）になっています（☞2-100ページ）。
1-15ページの④でマナーモードのボタンをオン（オレンジ色）にすると、このアイコンが表示されます。オフ（グレー色）にすると、このアイコンが消えます。

：安全運転モードがオン（有効）になっています（☞2-101ページ）。
1-15ページの④で安全運転モードのボタンをオン（オレンジ色）にすると、このアイコンが表示されます。オフ（グレー色）にすると、このアイコンが消えます。
キーボードを開いて、Fnキーを押したままキーを押しても安全運転モードになります（☞1-35、2-101ページ）。

：不在着信があったことを示します。
1-15ページの⑤で不在着信の件数が表示されると、このアイコンが表示されます。

：伝言メモ（メッセージ）があることを示します（☞2-14～15ページ）。

：未読のメールがあることを示します。
1-16ページの⑥で未読のメールがあると、このアイコンが表示されます。

：未読のライトメールがあることを示します。
1-16ページの⑥で未読のライトメールがあると、このアイコンが表示されます。

※安全運転モードをオン（有効）にしていると、バイブレータはオン（有効）になりません。

プログラム画面について

スタートメニューの“プログラム”にタップしてプログラム画面を表示します。プログラム画面のアイコンをタップすると、それぞれのプログラムを起動できます。

ゲーム
ゲームソフトが2つ入っています（☞6-13ページ）。

ActiveSync
ActiveSyncを使ってパソコンのMicrosoft Outlookの仕事や予定表などと同期します（☞5-2ページ）。

Excel Mobile
表の作成や修正ができます（☞付属のCD-ROMに収録のオンラインマニュアル）。

Java™アプリ
Javaアプリケーションを実行するためのJava実行環境です（☞6-16ページ）。ゲームなどのJavaアプリケーションなどを利用できます。

Picsel PDF Viewer
PDFファイルを表示することができます（☞付属のCD-ROMに収録のオンラインマニュアル）。※ファイルによっては表示できないことがあります。

PowerPoint Mobile
PowerPointのファイルを表示できます（☞付属のCD-ROMに収録のオンラインマニュアル）。

Word Mobile
文字サイズや文字色を変えたり、レイアウトを変えて文章を作ることができます（☞付属のCD-ROMに収録のオンラインマニュアル）。

バックアップツール
この製品に保存しているデータなどをminiSDカードにバックアップ（保管）したり、保管したデータをこの製品にリストア（復元）します（☞6-3ページ）。

※「ダウンロードエージェント」は、この製品では対応しておりません。

ファイル エクスプローラ
本体メモリや取り付けたメモリカード内のフォルダやファイルを表示したりすることができます(☞6-7ページ)。また、新規のフォルダを作成したり、ファイルの削除やコピーなどができます(ファイルにタップしたままにして表示されるメニューから「コピー」などを選択します)。

ブンコビューア
XMDF形式の電子書籍を読むためのビューアです。
電子書籍はSharp Space Town(http://www.spacetown.ne.jp/)などで購入できます。
ブンコビューアについてくわしくは、ブンコビューアのヘルプをご覧ください。
あらかじめ、サンプルの電子書籍が入ってます。

メモ
スタイラスペンを使って画面に手書きしたり、キーボードなどから文字を入力することができます(☞3-39ページ)。
また、自分の声などを録音しメモに貼り付けることもできます。

ライトメール
ライトメールの送信や受信ができます(☞2-56ページ)。

画像とビデオ
静止画や動画の撮影および画像の編集ができます。また、内蔵カメラはこのアプリケーション上で動作します(☞4-2ページ)。

検索
「My Documents」フォルダとそのサブフォルダ内のファイルなどを検索することができます(☞1-53ページ)。

仕事
期限を決めて仕事の管理ができます(☞3-28ページ)。

電卓
9桁の四則計算ができます(☞6-2ページ)。

電話
電話をかけることができます(☞2-2ページ)。

設定画面について

着信音や待ち受け画面など、使いやすいようにこの製品の環境を設定します。
スタート メニューの “設定”にタップすると、設定画面が表示されます。
設定画面には3つのタブがあり、以下の項目が設定できます。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

◇ 個人用 タブ ◇

Today（☞7-24ページ）
待ち受け画面となるToday画面（☞1-15ページ）を設定します。
デザイン　：Today画面の背景を変更します。
アイテム　：Today画面に表示する情報（仕事、予定表など）と表示順などを設定します。

オーナー情報（☞7-26ページ）
オーナー情報を入力します。
オーナー情報：名前、住所などを入力します。
メモ　：メモなどを入力します。
オプション：電源を入れたときに、オーナー情報やメモを表示する／しないを設定します。

パスワード（☞7-27ページ）
パスワードを設定して、この製品を他人が使えないようにします。
パスワード：パスワードなどを設定します。
ヒント　：パスワードを忘れたときに、パスワードを思い出すヒントになる文章などを入力します。

ボタン（☞7-28ページ）
表示部の下などにあるボタンに割り当てる機能を設定します。
プログラムボタン　：ボタンに対して、割り当てるプログラムやキー操作などを設定します。
上／下コントロール　：(カーソル)ボタンを押したとき、スクロールを開始するまでの時間や移動速度などを変更します。

メニュー（☞7-29ページ）
スタートメニューに表示するプログラムを設定します。

入力（☞7-30ページ）
よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。
入力方法 ：よく使う単語の登録や手書き入力パネルを設定します。
オプション：録音形式や手書き入力の詳細などを設定します。

待ち受けモード（☞2-100～102ページ）
マナー ：マナーモードの設定ができます。
安全運転 ：安全運転モードの設定ができます。
伝言メモ ：伝言メモの設定ができます。

着信音／バイブ（☞2-93～99ページ）
着信音量 ：着信音の音量設定ができます。
メロディ ：電話着信音／メール受信音を設定できます。
バイブ ：バイブレータの設定ができます。
照明 ：電話着信時やメール受信時、バックライトを点灯したりキーのバックライトを点灯するようにできます。
ランプ ：電話着信時／メール受信時、電波状態ランプ（☞1-2ページ）を点滅／点灯する設定ができます。
呼出時間 ：メールやライトメール受信時、音／メロディ／バイブレータ／照明による呼び出し時間が設定できます。

電話（一般）
プロフィール：この製品に設定されている電話番号やオンラインサインアップで登録されたメールアドレスが表示されます（☞2-19ページ）。
基本 ：発信者番号通知、エリア外警告音などが設定できます（☞2-103～104ページ）。
受話音量 ：受話音量の音量設定ができます（☞2-13ページ）。
セキュリティ：通話／通信機能の制限をします（電話をかける、ライトメールの送信、メールの送信／受信などをできなくします）（☞2-105ページ）。
W-SIMをロックします（PHS電話機能を使えないようにします）（☞2-107ページ）。
位置情報 ：位置情報発信の設定ができます（☞2-109ページ）。

音と通知（☞7-33ページ）
音や通知の方法を設定します。

サウンド	：アラームや画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。
通知	：ActiveSync開始など各種イベントの通知方法を設定します。

Eメール（ウィルコム）（☞2-50ページ）
オンラインサインアップで取得したメールアドレス（☞2-26ページ）に対して、サーバーからメールを削除する設定をします。

◇ システムタブ ◇

エラー報告（☞7-34ページ）
エラーが発生したときに、マイクロソフトに内容を報告する／しないを設定します。

バックライト（☞7-35ページ）
バックライトの明るさや減光するまでの時間などを設定します。

バッテリ	：充電池を使っている（ACアダプターを接続していない）ときのバックライトを設定します。
外部電源	：ACアダプターを接続しているときのバックライトを設定します。
明るさ	：バックライトの明るさを調節できます。

バージョン情報（☞7-37ページ）

バージョン	：この製品のバージョン情報を確認できます。
デバイスID	：この製品の名前を設定します。
著作権	：本製品の著作権について確認できます。

パワーマネージメント（☞7-38ページ）

バッテリ	：充電池（バッテリ）の残量を確認できます。
ワイヤレス	：ワイヤレスLAN機能を停止するフライトモードに設定できます。
詳細設定	：最後の操作から一定時間が経過すると、この製品の電源が切れるようにオートパワーオフの設定をします。

プログラムの削除（☞7-40ページ）

追加したプログラムを削除します。

メモリ（☞7-41ページ）

メイン	：この製品のメモリの使用状況が確認できます。
メモリカード	：装着しているメモリカードの使用状況が確認できます。
実行中のプログラム	：実行中のプログラムを確認できます。

ユーティリティ（☞7-43ページ）

通信モード	：パソコンと接続し、ActiveSync（同期）／モデムとして使用するかを設定します。
無線ON／OFF	：PHS電話機能や内蔵ワイヤレスLANをON（有効）／OFF（停止）にします。
電話帳読込	：他の商品に装着していたW-SIMに保存している電話帳データをこの製品に転送します。
縦横表示切替	：キーボードを開いたときに画面の向きを切り替える／切り替えないを設定します。
電波状態表示ランプ	：電波状態を示すランプを点灯する／しないを設定します。

地域（☞7-46ページ）

地域、数値、通貨、時刻、日付の各タブで、表示される数値の形式を変更できます。

時計とアラーム（☞7-48ページ）

時刻	：現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。
アラーム	：毎週決まった時刻に表示するアラームを設定します。
その他	：プログラムのタイトルバーに時計を表示する／しないを設定します。

画面（☞7-50ページ）

全般	：表示方向（縦画面／横画面）の設定や、タッチスクリーンの補正をします。
文字サイズ	：文字のサイズを設定します。

証明書（☞7-51ページ）

個人証明、ルート証明を表示します。

◇ 接続 タブ ◇

ネットワークカード（☞7-6ページ）
社内ネットワーク（LAN）などに接続する設定をします。

接続（☞7-12ページ）
設定 や 詳細設定 タブから、インターネットなどのネットワークに接続する設定をします。

アプリケーションプログラムを起動する

アプリケーションプログラムの起動は、次のようにします。
・スタートメニューから起動します。
・プログラム画面のアイコンにタップして起動します。
・パネルのボタンを押して起動します。

スタートメニューから起動する

1 画面左上の“スタート”をタップ、またはボタンを押します。

2 スタートメニューの“メール”などにタップします。

● スタートメニューに表示される内容を変更できます。
変更のしかたについて、くわしくは7-29ページをご覧ください。

プログラム画面から起動する

1 画面左上の“スタート”をタップ、またはボタンを押します。

2 スタートメニューの“プログラム”をタップします。
プログラム画面が表示されます（☞1-20ページ）。

3 プログラム画面で起動したいプログラム（“Word Mobile”など）をタップします。

● 画面（表示部）下のボタンやボタンを押すと、“Internet Explorer Mobile”や“メール”が起動します。

アプリケーションプログラムを終了する

プログラム表示中に画面右上の ✕ や ok にタップして画面が消えてもそのプログラムは終了していません。プログラムを終了するために、以下のどちらかの操作を行ってください。

■通話していない状態で[PWR]ボタンを押します。

"予定表"や"Windows Media Player"などのプログラムが終了します。ただし、"電話"、"メール"、"ライトメール"、"バックアップツール"、"ActiveSync"、"ブンコビューア"、"ファイルエクスプローラ"、"Picsel PDF Viewer"などは終了しません。
また、PHS電話機能を使ってインターネット接続中は、回線を切断します。
※ワイヤレスLANやこの製品をモデムとして使用しているときは切断しません。

■設定(メモリ)画面でプログラムを選択して終了します。

操作方法は、以下をご覧ください。

1 [スタート]メニューの"設定"にタップします。

2 設定画面の[システム]タブにタップし、"メモリ"にタップします。

3 設定(メモリ)画面で[実行中のプログラム]タブをタップします(☞7-42ページ)。

4 実行中のプログラム一覧から終了したいプログラム名を選び、[終了]をタップします。

ご注意!

- プログラムの状態によっては、「このプログラムはビジー状態にあるか、ユーザーからの応答を待っている…」というメッセージ(画面)が表示されることがあります。このようなとき、終了してもよければ、[タスクの終了]にタップします。ただし、このプログラムで保存していないデータは削除されますのでご注意ください。

連絡先／予定表／仕事のデータを分類する

連絡先、予定表、仕事では、データを「会社関係(取引先)」や「個人」などの分類項目で整理してグループにできます。分類項目を設定しておくと、「会社関係(取引先)」の仕事だけなど、必要な情報をすばやく検索(フィルタ)できます。
また、分類項目を追加したり、1つのデータに複数の分類項目を設定したりできます。

データに分類項目を設定する

1 分類したいプログラムを起動します(☞1-27ページ)。

分類できるプログラムは、次の3つです。
- ・連絡先
- ・予定表
- ・仕事

2 分類項目を設定したいデータの入力画面を表示します。

ここでは、連絡先の画面を例にします。

3 「分類項目」欄にタップします。

分類項目を選択する画面が表示されます。

4 設定したい分類項目にタップしてチェックをつけます。

チェックは複数つけられます(複数の項目に分類できます)。

5 okにタップします。

チェックをつけた分類項目が入力画面に表示されます。

6 okにタップします。

分類項目を設定したデータが保存されます。

- 設定した分類項目のデータだけを表示(フィルタ)する方法については、1-33ページをご覧ください。

新しい分類項目を追加する

1 各プログラムで、分類項目を設定したいデータの入力画面を表示します。

2 「分類項目」欄にタップします。

分類項目を選択する画面が表示されます。

3 画面左下の 新規 にタップします。

4 追加する分類項目を入力し、 完了 にタップします。

分類項目の選択画面に、追加した分類項目(チェックつき)が表示されます。

- 続けて分類項目を追加するときは、手順**3**～**4**を繰り返します。
- 追加した分類項目を削除したいときは、追加した分類項目からチェックを外し**ok**にタップします。
- 追加した分類項目を修正したいときは、追加した分類項目からチェックを外して、もう一度手順**3**～**4**を行います。

5 okにタップします。

チェックをつけた分類項目が入力画面に表示されます。

6 okにタップします。

分類項目を設定したデータが保存されます。

- 追加した分類項目は、連絡先、予定表、仕事のプログラム間で共有されます。いずれかで、追加および設定した(チェックをつけた)分類項目は、各プログラムの分類項目を選択する画面に共通して表示されます。

- 追加した分類項目を設定しているデータがなくなると、追加した分類項目も自動的に表示されなくなります(削除されます)。

分類したデータだけを表示する（フィルタ）

連絡先、予定表、仕事では、設定した分類項目（☞1-29ページ）のデータだけを一覧画面にフィルタ表示できます。

1 **フィルタ表示したいプログラムを起動します（☞1-27ページ）。**

2 **各プログラムの一覧画面で、画面右下の メニュー － フィルタ にタップします。**

3 **メニューから、表示したい分類項目にタップします。**

選択した分類項目のデータだけが一覧画面に表示されます。

MEMO

- 手順**3**のメニューには、設定している分類項目が表示されます。
- 手順**3**で「分類項目なし」を選択すると、分類項目を設定していないデータだけが一覧画面に表示されます。
- すべてのデータを表示するときは、手順**3**で「すべての***」を選択します。

アラーム通知画面を消す／再通知する

予定や仕事などで設定して表示されたアラーム画面は、メニューから内容を確認したり再通知したりできます。

アラーム通知画面を確認する

アラームは、設定した時間になると画面下方に表示されます。

- 予定や仕事のアラーム通知は、画面右下の[メニュー]－[アイテムの表示]にタップすると詳細画面が表示されます。
  アラーム通知画面を再度表示するときは、画面左下の[アラーム]やタイトルバーの🔔をタップします。

アラーム通知画面を消す

1 アラームの通知画面で、画面左下の[消去]にタップします。

- アラーム通知画面が複数あるときは、別の通知画面が表示されます。
- 複数のアラーム通知画面をすべて消すときは、画面右下の[メニュー]－[すべて消去]にタップします。

アラームを再通知する

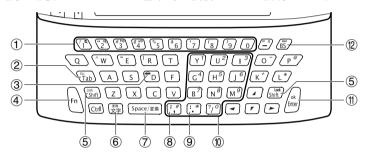
1 再通知したいアラームの通知画面で、画面右下の[メニュー]にタップし、再通知の時間を選択します。

- 5分前にアラームを表示する：その予定や仕事に設定している時間の5分前に再通知します。
- 5分後に再通知：今から5分後に再通知します。
- 15分後に再通知：今から15分後に再通知します。
- 1時間後に再通知：今から1時間後に再通知します。
- 1日後に再通知：今から1日後に再通知します。

文字入力のしかた

文字を入力するには、次の2つの方法があります。
・キーボードを使って入力する（☞1-37ページ）
・文字入力パネルを使って入力する（☞1-40ページ）

キーボードの基本操作について

文字入力に必要なキーボードの基本的な役割について説明します。

① **数字キー、（ズームアウト）キー、（ズームイン）キー、（暗く）キー、（明るく）キー**
- 数字を入力します。
- （Shift）キーを押したまま、または押した直後に数字キーを押すと数字キーの左上側の記号（！、”、＃、＄、％、＆、’、（、））を入力します。
- （Fn）キーを押したまま、または押した直後に（ズームアウト）キーや（ズームイン）キーを押すと、Excel MobileやWord Mobileなどで表示文字サイズを変更できます。
- （Fn）キーを押したまま、または押した直後に（暗く）キー（暗く）や（明るく）キー（明るく）を押すと、バックライトの明るさを変えます。

② **（Tab）（Esc）キー**
- 新規作成や編集画面では、次の項目にカーソルやフォーカスが移動します。
- （Fn）キーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、変換前の文字を削除します。

③ **（車）キー**
- （Fn）キーを押したまま、または押した直後に（車）キーを押すと、安全運転モードのオン／オフを切り替えます（☞1-15、1-19ページ）。

④ **（Fn）キー**
- キーの上側に書かれている記号（＾、～、｜、＿、＠、＋、＊、￥）を入力したり、機能を実行します。（Fn）キーを押したまま、または押した直後に該当するキーを押します。

⑤ **(Shift)(Lock)キー**

・英字入力時に働きます。このキーを押したまま、または押した直後に文字のキーを押すと、大文字が入力されます(大文字入力状態のときは、小文字が入力されます)。
・このキーを押したまま、または押した直後に (=¥)キーや (?/0)キーを押すとキーの左上側の記号(＝、?)を入力します。
・(Fn)キーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、英字を大文字で入力できる状態(Caps Lock)と、小文字で入力できる状態を交互に切り替えます。

⑥ **(文字)(変換)キー**

・文字入力モードを切り替えます(ひらがな入力→全角カタカナ入力→半角カタカナ入力→全角英数字入力→半角英数字入力)。
このキーを押すたびに、文字入力モードが切り替わります(☞次ページ)。
・(Fn)キーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、入力中のひらがな／カタカナを漢字に変換します。もう一度(Fn)キーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、別の候補を表示します。

⑦ **(Space/変換)キー**

・入力中のひらがな／カタカナを漢字に変換します。
・スペースを入力します。
・漢字変換中にこのキーを押すと、別の候補が表示されます。

⑧ **(;,#)キー**

・ひらがな／カタカナ入力時は「、」、英字入力時は「，」が入力されます。
・(Shift)キーを押したまま、このキーを押すと、「；」が入力されます。

⑨ **(:.*)キー**

・ひらがな／カタカナ入力時は「。」、英字入力時は「．」が入力されます。
・(Shift)キーを押したまま、このキーを押すと、「：」が入力されます。

⑩ **ダイヤルキー**

・電話をかけるとき、電話番号(0〜9、＊、#)を入力します。
電話画面以外では入力できません。

⑪ **(Enter)(ok)キー**

・変換中の文字があるときは、その文字を確定します。
・変換中の文字がないときは、改行します。

⑫ **(BS)(Del)キー**

・カーソルの前(左側)の文字を削除します。
・(Fn)キーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、(Del)キーとして働き、カーソルの後ろ(右側)の文字を削除します。
・漢字変換中は、変換を取り消します。

キーボードを使って文字を入力する

ここでは、キーボードを使った文字の入力方法について説明します。
まずは、文字を入力する前に入力モードを確認します。

入力モードの確認と切り替え

入力モードは、画面下に表示されます。
入力モードの切り替えは、キーボードの(文字)キーを押します。

入力モードが表示されます。
あ ：「ひらがな」の入力になります。
カ ：「全角カタカナ」の入力になります。
ｶ ：「半角カタカナ」の入力になります。
Ａ ：「全角英字」の入力になります。
A ：「半角英字」の入力になります。

ローマ字でひらがなや漢字を入力する

ローマ字でひらがなを入力し（☞「ローマ字→かな変換表」8-17ページ）、漢字に変換します。

（例）Word Mobileで「あたらしい」と入力して、「新しい」に変換します。

1 **Word Mobileの新規画面を表示します（☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「Word Mobile」）。**

2 **入力モードがあになっていることを確認します。**
カなどになっているときは、キーボードの(文字)キーを押します。

3 **キーボードから「あたらしい」と入力します。**
(A)(T)(A)(R)(A)(S)(I)(I)キーを順に押します。

1 基本操作

文字入力

4 (Space/変換)キーを押します。

別の候補を表示するときは、(Fn)キーを押したまま、または押した直後に(文字)(変換)キーを押します。

5 (Enter)キーを押すと、採用されます。

変換中の漢字を別の漢字にする

複数の文節の読みを入力して変換します。

(例)「新しい企画を提案する」を「新しい規格を提案する」に変換します。

1 「あたらしいきかくをていあんする」を入力します。

2 Space/変換 キーを押します。

3 ▶ キーを押します。

カーソルが次の文節に移ります。

4 ▼ キーまたは、Fn キーを押したまま、または押した直後に 文字 (変換)キーを押します。

反転している文字の候補が表示されますので、目的の語を選択します。

5 Enter キーを押して採用します。

1 基本操作

文字入力

文字入力パネルについて

文字入力パネルには、画面に表示されるキーをタップして文字を入力する「キーボード入力パネル」と手書き文字を入力する「手書き入力パネル」があります。

■キーボード入力パネル

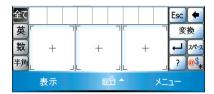
「ひらがな／カタカナ」入力パネル

「ローマ字／かな」入力パネル

■手書き入力パネル

「手書き検索」入力パネル

「手書き入力」入力パネル

文字入力パネルを表示する

1 **画面下のあなどをタップします。**

文字入力パネルが表示されます。

文字入力パネルの表示／非表示を切り替えます。
表示している文字入力パネルによって、次のアイコンが表示されます

あ ：「ひらがな／カタカナ」入力パネル
A ：「ローマ字／かな」入力パネル
：「手書き検索」入力パネル
：「手書き入力」入力パネル

2 **文字入力パネルを消すときは、画面下の A などをタップします。**

文字入力パネルを切り替える

1 **画面下の A などの右横の ˄ をタップし、表示されたメニューから使用したい文字入力パネルをタップします。**

使用可能な文字入力パネルのリストを表示します。

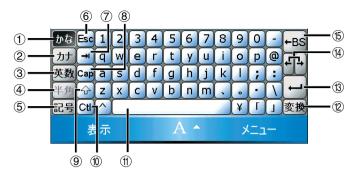
使用したい文字入力パネルを選びます。

キーボード入力パネルを使って文字を入力する

画面に表示されるキーをタップして、文字を入力します。
文字入力は、キーボードを使った文字入力と同じようにできます。
入力のしかたについては、1-37ページをご覧ください。

「ひらがな／カタカナ」入力パネルについて

① **かな**	ひらがなキーボードに切り替わります。
② **カナ**	カタカナキーボードに切り替わります。
③ **小字**	タップし反転させると、「っ」、「ょ」などの小文字を入力できます(反転すると、小文字で入力できる文字のキートップが小さく表示されます)。１文字入力すると解除されます。
④ **半角**	カタカナキーボードと記号入力パネルのとき半角カタカナ、半角記号を入力します。
⑤ **記号**	記号入力パネルに切り替わります(☞1-44ページ)。
⑥ **変換**	入力したひらがななどを漢字に変換します。
⑦ **↵**	Enterキーと同じ働きをします。 ・変換中の文字があるときは、その文字を確定します。 ・変換中の文字がないときは、改行します。
⑧ **空白**	スペースを入力します。
⑨ **←　→**	カーソルを左右に移動します。
⑩ **←BS**	カーソルの前(左側)の文字を削除します。
⑪ **゜**	半濁音(半濁点)を入力します。 たとえば、「ぴ」を入力するときは、ひにタップし、゜をタップします。
⑫ **゛**	濁音(濁点)を入力します。 たとえば、「が」を入力するときは、かにタップし、゛をタップします。

「ローマ字／かな」入力パネルについて

① **かな**	ローマ字でひらがなを入力します。
② **カナ**	ローマ字でカタカナを入力します。
③ **英数**	英数字を入力します。
④ **半角**	カタカナ、英数字、記号を半角で入力します。
⑤ **記号**	記号入力パネルに切り替わります（☞次ページ）。
⑥ Esc	・変換中の文字に対して、変換を取り消します。 ・変換前の文字を削除します。
⑦ ⇥	タブを入力します。
⑧ Cap	英字を入力するとき、タップして反転させておくと大文字を入力できます。
⑨ ⇧	タップして反転させておくと英字の大文字や！、＃、＄などの記号を入力できます。1文字入力すると元に戻ります。
⑩ Ctl	(Ctrl)キーとして働きます。英数字と組み合わせて機能を実行します。
⑪ **スペース**	スペースを入力します。
⑫ **変換**	入力したひらがななどを漢字に変換します。
⑬ ↵	(Enter)キーと同じ働きをします。 ・変換中の文字があるときは、その文字を確定します。 ・変換中の文字がないときは、改行します。
⑭ ←　→	カーソルを左右に移動します。
⑮ ←BS	カーソルの前（左側）の文字を削除します。

●「記号」入力パネルについて
「ひらがな／カタカナ」入力パネルや「ローマ字／かな」入力パネルで、(記号)にタップすると記号入力パネルが表示されます。
全角／半角の記号を入力できます。

手書き入力パネルを使って文字を入力する

付属のスタイラスペンを使って、手書きでひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力します。

「手書き検索」入力パネルで文字を入力する

「手書き検索」入力パネルで文字を入力します。

(例)「液」と手書きして変換します。

1 **「手書き検索」入力パネルを表示します****(☞1-41ページ)****。**

2 **手書き入力枠に「液」と手書き入力します。**

手書きした文字の候補が入力パネルの左側に表示されます。

3 **認識候補一覧から「液」にタップすると、「液」が入力されます。**

4 **↵ にタップすると、「液」の文字が確定されます。**

①	**認識候補**	手書き入力枠に手書きした文字の候補が表示されます。入力したい文字にタップします。
②	**手書き入力枠**	手書き入力します。
③	**←**	手書き中にタップすると、最後の1画が消去されます。手書き入力枠に何もないときは、カーソルの前(左側)の文字を削除します。
④	**半角**	タップして反転した状態でカタカナや英数字などを手書きし認識候補から選択すると、半角のカタカナや英数字を入力できます。
⑤	**?**	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

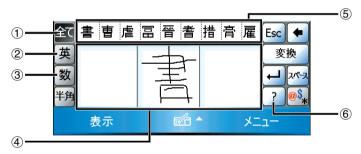
「手書き入力」入力パネルで文字を入力する

1 「手書き入力」入力パネルを表示します（☞1-41ページ）。

2 枠に1文字ずつ手書きします。

・枠に文字を手書きすると認識されて、すぐに候補欄に認識候補が表示されます。
・別の枠に次の文字を書き始めると、候補欄の左端の候補が自動的に選択されます。
・別の枠に文字を書かないときは、しばらくしたあと候補欄の左端の候補が自動的に選択されます（選択される前に別の候補にタップすると、その文字が選択されます）。
・どの枠から書いてもかまいません。先に手書きした文字から認識します。

3 ひらがなを手書きし漢字に変換するときは、変換 にタップします。

4 ↵ にタップすると、文字が確定されます。

①	**全て**	手書きした文字を認識するとき、ひらがな、漢字などすべての種類を候補にします。
②	**英**	手書きした文字を認識するとき、英字および記号を候補にします。
③	**数**	手書きした文字を認識するとき、数字および記号を候補にします。
④	**手書き入力枠**	付属のスタイラスペンで1枠に1文字ずつ手書きします。
⑤	**候補欄**	認識された文字の候補が表示されます。入力したい文字を選択します。
⑥	**？**	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

認識した文字を別の文字に変える

誤って選択した文字(確定する前の文字)を、別の文字に変えることができます。

1 **手書きで文字を入力します。**

2 **別の文字に変えたい文字の左側にカーソルを移動します。**

候補メニューが表示されます。

3 **目的の文字にタップします。**

4 **[変換]にタップして漢字に変換したり、[↵]にタップして確定します。**

- [↵]などにタップし文字を確定した後、上記の方法で別の文字に変えることはできません。
  確定後に文字を変更するときは、目的の文字を削除してから再度入力します。

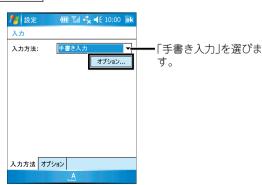
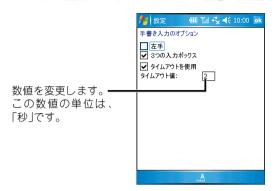
選択されるまでの時間を変更する

認識された文字が、認識候補の中から自動的に選択されるまでの時間を変更できます。

1 **[スタート]メニューの“設定”にタップします。**

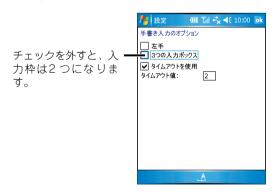
2 **設定画面で[個人用]タブにタップし、“入力”にタップします。**

3 **[入力方法]タブで、「入力方法」の右横の▼をタップして「手書き入力」を選択し、[オプション]をタップします。**

「手書き入力のオプション」設定画面が表示されます。

4 「タイムアウトを使用」のチェックボックスにチェックがついていることを確認し、「タイムアウト値」の数値を変えます。

- 「タイムアウトを使用」のチェックを外すと、自動的に選択されなくなります。
  このときは、候補の中から目的の文字をタップします。

5 選択されるまでの時間の変更が終わったら、ok をタップします。

手書き認識の入力枠の数を変更する

1 「手書き入力のオプション」設定画面（☞上記）で、「3つの入力ボックス」のチェックを外します。

2 入力枠数の変更が終わったら、ok をタップします。

文字を編集する

文字を追加する

1 **追加したい場所をタップします。**

カーソルが点滅表示されます。

2 **文字を入力します。**

カーソルの位置に文字が追加されます。

文字を削除する

1 **削除したい文字の直後をタップします。**

・複数の文字を削除したい場合は、削除したい範囲をドラッグして文字列を反転させます。
・1文字削除の場合は、カーソルが点滅します。

2 **キーボード入力パネルでは、［←BS］をタップします。**
手書き入力パネルでは、［←］をタップします。

1文字削除の場合は、カーソルの直前の文字が削除されます。
複数文字削除の場合は、反転していた範囲がすべて削除されます。

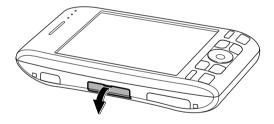
メモリカードを使う

この製品には、市販のminiSDカードを取り付けることができます。

● 動作確認済みのminiSDカードについては、ホームページ(URL http://www.sharp.co.jp/ws/)をご覧ください。

カードを取り付ける

1 この製品の電源を切ります(☞1-11ページ)。

2 miniSDカードスロットのカバーを開きます。

3 カードの端子面が上を向くようにして、端子側から奥まで確実に挿入します。

4 カバーを閉じます。

5 [PWR]ボタンを長く(約2〜3秒)押し、電源を入れます。

ご注意!

- カードの端子部を指などで触れないでください。
- 表裏をまちがえると、故障したり、カードが取り出せなくなります。
- カードに強い力を加えないでください。
- カードは、スロットに確実に挿入してください。
- 動作確認済みのカード以外は、使用しないでください。
- この製品を落とさないでください。破損したり故障の原因となります。

MEMO

- カードを取り付けているときは、取り付けていないときと比べて起動時間が長くなります。これは、起動時に、システムがカードをチェックするためです。

カードを取り外す

1 この製品の電源を切ります（☞1-11ページ）。

2 miniSDカードスロットのカバーを開きます。

3 カードの端を指で押し込みます。

① 軽く押す　② 飛び出さないように、
指で軽く押さえながら取り外す

4 スロットから外れたカードを抜き取り、カバーを閉じます。

まっすぐ引き抜く

5 [PWR]ボタンを長く（約2～3秒）押し、電源を入れます。

ご注意！

- カードスロットからカードを取り外すときは、カードが飛び出さないように、指で軽く押さえながら出してください。

検索のしかた

目的の情報をすばやく見つけ出せます。
ファイル名やファイル内に含まれる文字列を指定して検索します。

1 スタートメニューの“プログラム”にタップします。

2 プログラム画面で“検索”にタップします。

検索画面が表示されます。

3 「検索」欄に検索したい語句を入力します。

ファイル名や連絡先などのデータ内に含まれる文字列を入力します。
▼をタップすると、以前に検索した文字列が表示されます。再度同じ文字列で検索する場合に利用します。

データの種類を選択して検索するときは、▼をタップして表示された一覧から種類を選びます。

4 画面左下の検索にタップします。

検索が開始され検索結果が表示されます。

5 見たいファイルやデータをタップします。

ファイルやデータが表示されます。

MEMO

- miniSDカードに保存されたファイルには、miniSDカードの記号“ ”が表示されます。

6 検索画面に戻るときは、✕やokにタップします。

ご注意！

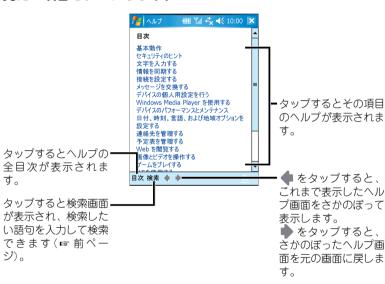
- ファイルやデータによっては、その内に含まれる文字列が検索されないものもあります。

この製品の使いかたを調べる（ヘルプ）

この製品に内蔵されているプログラムの操作方法はヘルプで確認できます。

1 **スタート メニューの“ヘルプ”にタップします。**

そのときに表示されているプログラムのヘルプ画面が表示されます。

2 **見たい項目をタップします。**

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、パソコンで見るPDF形式の電子マニュアルです。
以下のマニュアルは、オンラインマニュアルとして付属のCD-ROMに収録されています。

Officeアプリケーション	Picsel PDF Viewer
・Excel Mobile	USBモデムドライバのインストール
・Word Mobile	
・PowerPoint Mobile	

オンラインマニュアルをお読みになるには、パソコンにAdobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerがインストールされている必要があります(Adobe Acrobat Reader5.0以上を推奨)。
Adobe Readerは付属のCD-ROMからインストールできます(ActiveSyncをインストール(☞5-4ページ)した後に表示された画面で「PCに新しいプログラムを追加する」をクリックしてください)。

1 **ActiveSyncをインストール(☞5-4ページ)したパソコンに、付属のCD-ROMをセットします。**

画面にメニューが表示されます。

2 **画面内の「その他の資料を参照する」をクリックし、ご覧になるマニュアルの「PDFファイルを開く」をクリックします。**

オンラインマニュアルが表示されます。

3 **次のような方法などで、見たいページを表示します。**

プログラムなどの説明全体を見るとき　：しおりを使うと便利です。
調べたい言葉があるとき　：検索を使うと便利です。
ページを順番に見るとき　：ページ移動のアイコンを使うと便利です。

MEMO

- お使いのAdobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerのバージョンによって、アイコンの形状や表示位置が異なります。アイコンにカーソルを合わせると、そのアイコンの機能が表示されます。
- くわしい使いかたは、Adobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerのヘルプをご覧ください。

2 電話／メール／インターネット

電話 2-2

メール 2-25

ライトメール 2-56

ホームページを見る(Internet Explorer Mobile) 2-83

電話/メールの着信音やマナーモードなどの設定をする 2-92

ウィルコムのサービスを利用する 2-111

電話

電話のかけかた、受けかたなどについて説明します。

電話をかける

画面上のダイヤルボタンにタップして電話番号を入力し、電話をかけます。

1 この製品の電源を入れます。

2 ボタンを押します。

“電話”が起動し、ダイヤル画面が表示されます。

3 画面上のダイヤルボタンにタップして、電話番号を入力します。

タップした電話番号が画面上に表示されます。

4 ボタンを押します。または画面左下の 発信 にタップします。

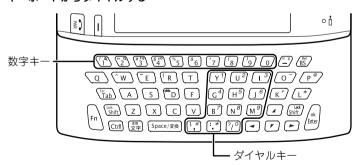
電話番号が点滅して相手に電話がかかります。相手がでたら、話しをします。

5 通話を終えるときは、PWR ボタンを押します。

電話が切れます。
しばらくすると、Today画面(待ち受け画面)に移ります。再度、電話をかけるときは ボタンを押します。

● 電話を切るときは PWR ボタンを押してください。✕ にタップしても(画面を閉じても)電話は切れません。

MEMO

● 入力できる番号の桁数は32桁までです。
● 一般電話に電話をかけるときは、必ず市外局番から入力してください。市外局番を入力せずに電話をかけても、電話はかかりません。
● PHS／携帯電話に電話をかけるときは、「0」から始まる11桁の電話番号を入力してください。
● ご購入時、自分の電話番号は相手に通知するように設定されています。
この設定を変えたり(通知しないようにしたり)、通常は通知してある相手だけ通知しないようにできます。設定の変更については2-103ページ、ある相手だけ通知しないようにする方法は2-16ページをご覧ください。
● 入力途中で番号を間違えたときは、以下のいずれかの方法で番号を削除します。
・ クリア にタップすると、最後の番号(右端の番号)を削除します。
・ PWR ボタンを押すと、入力した番号すべてを削除します。
● **キーボードからダイヤルする**

キーボードを開いているとき、キーボード上の「数字キー」や「ダイヤルキー」を押しても電話番号を入力できます。
ダイヤルキーを押すときはそのキーだけを押します。たとえば、「1」を入力するときは、(Y) キーだけ押します((Fn)キーを押した後、(Y) キーを押す必要はありません)。
また、(BS) キーを押すと最後の番号(右端の番号)を削除します。

電話を受ける

かかってきた電話に出ます。

1 電話がかかってきたら、着信音が鳴り、青色の着信ランプが点滅します。

・設定によっては音は鳴らず、バイブレータによって電話がかかってきたことを知らせます。
　また、青色のランプを点滅する／しないを設定できます（☞2-98ページ）。
・相手が発信者番号を通知しているときは電話番号が表示されます。また、“連絡先”（☞3-18ページ）に登録しているときは、名前も表示されます。
・着信中に着信音の音量を変えられます。音量の変更は、2-92ページをご覧ください。
・発信者番号通知をしていないときは、以下の左側の文字が表示されます。
　「ユーザ非通知」　：相手が電話番号を通知していません。
　「通知不可能」　　：相手が通知できないエリアや電話機からの電話です。
　「公衆電話発信」　：公衆電話からの電話です。

2 ボタンを押し、相手と話しをします。

・エニーキーアンサー（☞ 2-104ページ）の設定をオンにしていると、ボタン以外のボタンを押しても電話を取ることができ、相手と話しができます。画面にタップしても電話を取ることができます（ただし、タイトルバーとメニューバーにタップしても電話は取れません）。
・通話中に相手の声の大きさを変えるには、この製品の右側面にある音量調節ボタンを押します。VOL（＋）で大きくなり、VOL（－）で小さくなります。くわしくは、2-13ページをご覧ください。

3 相手と話しが終わったら、PWRボタンを押します。

- かかってきた電話にすぐに出られないときは、PWRボタンを押すと保留応答の状態にできます。この場合、「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」の応答メッセージが流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。
  保留応答中に電話に出るときは ボタンを押します。また、電話を切るときはPWRボタンを押します。
- 電話がかかってきたときにシャッターボタンを押すと、伝言メモ機能がはたらきメッセージが流れます(相手のメッセージを録音する／しないは、伝言メモの設定(☞2-14ページ)にしたがいます)。
- **電話に出ることができなかったときは**
  Today画面(待ち受け画面)に「不在着信：X件」と表示されます。この文字にタップすると、着信履歴画面が表示されます。また、ダイヤル画面でカーソルボタンの左を押すと着信履歴画面が表示されます。
- この製品では、電話を切ったときに自動的にウィルコムの留守番電話サービスにメッセージがあるか確認をします。メッセージがあるときは、画面に「センター留守電あり」と表示されます(☞ 2-111～112ページ)。

一度かけた番号に電話をかける(発信履歴を利用する)

一度かけた電話番号に再度、電話をかけます。

1 “電話”のダイヤル画面で、(カーソル)ボタンの右を押します。

発信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後にかけた番号から表示されます。

(カーソル)ボタンの上下を使って、見えていない電話番号を表示して選択します。

2 履歴画面で電話番号を選択し、[電話]ボタンを押します。または画面左下の[発信]にタップします。

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。
履歴画面から電話をかけずにダイヤル画面に戻るにはokにタップします。

MEMO

- 発信履歴は最大20件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除します(同一の相手(電話番号)への発信の場合は、20件以下のときでも一番新しい履歴だけを表示します)。
- 発信履歴画面では、履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]ー[1件削除]にタップします。
  [全件削除]にタップすると、発信履歴すべてを削除します。
- 発信履歴を利用して電話をかけるときも、自分の電話番号の通知/非通知は、発信者番号通知(☞2-103ページ)の設定にしたがいます。

かかってきた番号に電話をかける（着信履歴を利用する）

かかってきた電話番号に電話をかけます。

1 **“電話”のダイヤル画面で、(カーソル)ボタンの左を押します。**

着信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後にかかってきた番号から表示されます。

2 **履歴画面で電話番号を選択し、[発信]ボタンを押します。または画面左下の[発信]にタップします。**

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。
履歴画面から電話をかけずにダイヤル画面に戻るには ok にタップします。

MEMO

- 着信履歴は最大20件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除します。
- 着信履歴画面では、履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]－[1件削除]にタップします。
  [全件削除]にタップすると、着信履歴すべてを削除します。
- 着信履歴を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞2-103ページ）の設定にしたがいます。

“連絡先”の電話番号を使って電話をかける

“連絡先”に登録している電話番号を利用して電話をかけます。

1 “電話”のダイヤル画面で、画面左下の 連絡先参照 にタップします。

連絡先に登録している名前がリスト表示されます。

50音タブにタップ、または名前の読みを入力して相手を探します。

スタート 10:00 ok
連絡先の選択
名前または番号の入力...
1 A ア カ サ タ ナ ハ マ ヤ ラ ワ
青木 一
青木 みゆき
阿木 浩介
秋田 美奈

- リスト表示には、電話番号は表示されません。
- 連絡先に多くの人を登録しているときは、50音タブにタップ、または名前の読みを入力して目的の相手を探します。

2 連絡先の選択画面で、電話をかける相手にタップします。

3 電話番号選択画面が表示されます。

・手順**2**で選択した相手にPHSや携帯電話など複数の電話番号を登録している場合は、その複数の電話番号が表示されます。
・手順**2**で選択した相手に登録している電話番号が1つのときも手順**3**の画面に移ります。

4 電話番号にタップします。
または、カーソルの上下を使って電話番号を選択（反転）し、[通話] ボタンを押します。

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

MEMO

- “連絡先”を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞2-103ページ）の設定にしたがいます。

ライトメールの送信履歴／受信履歴から電話をかける

ライトメールを使って送信した宛先（電話番号）や受信したライトメールの送信者に電話をかけます。

1 **“電話”のダイヤル画面で、（カーソル）ボタンの上、または下を押します。**

（カーソル）ボタンの上：送信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後に送信した番号から表示されます。

（カーソル）ボタンの下：受信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後に受信した番号から表示されます。

送信履歴画面

受信履歴画面

2 **履歴画面で電話番号を選択し、［通話］ボタンを押します。または画面左下の［発信］にタップします。**

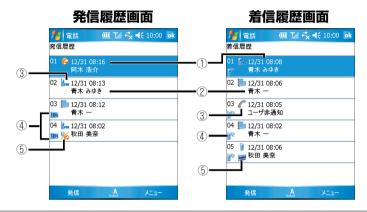
発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

MEMO

- 送信履歴、着信履歴共に最大20件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除します（同一の相手（電話番号）への送信の場合は、20件以下のときでも一番新しい履歴だけを表示します）。
- 送信履歴、着信履歴共に履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の［メニュー］－［1件削除］にタップします。
  ［全件削除］にタップすると、履歴すべてを削除します。
- この履歴を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞2-103ページ）の設定にしたがいます。

発信／着信履歴画面、送信／受信履歴画面について

ここでは、発信履歴／着信履歴画面、送信履歴／受信履歴画面について説明します。

発信／着信履歴画面について

① 発信履歴画面では発信した日時、着信履歴画面では着信した日時が表示されます。

② 発信履歴画面では発信した相手（電話番号）、着信履歴画面では着信した相手（電話番号）が表示されます。
“連絡先”に電話番号を登録しているときは、その名前が表示されます。
着信時、2-4ページの手順**1**に記載しているように、相手によって「ユーザ非通知」、「通知不可能」、「公衆電話発信」が表示されることがあります。

③ “連絡先”にその電話番号を登録しているときは、その番号に対応したアイコンが表示されます。
：携帯電話　　：勤務先電話
：自宅電話　　：PHS
：連絡先に登録していない相手と非通知の相手

④ 発信履歴画面：非通知発信／通知発信をしたことを示すアイコンです。
着信履歴画面：不在着信の相手であることを示すアイコンです。

⑤ 発信履歴画面：分計発信したことを示すアイコンです。
着信履歴画面：伝言メモで対応した相手であることを示すアイコンです。

ライトメール送信／受信履歴画面について

① 送信履歴画面では送信した日時、受信履歴画面では受信した日時が表示されます。

② 送信履歴画面では送信した相手(電話番号)、受信履歴画面では受信した相手(電話番号)が表示されます。
"連絡先"に電話番号を登録しているときは、その名前が表示されます。
受信時、相手によって「ユーザ非通知」、「通知不可能」、「公衆電話発信」が表示されることがあります。

③ アイコンあり：未読メールを示します。
アイコンなし：既読メールを示します。

④ 184 ：非通知発信したことを示すアイコンです。
186 ：通知発信したことを示すアイコンです。

メニューは、発信履歴画面や着信履歴画面と同様です。2-24ページをご覧ください。

通話中に保留する

通話中、話しを保留できます。保留中は、お互いの声は聞こえません。
保留中はメロディが流れます。

1 **画面左下の キー表示 にタップし、ダイヤルボタンを表示します。**

2 **通話中、保留 にタップします。**

保留中はメロディが流れます。

3 **保留を解除するときは、保留解除 にタップします。**

相手と通話できます。

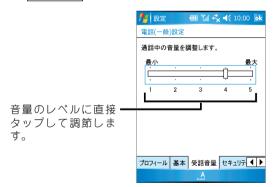
相手の声の大きさ（受話音量）を変える

通話中、相手の声の大きさを5段階に調節できます。以下の方法で調節します。

ご注意！
- 音量を上げるときは、1段階ずつ上げてください。
- 相手に話す自分の声の大きさは変えられません。

●この製品の右側面にある音量調節ボタンを押す。

●電話（一般）設定画面（受話音量タブ）で変える。

電話（一般）設定画面（受話音量タブ）で、受話音量を調節します。
電話（一般）設定画面（受話音量タブ）は、スタートメニューの “設定”にタップし、表示された設定画面（個人用タブ）で “電話（一般）”にタップして受話音量タブにタップすると表示されます。

音量を調節したときは、okにタップして設定を保存してください。

伝言メモ

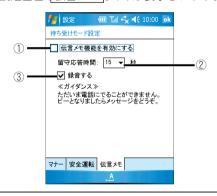
電話に出られないときなどに相手からのメッセージをこの製品に録音してあとで聞けるように設定できます。

伝言メモを設定する

1 **スタートメニューの “設定”にタップし、 “待ち受けモード”にタップします。**

待ち受けモード設定画面が表示されます。

2 **伝言メモタブにタップします。**

待ち受けモード設定画面（伝言メモタブ）が表示されます。

① チェックを付けると、伝言メモ機能が有効になります。

② 電話がかかってきて呼び出しが始まり伝言メモ機能に切り替わるまでの時間を設定します。

③ チェックを付けると「ただいま電話にでることができません。ピーと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」のアナウンスが流れ、メッセージを録音できます。
チェックを外すと、「ただいま電話にでることができません。しばらくたってからおかけなおしください。」のアナウンスが流れます（メッセージの録音はありません）。
※伝言メモを録音できる件数や録音時間は次ページの「MEMO」をご覧ください。

3 **okにタップします。**

- 伝言メモの録音件数、録音時間
  - ・録音件数：5件
  - ・録音時間：1件につき約15秒

  録音件数が5件のとき伝言メモ機能が働くと、相手にはアナウンスのみ流れます。録音はできません。
- この伝言メモは、ウィルコムが提供している留守番電話サービスとは異なります。この製品の伝言メモとウィルコムの留守番電話サービスの両方を利用しているときは、呼び出し時間が短い方が優先されます。伝言メモの呼び出し時間の設定は前ページを、ウィルコムの留守番電話サービスの呼び出しの設定は2-111〜112ページをご覧ください。
- **伝言メモを解除するには**

  前ページの待ち受けモード設定画面（伝言メモタブ）で、「伝言メモ機能を有効にする」のチェックを外します。またはToday画面（待ち受け画面）で「伝言メモ」のアイコンにタップしてグレー（オフ）にします。

伝言メモを聞く

伝言メモで録音メッセージを受けたときは、Today画面（待ち受け画面）の下にアイコンが表示されます（アイコンは、伝言メモ画面に録音メッセージがあるときに表示されます）。

1 ボタンを押し電話のダイヤル画面を表示します。

2 画面右下のメニュー－伝言メモにタップします。

伝言メモ画面が表示されます。

アイコンは、録音メッセージがあることを示します。

- Today画面（待ち受け画面）で、画面下部にアイコンが表示されているときは、アイコンにタップしても伝言メモ画面が表示されます。

3 メッセージがあるものを選択し、画面左下の再生または画面右下のメニュー－再生にタップします。

録音されたメッセージが受話口から流れます。

- 録音されたメッセージを消去するときは、消去するメッセージを選択してメニュー－消去にタップします。表示された確認画面ではいにタップします。

相手に自分の電話番号を通知する／通知しない

電話をかけたとき、自分の電話番号を通知したり、非通知にできます。
ご購入時は電話番号を通知する設定になっていますので、2-2ページの手順にしたがって操作したときは、自分の電話番号は通知されます。
ここでの操作は、通常、通知になっている状態を一度だけ非通知にするためのものです（非通知になっている状態を一度だけ通知にするときも同様）。常に通知から非通知に変更するときは、2-103ページをご覧ください。

1 ダイヤル画面で、画面上のダイヤルボタンにタップして電話番号を入力します。

2 画面右下の［メニュー］－［通話］－［184発信］にタップします。

この場合、自分の電話番号を通知せずに電話をかけます。
分計発信するときは、［184分計発信］にタップします。

3 通話を終えるときは、［PWR］ボタンを押します。

電話が切れます。

MEMO

- 通常、自分の電話番号を通知しない状態のときに一度だけ通知するときは、上記の手順**2**で［メニュー］－［通話］－［186発信］にタップすると、自分の電話番号を通知します。
  また、分計発信するときは、［186分計発信］にタップします。

パワーサーチを行う

待ち受け中や通話中、一番電波の強い基地局を選択できます。

1 **画面右下の［メニュー］－［パワーサーチ］にタップします。**

2 **パワーサーチが始まります。**

パワーサーチ終了後、元の画面に戻ります。

MEMO

- パワーサーチを行っても、場所によっては電波状態が変わらないことがあります。
- 通話中のパワーサーチの回数は、一度の通話で3回までです（通話中のパワーサーチの操作は、画面左下の［キー表示］にタップしてから、画面右下の［メニュー］－［パワーサーチ］にタップします）。

ご注意！

- パワーサーチ実行中は、キーやボタンなどを押したりしないでください。

通話中にトーン信号（プッシュ信号）を送る

通話中に画面上のダイヤルボタンを使って、トーン信号（プッシュ信号）を送ることができます。
銀行の残高照会などのプッシュホンサービスを利用できます。

1 **相手先に電話をかけます。**

2 **通話中に、画面左下の［キー表示］にタップします。**

画面にダイヤルボタンが表示されます。

3 **数字にタップすると、タップした数字が画面上に表示され同時にその数字のトーン信号（プッシュ信号）が送られます。**

国際電話をかける

KDDIの国際電話サービスをご利用いただくことにより、国際電話をかけられます。KDDI国際電話サービスをご利用いただくためには、下記のKDDIへのお申し込み（無料）が必要ですので、お問い合わせください。

この製品から海外へかける

例）アメリカの「212-XXX-XXXX」へかける場合

1 以下の電話番号を押します。

001 － 010 － 1 － 212 － XXX-XXXX

001	010	1	212	XXX-XXXX
KDDI国際アクセス番号	国際電話識別番号	アメリカの国番号	ニューヨークの地域番号	相手の電話番号

海外からこの製品へかける

例）アメリカからこの製品（070-XXXX-XXXX）へかける場合

1 以下の電話番号を押します。

001 － 81 － 70-XXXX-XXXX

001	81	70-XXXX-XXXX
アクセス番号※	日本の国番号	先頭の「0」を除いた電話番号

※アクセス番号は、国によって違います。

- 国際ダイヤル通話のご利用料金は、契約された国際通信事業者からご請求がまいります。

KDDI国際電話サービスについてのお申し込み／お問い合わせ先
お問い合わせ先　：0077-7160（通話料無料）
（一般加入電話・ウィルコムの電話機から）
受付時間　：9:00～20:00　（年中無休）

- 日本テレコム、NTTコミュニケーションズもご利用いただけます。別途、日本テレコム（0088-41または0066-11）、NTTコミュニケーションズ（0120-506506）との契約が必要です。

自分の電話の電話番号を見る

今お使いになっているこの製品に設定されている電話番号を表示します。

1 **ダイヤル画面または通話中の画面で、画面右下の メニュー － 自局番号表示 にタップします。**

MEMO

- 以下のどちらかの方法でも、見ることができます。
  - ・画面右下の メニュー － オプション にタップし、オプション画面を表示します。このオプション画面の「自番号表示」にタップすると、電話番号を表示します。
  - ・電話（一般）設定画面で プロフィール タブにタップすると、電話番号を表示します（電話（一般）設定画面の表示方法は2-103ページをご覧ください）。
- ダイヤル画面または通話中の画面で、（アクション）ボタン（（カーソル）ボタンの中央のボタン☞1-3ページ）を押しても表示されます。
- ダイヤル画面または通話中の画面で、（Fn）キーを押しながら（0）（ゼロ）キーを押しても表示されます（（0）（ゼロ）キーはキーボード最上段の右から3つ目のキーです）。

2 **画面に自分の電話番号とオンラインサインアップで登録したメールアドレスが表示されます。**

3 **ok にタップすると、元の画面に戻ります。**

2 電話／メール／インターネット

電話

かかってきた番号／かけた番号を“連絡先”に登録する

かかってきた電話番号やかけた電話番号は、着信履歴や発信履歴として新しいものからそれぞれ20件ずつ残っています。この着信履歴や発信履歴の電話番号を“連絡先”に登録し活用できます。

1 **ダイヤル画面で、カーソルボタンの左、または右を押します。**
着信履歴画面または発信履歴画面が表示されます。

2 **着信履歴画面または発信履歴画面で、登録する電話番号をカーソルボタンの上下を使って選択（反転）します。**

3 **画面右下の メニュー － 連絡先に登録 にタップします。**
選択した相手の電話番号が入った“連絡先”の新規登録画面が表示されます。
※この画面は、“連絡先”から新規作成画面を表示したときの画面とは異なります。

4 **姓や名を入力します。**

5 **電話番号の種別（PHSや携帯電話、勤務先電話番号など）を選択します。**

6 **okにタップします。**
手順**4**で入力した姓や名前で登録されます。電話番号は、手順**5**で選択した種別に入ります。たとえば、手順**5**でPHSを選択すると、PHSの項目に電話番号が入ります。

7 **名前、電話番号以外の項目に入力するときは、“連絡先”の編集画面でデータを入力します（☞3-25ページ）。**

発信履歴や着信履歴を使ってライトメールを作る

電話をかけた相手や電話をうけた相手の電話番号を使って、ライトメールを作成できます。
ここでは、発信履歴画面を使って、ライトメールを作成する方法を説明します。着信履歴画面を使った場合も同じようにできます。

1 **2-6ページと同様にして、発信履歴画面を表示します。**

2 **送信する相手を選択（反転）し、画面右下の［メニュー］－［ライトメール作成］にタップします。**

選択した相手の電話番号が入った"ライトメール"の新規作成画面が表示されます。

3 **本文を入力し、画面左下の［送信］にタップします。**

ライトメールが送信されます。

- ライトメール送信履歴画面や受信履歴画面からもライトメールを作成できます。ライトメール送信履歴画面／受信履歴画面で、画面右下の［メニュー］－［ライトメール作成］にタップします。以降、上記の手順**3**を行いライトメールを送信します。
- "ライトメール"を起動し、ライトメールの作成もできます。くわしくは、2-57ページをご覧ください。

オプション設定

この製品に設定されている電話番号を表示したり、マナーモード設定、安全運転モード設定、伝言メモ設定を行う画面を表示します。

ダイヤル画面で、画面右下の［メニュー］－［オプション］にタップします。

オプション画面が表示されます。

---

① この文字にタップすると、電話（一般）設定画面（［プロフィール］タブ）が表示され、この製品に設定されている電話番号を見ることができます（☞ 2-19ページ）。

② この文字にタップすると、マナーモードの設定を行う画面が表示されます（待ち受けモード設定画面（［マナー］タブ）が表示されます）。くわしくは、2-100ページをご覧ください。

③ この文字にタップすると、安全運転モードの設定を行う画面が表示されます（待ち受けモード設定画面（［安全運転］タブ）が表示されます）。くわしくは、2-101ページをご覧ください。

④ この文字にタップすると、伝言メモの設定を行う画面が表示されます（待ち受けモード設定画面（［伝言メモ］タブ）が表示されます）。くわしくは、2-102ページをご覧ください。

---

2 各画面を表示し設定を変更した後、ok にタップします。

設定が保存されます。

電話のメニュー

ダイヤル画面のメニュー

ライトメール作成	新規ライトメールを作成する（☞2-57ページ）。
パワーサーチ	一番電波の強い基地局を選択する（☞2-17ページ）。
自局番号表示	この製品に設定されている電話番号を表示する（☞2-19ページ）。
伝言メモ	録音している伝言メモをリスト表示する（☞2-15ページ）。
オプション	マナーモード、安全運転モード、伝言メモの設定を行うための画面を表示する（☞2-22ページ）。

ダイヤル画面(ダイヤル入力時)のメニュー

ライトメール作成		入力された電話番号を宛先としてライトメールを作成する（☞2-57ページ）。
通話	発信	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、2-114ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞2-114ページ）。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞2-114ページ）。
クリア		最後に入力した番号（右端の番号）を削除する。

通話画面のメニュー(ダイヤルボタン表示中)

保留	通話を保留する（☞2-12ページ）。保留中は、保留解除になる。
パワーサーチ	一番電波の強い基地局を選択する（☞2-17ページ）。
自局番号表示	この製品に設定されている電話番号を表示する（☞2-19ページ）。

発信／着信履歴画面、送信／受信履歴画面のメニュー

ライトメール作成		選択している電話番号を宛先としてライトメールを作成する（☞2-57ページ）。
通話	発信	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、2-114ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービス（☞2-114ページ）を利用して電話をかける。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービス（☞2-114ページ）を利用して電話をかける。
連絡先に登録		選択している電話番号を“連絡先”に登録する（☞2-20ページ）。
1件削除		選択している電話番号を削除する。
全件削除		各履歴画面で表示されている履歴をすべて削除する。

連絡先（電話番号選択）画面のメニュー

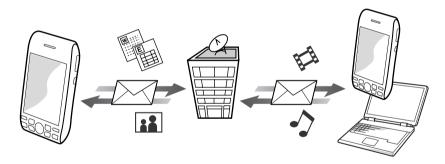
ライトメール作成		選択している電話番号を宛先としてライトメールを作成する（☞2-57ページ）。
通話	発信	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、2-114ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービス（☞2-114ページ）を利用して電話をかける。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービス（☞2-114ページ）を利用して電話をかける。

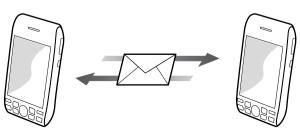
メール

メール／ライトメールについて

この製品で利用できるメールには、次の2つがあります。
・メール
・ライトメール

■メール（☞次ページ）

インターネットを経由して、パソコンやウィルコムの電話機などとメールを送信／受信します。画像データなどを添付できます。
メールをご利用になるには、オンラインサインアップが必要になります。
また、すでにインターネットプロバイダーにご入会されているときは、そのプロバイダーの情報を使ってメールができます。

■ライトメール（☞2-56ページ）

ライトメール対応機種どうしでメッセージのやりとりができます。全角45文字（半角90文字）までのメッセージを送信できます。
ライトメールはインターネットを経由しないで、相手の電話番号を宛先に指定します。

メールについて

インターネットを経由して、パソコンやウィルコムの電話機などとメールを送信／受信します。画像データなどを添付できます。

メールをするには、次の3つの方法があります。

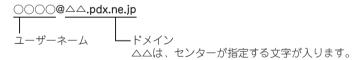
- オンラインサインアップ（☞下記）を行ってウィルコムのメールアドレスなどを取得します（インターネットに接続する設定は、自動的にこの製品に保存されますので、すぐにメール送信／受信ができます）。※
- すでに入会しているインターネットプロバイダーの情報を使って接続します。最初に接続の設定（☞7-12ページ）と、メールの設定（☞2-46ページ）が必要です。設定後、メールを送信／受信します。
- 内蔵ワイヤレスLANを使って接続します。最初にワイヤレスLANの設定（☞7-2ページ）と、メールの設定（☞2-46ページ）が必要です。設定後、メールを送信／受信します。

※オンラインサインアップをするとインターネットに接続する設定は自動的に保存されるので、設定を行わずメールのやり取りができます。

ここでは、メールの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

オンラインサインアップする

オンラインサインアップを行いメールを利用するときは、オンラインサインアップ時にメールアドレスを取得します。

メールアドレス

ユーザーネームは、以下の制限の中でお客様がご自由に設定できます。

・文字数：4文字以上20文字以下
・文字種：半角英数字、「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）
・1文字目は英字のみ使用できます。
・英字は、すべて小文字として扱われます。

オンラインサインアップでは、ユーザーネームのみ入力してください。ドメインは自動的に設定されます。

- 同じユーザーネームが既に登録されている場合、そのユーザーネームはご利用いただけません。別のユーザーネームを指定してください。

オンラインサインアップを行う

1 **スタートメニューの“オンライン サインアップ”にタップします。**

「接続中」のメッセージが表示され、センターに接続します。

2 **表示された画面の指示にしたがって設定を行います。**

3 **オンラインサインアップを完了します。**

オンラインサインアップを完了すると、メールアドレス、パスワードなどのメールアカウントなどが、この製品に自動的に設定されます。
設定されたメールアカウントなどは2-51ページの方法で表示することはできますが、変更するとメールの送受信ができなくなることがあります。電子メールのセットアップの“ユーザー情報”の名前(☞2-47ページ)以外は変更しないでください。

MEMO

- オンラインサインアップを行うと、「センタ名称設定」というネットワークの名称とその中にインターネット接続の設定が保存されます(☞7-12ページ)。
- オンラインサインアップ後、設定した内容の確認や変更などを行うときは、スタートメニューのオンラインサインアップにタップし、センターに接続します。センターに接続して表示された画面に従って操作してください。

メールを作って送る

メールを作って送信します。
ここでは、すでにメールを送信／受信できる設定を完了しているものとして説明します。
まだ設定していない方は、オンラインサインアップ(☞前ページ)を行うか、すでに入会しているインターネットプロバイダーの情報を設定(☞7-12ページ)してください。

1 スタート メニューの“メール”にタップします。

「受信トレイ」一覧画面が表示されます。

2 画面右下の メニュー － アカウントを切り替える にタップし、表示されたメニューから接続に利用するアカウントを選択します。

3 画面左下の 新規 にタップします。

新規メールの作成画面が表示されます。

手順**2**で選択したアカウント名が表示されます。

4 宛先を入力します。

宛先の項目にカーソルがあることを確認し、以下のいずれかの方法で宛先を入力します。

スクロールバーを上に移動すると「CC：」、「BCC：」の宛先を入力できます。

・宛先を直接、キーボードを使って入力します。
・メールアドレスを複数入力するときは、半角のセミコロン(；)で区切って入力します。
・この製品の“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用します。(あらかじめ、“連絡先”に相手の名前やメールアドレスなどを登録しておきます。☞3-18ページ)
　画面右下の メニュー － 受信者の追加 にタップすると、メールアドレスを入力している“連絡先”が一覧表示されます。宛先にしたい連絡先にタップします。

5 「件名」欄にタップし、件名を入力します。

6 「本文」欄にタップし、本文を入力します。

7 画面左下の 送信 にタップします。

・作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。
・送信ではなく「下書き」フォルダに保存するときは、ok にタップし、確認メッセージで はい にタップするか、画面右下の メニュー ー 下書きに保存 にタップします。

8 画面右下の メニュー ー 送受信 にタップします。

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、自動的にメールサーバーにある未読メールを受信します。

MEMO

- ご購入時、「Outlookメール」というアカウントがあります。このアカウントは、ActiveSyncを使ってパソコンと同期するためのものです。
  手順**2**で「Outlookメール」アカウントのまま手順**3**を行うとパソコンと同期するためのメールになり、この製品から送信できません。必ず手順**2**でオンラインサインアップして保存したアカウントやご自分で設定したアカウントを選択してください。
- 手順**7**の 送信 にタップしただけでは、メールは送信されません(送信フォルダに保存されるだけです)。メールを送信するときは、必ず手順**8**の メニュー ー 送受信 をタップしてください。
- 「CC：」や「BCC：」には、参考に送信したい人の電子メールアドレスを入力します。「BCC：」に入れたアドレスは、BCC： で受信した人以外から見えないように配信されます。
- よく使う文章をマイ テキストから選択して、入力できます。 画面右下の メニュー ー マイ テキスト にタップするとマイ テキストに登録されている文章一覧が表示されます。
  いずれかの文章にタップすると、その文章が入力されます。
  また、 マイ テキスト メッセージの編集 にタップし、メッセージを編集したり、新しいテキストを作成できます。

9 タイトルバーの にタップし、表示されたウィンドウの 切断 にタップします。

タイトルバーの が x になり、回線が切れます。
また、 PWR ボタンを押すと、回線が切れToday画面(待ち受け画面)に戻ります。

画像ファイルなどを添付してメールを送る

メールに画像ファイルなどを添付して送信できます。

1 **2-28ページの手順1～6の方法で、メールを作成します。**

2 **画面右下の メニュー ー 挿入 にタップし、表示されたメニューから 画像 、 ボイスメモ 、 ファイル のいずれかにタップします。**

◇ 画像 にタップした場合 ◇

1 マイ ピクチャフォルダ内の画像ファイルが表示されます。
フォルダを切り替えるときは、「マイ ピクチャ」にタップし、表示されたメニューから別のフォルダにタップします。

2 画像にタップします。

3 メールの新規作成画面に戻り、「添付ファイル：xxxxx.jpg (xxKB)」などが表示されます。

◇ ボイスメモ にタップした場合 ◇

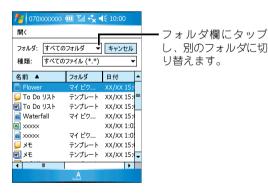
1 メール新規作成画面の下部に録音ツールバーが表示されます。

2 ● ボタンにタップすると録音が始まります。

3 この製品のマイク(送話口)に自分の声などを録音します。

4 ■ ボタンにタップすると録音が終了し、録音したファイルが自動的に添付されます(「添付ファイル：xxxxx.wav(xxKB)」など)。

◇ ファイル にタップした場合 ◇

1 ファイル選択画面が表示されます。

2 リストから目的のファイルにタップします。

3 メールの新規作成画面に戻り、「添付ファイル：xxxxx.XLS(xxKB)」などが表示されます。

3 画面左下の 送信 にタップします。

・作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。

・送信ではなく「下書き」フォルダに保存するときは、ok にタップし、確認メッセージで はい にタップします。

4 **画面右下の メニュー － 送受信 にタップします。**

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、自動的にメールサーバーにある未読メールを受信します。

5 **タイトルバーの にタップし、表示されたウィンドウの 切断 にタップします。**

タイトルバーの が になり、回線が切れます。
また、 ボタンを押すと、回線が切れToday画面（待ち受け画面）に戻ります。

まとめてメールを送る

送信トレイに未送信メールを保存しておき、あとでまとめて送信できます。

1 **2-28ページの手順1～6の方法でメールを作成し、画面左下の 送信 にタップします。**

作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。

2 **引き続き別のメールを作成し、画面左下の 送信 にタップします。**

作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されていきます。

3 **画面右下の メニュー － 送受信 にタップします。**

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールをすべて送信します。引き続いて、自動的にメールサーバーにある未読メールを受信します。

4 **タイトルバーの にタップし、表示されたウィンドウの 切断 にタップします。**

タイトルバーの が になり、回線が切れます。
また、 ボタンを押すと、回線が切れToday画面（待ち受け画面）に戻ります。

メールを受信する

メールを受信します。
ここでは、すでにメールを送信／受信できる設定を完了しているものとして説明します。
まだ、設定していない方は、オンラインサインアップ(☞2-26ページ)を行うか、すでに入会しているインターネットプロバイダーの情報を設定(☞7-12ページ)してください。

- ご購入時、「Outlookメール」というアカウントがあります。
  このアカウントはActiveSyncを使ってパソコンと同期するためのもので、メールを受信することはできません。
  オンラインサインアップして保存したアカウントやご自分で設定したアカウントを選択してください。

メールを自動受信する

オンラインサインアップをして取得したアカウント(メールアドレス)に送られたメールは、自動受信できます(☞2-50ページ)。
自動受信できるのは、オンラインサインアップしたアカウントだけです。
ご自分で入会しているインターネットプロバイダーのアカウント(メールアドレス)に送られたメールは、「メールを手動で受信する」(☞次ページ)をご覧になり、ご自分で受信してください。

1 メールを受信します。

センターから送られてきたメールの受信を開始します。

2 受信が完了すると自動的に回線を切断します。

オンラインサインアップで取得したアカウント(メールアドレス)に送られてきたメールを受信すると、受信トレイの中の「受信済みアイテム」フォルダの中に受信メールが入ります。
また、ご購入時の設定としてメールを受信したときにサーバー上のメールは削除されます(☞2-50ページ)。

3 受信したメールを読みます。

メールを手動で受信する

センター（サーバー）にある未受信のメールを受信します。
オンラインサインアップではなく、ご自分で設定したアカウント（メールアドレス）に送信されたメールはこの方法で受信します。
オンラインサインアップをして取得したアカウント（メールアドレス）も、この方法にて手動受信できます（☞2-50ページ）。

1 **スタート メニューの “メール”にタップします。**

2 **画面右下の メニュー － アカウントを切り替える にタップし、表示されたメニューから接続に利用するアカウントを選択します。**

3 **画面右下の メニュー － 送受信 にタップします。**

インターネットに接続し、センター（サーバー）にある未読メールを受信します。
ご自分で設定したアカウント（メールアドレス）に送信されてきたメールを受信したときは、受信トレイの中に受信メールが入ります。サーバー上のメールの削除については、2-41ページをご覧ください。

4 **タイトルバーの にタップし、表示されたウィンドウの 切断 にタップします。**

タイトルバーの が x になり、回線が切れます。
また、 PWR ボタンを押すと、回線が切れToday画面（待ち受け画面）に戻ります。

ご注意！

● この製品を使ってメールを受信後、パソコンなどを使って同じメールを受信しサーバーから受信メールを削除すると、サーバーに残っているメールの状態が変わります。
このため、次にこの製品を使ってメールの送受信を行うと、サーバー側で削除されたメールはこの製品の「受信トレイ」からも削除され見ることができなくなります。メール送受信の際はご注意ください。
このようなことを避けるには、「受信トレイ」に入っているメールを別のフォルダに移してください。

受信メールを見る

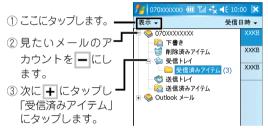
受信したメールは次のフォルダに入ります。

・オンラインサインアップで取得したメールアドレスは「受信トレイ」の中の「受信済みアイテム」フォルダ

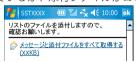
・ご自分で設定したメールアドレスは「受信トレイ」

1 画面左上の「送信トレイ」などにタップし、「受信済みアイテム」や「受信トレイ」を選択します（「受信済みアイテム」などの選択は下記MEMOをご覧ください）。

タップすると、メッセージの並べ替え順の項目が表示されます。並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。

●オンラインサインアップをしたときのアカウントや別のアカウントの受信メールを見るときは、以下のようにします。

2 見たいメールにタップします。

メールの詳細が表示されます。

●ご自分で設定したアカウントで、メールの詳細画面最後部に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、受信したメッセージが途中で切れているか、添付ファイルがあることを知らせています。

※オンラインサインアップで取得したウィルコムのアカウント（メールアドレス）は、ご購入時の設定は、「メッセージの全文を取得する」（☞2-49ページ）になっています。

ご注意！

●オンラインサインアップで取得したウィルコムのアカウント（メールアドレス）の場合は、オプション（3/3）画面（☞2-49ページ）で、「メッセージヘッダーのみ取得する」にしてもサーバーからメールを削除します。「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されても次回の送受信ですべての取得は行われませんので、ご購入時の設定「メッセージの全文を取得する」にしてください。

メール(メッセージ)の全文/添付ファイルを取得する

この説明は、ご自分で設定したアカウント(メールアドレス)に受信したメールに関するものです。

1 「受信トレイ」一覧画面で、続きのメッセージや添付ファイルを取得したいメール(メッセージ)をタップしたままにし、表示されたメニューから メッセージのダウンロード をタップします。

選択したメール(メッセージ)に が表示されます。

MEMO

- メールの詳細画面最後部に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」をタップ、またはタップしたままにして、表示されたメニューから メッセージのダウンロード をタップして、「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」に変更し、okにタップします(「受信トレイ」一覧画面で選択したメッセージに が表示されます)。
次回接続して電子メールを受信するときに、メール(メッセージ)と添付ファイルがダウンロードされます。

2 画面右下の メニュー ー 送受信 にタップします。

選択したメッセージの全文と添付ファイルがダウンロードされます。

- 添付ファイルがダウンロードされると、 を表示して添付ファイルがあることを知らせます。

3 タイトルバーの にタップし、表示されたウィンドウの 切断 にタップします。

タイトルバーの が x になり、回線が切れます。
また、 ボタンを押すと、回線が切れToday画面(待ち受け画面)に戻ります。

添付ファイルを見る／保存する

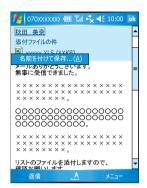
メールに添付されたファイルを見たり、保存したりすることができます。

添付ファイルを見る

1 「受信トレイ」一覧画面で、添付ファイルを取得したメールをタップします。

2 添付ファイルをタップします。

添付ファイルを保存する

1 添付ファイルをタップしたままにし、表示されたメニューから 名前を付けて保存 にタップします。

2 ファイルの名前を入力し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

3 保存 にタップします。

メールを返信する・転送する

受信したメールを返信したり、別のメールアドレスに転送したりできます。

メールを返信する

1 **「受信済みアイテム」や「受信トレイ」一覧画面で、返信するメールをタップします。**

2 **画面右下の［メニュー］－［返信］または［全員へ返信］にタップします。**

・［返信］を選択した場合　：メールを送信してきた人のみに返信します。
・［全員へ返信］を選択した場合　：送信者も含めて全員に返信します。

3 **返信内容を入力します。**

4 **画面左下の［送信］にタップします。**

・メールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。
・［送信］ではなくokにタップすると、「下書き」フォルダに保存されます。

5 **画面右下の［メニュー］－［送受信］にタップします。**

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、メールサーバーにある未読メールを受信します。

●「受信トレイ」一覧画面で、返信するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから［返信］または［全員へ返信］を選択しても返信できます。

6 **タイトルバーのアイコンにタップし、表示されたウィンドウの［切断］にタップします。**

タイトルバーのアイコンがアイコン×になり、回線が切れます。
また、［PWR］ボタンを押すと、回線が切れToday画面（待ち受け画面）に戻ります。

メールを転送する

1 「受信済みアイテム」や「受信トレイ」一覧画面で、転送するメールをタップします。

2 画面右下の メニュー ー 転送 にタップします。

MEMO

- 「受信トレイ」一覧画面で、転送するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 転送 を選択しても転送できます。

3 転送先（宛先）／転送内容を入力します。

4 画面左下の 送信 にタップします。

・メールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。
・ 送信 ではなく ok にタップすると、「下書き」フォルダに保存されます。

5 画面右下の メニュー ー 送受信 にタップします。

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、メールサーバーにある未読メールを受信します。

6 タイトルバーの にタップし、表示されたウィンドウの 切断 にタップします。

タイトルバーの が x になり、回線が切れます。
また、 PWR ボタンを押すと、回線が切れToday画面（待ち受け画面）に戻ります。

メールを削除する

受信メールを削除する(「削除済みアイテム」フォルダに移す)

1 **「受信済みアイテム」や「受信トレイ」一覧画面で削除するメールを選択し、画面右下の メニュー ー 削除 にタップします。**

削除したメールは、「削除済みアイテム」フォルダに移ります。

この操作では「削除済みアイテム」フォルダに移っただけで、この製品からは削除されていません。この製品から削除するときは、「「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすべて削除する」(☞下記)の操作を行います。

- 「受信トレイ」一覧画面で削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 にタップしても削除できます(「削除済みアイテム」フォルダに移ります)。

「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすべて削除する

この操作を行うと、「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールはこの製品から削除されますので、ご注意ください。

また、「削除済みアイテム」フォルダから削除すると、次にメール送受信を行うとメールサーバーに残っているメールは削除されます。

ウィルコムのメールアドレスの場合は、ご購入時の設定としてメールを受信したときにサーバーからメールは削除されます(☞2-50ページ)。

1 **「削除済みアイテム」フォルダを表示します。**

「削除済みアイテム」フォルダ内が表示されます。

2 画面右下の[メニュー]－[ツール]－[[削除済みアイテム]を空にする]にタップします。

3 表示された確認画面で[はい]にタップします。

手順**1**で選択したアカウント内の「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールが削除されます。

MEMO

- 「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを削除する方法を変更できます（☞2-53ページ）。

「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを1件だけ削除する

1 「削除済みアイテム」フォルダを表示します。

2 この製品から削除するメールを選択します。

3 画面右下の[メニュー]－[削除]にタップします。

4 表示された確認画面で[はい]にタップします。

手順**2**で選択したメールのみ削除されます。

- 削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから[削除]を選択しても削除できます。

メールを整理する

新規にフォルダを作って、受信メールを関連した仕事ごとなどに振り分けて整理できます。

新規フォルダを作成する

まず、振り分けるためのフォルダを作成します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで画面右下の メニュー ー アカウントを切り替える にタップし、フォルダを作る「アカウント」を選択します。

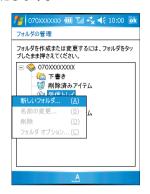
2 画面右下の メニュー ー ツール ー フォルダの管理 にタップします。

フォルダの管理画面が表示されます。

2 電話／メール／インターネット

メール

3 「フォルダの管理」画面内のフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから「新しいフォルダ」にタップします。

「受信トレイ」フォルダの下に新規フォルダを作るときは、「受信トレイ」フォルダをタップしたままにします。

●「受信トレイ」フォルダや「送信トレイ」フォルダと同じ階層にフォルダを作るときは、アカウント名をタップしたままにします。

4 「新しいフォルダ」画面でフォルダの名前を入力し、ok にタップします。

入力した名前のフォルダが、手順**3**で選択した（タップしたままにした）フォルダの下に表示されます。フォルダの中にフォルダを作成すると、＋が表示されます。
＋にタップすると中のフォルダが見えます。

メールを別のフォルダに移動する

受信したメールなどを新しく作ったフォルダに移動します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで移動するメールを選択し、画面右下の メニュー ー 移動 にタップします。

2 移動画面で、移動先のフォルダを選択（反転）し、ok にタップします。

移動先のフォルダに移動します。
移動先のフォルダとして、別のアカウント内のフォルダを選択することはできません。

●移動するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 移動 にタップしても移動できます。

フォルダの名前を変更する

1 画面右下の メニュー ー ツール ー フォルダの管理 にタップし、「フォルダの管理」画面を表示させます。

2 名前を変更したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 名前の変更 にタップします。

フォルダ名の変更画面が表示されます。

3 名前を変更して ok にタップします。

・既定のフォルダの名前は変更できません。
　名前を変更できるのは、新規に作成したフォルダのみです。

フォルダを削除する

1 画面右下の メニュー ー ツール ー フォルダの管理 にタップし、「フォルダの管理」画面を表示させます。

2 削除したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 にタップします。

削除したフォルダが「削除済みアイテム」フォルダに移動します。

・既定のフォルダは削除できません。
　削除できるのは、新規に作成したフォルダのみです。
　この操作では「削除済みアイテム」フォルダに移っただけで、この製品からは削除されていません。

・**「削除済みアイテム」フォルダ内のフォルダを削除するときは**

1 削除したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 にタップします。
2 表示された確認画面で はい にタップします。

メール送信や受信を行うための設定をする

すでにご入会されているインターネットプロバイダーの情報(メールアカウントやメールサーバーなどの情報)を設定する方法を説明します。
この設定を行うと、すでにご入会されているメールアドレスへ送られてきたメールを受信できます。
新しいアカウントは7つまで設定できます。

1 スタートメニューの“メール”にタップします。

「受信トレイ」一覧画面が表示されます。

2 画面右下のメニュー－ツール－新しいアカウントにタップします。

電子メールのセットアップ(1/5)画面が表示されます。

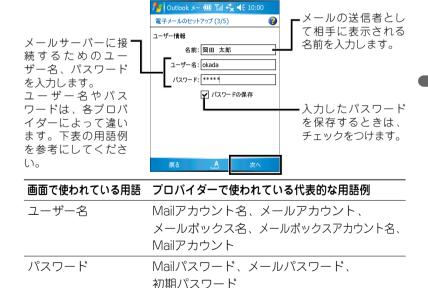
3 お使いのメールアドレスを入力し、次へにタップします。

電子メールのセットアップ(2/5)画面が表示されます。

4 この製品にすでに入っている接続設定を使ってインターネットへ接続を始めます。ここではタイトルバーの にタップし表示されたウィンドウから キャンセル にタップし、 次へ にタップします。

電子メールのセットアップ(3/5)画面が表示されます。

5 名前、ユーザー名、パスワードを入力し、 次へ にタップします。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	Mailアカウント名、メールアカウント、 メールボックス名、メールボックスアカウント名、 Mailアカウント
パスワード	Mailパスワード、メールパスワード、 初期パスワード

電子メールのセットアップ(4/5)画面が表示されます。

6 アカウントの種類(POP3またはIMAP4)を選択し、アカウントの名前を入力して、次へにタップします。

アカウントの種類がわからないときは、プロバイダーにお問い合わせください。

電子メールのセットアップ(5/5)画面が表示されます。

7 サーバー情報を入力し、完了にタップします。

入会しているプロバイダーによっては、受信メール(サーバー)と送信メール(サーバー)がそれぞれ別になっているプロバイダーと、同じになっているプロバイダーがあります。

・別々になっているプロバイダーは、受信メール(サーバー)と送信メール(サーバー)の両方を入力します。

・メールサーバーが同じになっている(1つになっている)ときは、両方に同じものを入力します。

● メールのダウンロードオプションを設定するときは、前ページの画面の オプション をタップします。
オプション(1／3)画面が表示されます。
画面右下の 次へ にタップして、オプション(2／3)、オプション(3／3)画面に切り替えます。
設定が終わったら画面右下の 完了 をタップしてください。

◇ オプション(1／3)画面 ◇

◇ オプション(2／3)画面 ◇

◇ オプション(3／3)画面 ◇

ウィルコムのサーバー上のメールを削除する

ウィルコムのアカウント（メールアドレス）（☞2-26ページ）に送られてきたメールを受信したとき、ウィルコムのサーバーからメールを削除する／しないを設定します。
削除しないように設定するとサーバーにメールが溜まっていきますので、削除する設定にすることをおすすめします。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、設定画面（個人用 タブ）で“Eメール（ウィルコム）”にタップします。**

Eメール（ウィルコム）設定画面が表示されます。

2 **受信サーバーからメールを削除する／しないなどを設定します。**

① チェックを付けると、ウィルコムのメールアドレスに送られてきたメールを受信したとき、ウィルコムのサーバーからメールを削除します。チェックを外すとサーバーにメールが溜まっていきますのでチェックを付けることをおすすめします。ご購入時はチェックが付いています。

② チェックを付けると、自動受信（☞2-33ページ）します。

③ 自動受信に失敗したときに、リトライ（再受信）する回数を設定します。この設定は、②にチェックを付けた後、③のチェックを付け回数を設定します。③のチェックが付いていないとリトライしません。

- 上記のメール設定画面は、オンラインサインアップによって取得したメールアドレスに対するものです。ご自分で入会しているプロバイダーの情報を入力して設定したメールアドレスについては、2-41ページをご覧ください。また、受信できないとき、再受信は行いません。

3 **設定が終われば ok にタップします。**

メール接続設定の変更

1 スタート メニューの“メール”にタップします。

2 画面右下の メニュー － ツール － オプション にタップします。

3 変更するアカウントにタップします。

電子メールのセットアップ画面が表示されます。

4 画面にしたがって、設定内容を変更します。

画面を進めるときは 次へ にタップし、画面を戻るときは 戻る にタップします。

5 変更を終えた後、電子メールのセットアップ(4/4)画面まで進み 完了 にタップします。

MEMO

- **アカウントを削除する**
  作成したアカウントを削除するときは、手順**3**の画面でアカウントをタップしたままにし、表示されたメニューから「削除」にタップします。
- オンラインサインアップを行うとアカウント画面には、「電話番号」が表示されます。このアカウント情報は、ウィルコムのセンターに接続しオンラインサインアップ時に設定したメールアドレスに届いたメールを受信するために必要です。名称の変更や情報を変更しないでください。

メッセージのオプション設定について

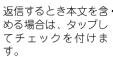
メールの新規作成画面などで、画面右下の メニュー ー メッセージのオプション にタップします。
設定が終わったら ok をタップしてください。

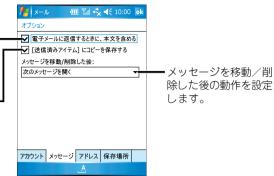
オプション設定について

「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー ー ツール ー オプション で以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

◇ アカウント タブ ◇

◇ メッセージ タブ ◇

返信するとき本文を含める場合は、タップしてチェックを付けます。

[送信済みアイテム]にコピーを保存する場合、タップしてチェックを付けます。

メッセージを移動／削除した後の動作を設定します。

◇ アドレス タブ ◇

「すべての電子メールのフィールド」にしておくと、連絡先に登録している名前からその人のメールアドレスを参照します。
新規メール作成時に宛先に名前を入力すると、メールアドレスが入ります。

Exchange Serverにあるアドレス帳を参照するときに設定します。

◇ 保存場所 タブ ◇

メモリカード側に作業用として添付ファイルを保存し、本体メモリの空きを作ります。
チェックを付けているときはメモリカードを取り付けてください。

[削除済みアイテム]を空にする方法を設定します。

メールのメニュー

新規作成／返信／転送画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">受信者の追加</td><td>連絡先に登録しているメールアドレスを入力する（☞2-28ページ）。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">挿入</td><td>画像</td><td>画像を添付ファイルとして添付する（☞2-30ページ）。</td></tr>
<tr><td>ボイス メモ</td><td>録音したファイルを添付ファイルとして添付する（☞2-31ページ）。</td></tr>
<tr><td>ファイル</td><td>ファイルを添付ファイルとして添付する（☞2-31ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">マイ テキスト</td><td>よく使う文書を入力する（☞2-29ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">宛先の確認</td><td>宛先を確認する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">下書きに保存</td><td>下書きに保存する（☞2-29ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">メッセージの取り消し</td><td>メールの作成を取り消す。</td></tr>
<tr><td colspan="2">メッセージのオプション</td><td>メッセージのオプションを設定する（☞2-52ページ）。</td></tr>
</table>

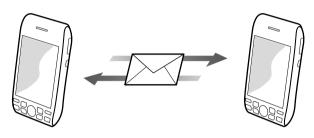
「受信トレイ」／「送信トレイ」／「下書き」／「送信済みアイテム」／「削除済みアイテム」フォルダのメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">削除</td><td>メールを削除する（☞2-41ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">返信</td><td>メールを送信してきた人のみに返信する（☞2-39ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">全員へ返信</td><td>メールを全員に返信する（☞2-39ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">転送</td><td>メールを転送する（☞2-40ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">移動</td><td>メールを他のフォルダに移動する（☞2-44ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開封済みにする／未読にする</td><td>未読メールを開封済みに、開封済みメールを未読にする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">メッセージのダウンロード</td><td>メッセージの全文／添付ファイルを取得する（☞2-36ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">送受信</td><td>メールの送受信をする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">アカウントを切り替える</td><td>アカウントを切り替える（☞2-35ページ）。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ツール</td><td>フォルダ管理</td><td>フォルダの作成／変更する（☞2-43、2-45ページ）。</td></tr>
<tr><td>[削除済みアイテム]を空にする</td><td>「削除済みアイテム」フォルダ内のすべてを削除する（☞2-41ページ）。</td></tr>
<tr><td>“XXX”をクリア</td><td>“XXX”（アカウント）の「受信トレイ」、「送信済みアイテム」フォルダ内のメッセージをすべて削除する。</td></tr>
<tr><td>新しいアカウント</td><td>新しいアカウントを設定する（☞2-46ページ）。</td></tr>
<tr><td>オプション</td><td>オプション設定画面を表示する（☞2-52ページ）。</td></tr>
</table>

受信メール詳細画面のメニュー

削除	メールを削除する（☞2-41ページ）。
返信	メールを送信してきた人のみに返信する（☞2-39ページ）。
全員へ返信	メールを全員に返信する（☞2-39ページ）。
転送	メールを転送する（☞2-40ページ）。
移動	メールを他のフォルダに移動する（☞2-44ページ）。
未読にする	開封済みメールを未読メールにする。
メッセージのダウンロード	メッセージの全文／添付ファイルを取得する（☞2-36ページ）。
連絡先に保存	連絡先にメールアドレスを保存する。
送受信	メールの送受信をする。
言語	言語を切り替える。

ライトメール

ライトメール対応機種どうしでメールのやりとりができます。
ライトメールは、本文が全角45文字（半角90文字）までのメールを送信できます。
ライトメールは、インターネットを経由しないで相手の電話番号を宛先に指定します。

ライトメールを作って送る

ライトメールを作って送ります。

1 **[✉] ボタンを長く(約2秒)押します。**

"ライトメール"が起動します。

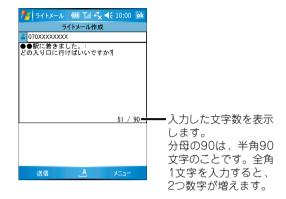
2 **画面左下の 新規 にタップします。**

新規作成画面が表示されます。

3 **宛先入力欄にタップしてカーソルを表示し、直接、電話番号(宛先)を入力します。**

"連絡先"に登録している電話番号やライトメール送信履歴／受信履歴などを宛先として利用できます。これらについては、2-67〜69ページをご覧ください。

4 本文入力欄にタップしてカーソルを移動し、本文を入力します。

入力できる文字数は全角45文字（半角90文字）です。画面右下に、入力した文字数を表示します。

5 本文の入力が終わったら、画面左下の 送信 にタップします。

メールが送信されます。送信したメールは送信済フォルダに入ります。

・相手が通話中／電源が入っていない／圏外などのときは、「再送信しますか？」と表示されます。この画面で はい にタップすると再送信を行います。再送信を行っても送信されないときは、再度「再送信しますか？」と表示されますので、 いいえ にタップし送信待フォルダに入れます。あとでこのメールを再送信する方法については2-65ページをご覧ください。

・通話／通信機能を制限（☞2-105ページ）しているときは、ライトメールの送信はできません。

・メールの作成を途中で止めるときは、画面右下の メニュー － 編集中止 にタップします（画面右上の ok にタップしても同様の操作になります）。表示されたメッセージで はい にタップすると下書きフォルダに保存されます。ここで いいえ にタップすると作成中のメールは保存されません。

- 入力できる宛先（電話番号）は、1つだけです。複数の相手を宛先にできません。
- ライトメールでは分計発信はできません。
- ライトメールを送信するとご購入時は相手に自分の電話番号を通知するように設定されています。この設定を変える（常に通知しないようにする）には、2-103ページをご覧になり設定を変更してください。
  また、1回だけ電話番号を通知しないようにするときは、画面右下の メニュー － 184送信 にタップします。
- ライトメール作成中に電話がかかってきたとき、その電話に出て終話のあとはToday画面（待ち受け画面）に戻りますが、作成中の状態を保持しています。

受信したライトメールを読む

1 **ライトメールを受信すると、着信音が鳴ります。**

また、Today画面（待ち受け画面）に「未読ライトメール：X件」と表示され未読のライトメールがあることが分かります（☞1-16ページ）。

2 **[✉]ボタンを長く（約2秒）押して、“ライトメール”を起動します。**

3 **読みたいメールを選択します。**

ライトメールの本文が画面下部に表示されます。

：未読メール

：既読メール

4 **別のライトメールを読むときは、別のメールにタップします。**

作成中のライトメールを下書きとして保存する

作りかけたメールを送信せずにいったん保存し、あとで追加や修正し送信できます。

メールを下書きとして保存する

1 **2-57～58ページの手順1～4と同様にメールを作ります。**

2 **画面右下の［メニュー］－［編集中止］にタップします。**

3 **表示された確認画面で、［はい］にタップします。**
［いいえ］にタップすると、保存されません。
作りかけていたメールが下書きフォルダに入ります。このメールは送信されずに、下書きメールとして保存されます。
また、［キャンセル］にタップすると、メール作成画面に戻ります。

- 手順**2**で画面右上の ok にタップしても同様の操作になります。

下書きとして保存しているメールに追加や修正し送信する

1 **送信トレイ画面（☞2-64ページ）を表示し、下書きフォルダにタップします。**
下書きフォルダに入っているメールが表示されます。

2 **編集するメールにタップし、画面右下の［メニュー］－［編集］にタップします。**

3 **メール本文の追加や修正をします。**

4 **画面左下の［送信］にタップします。**
メールが送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

保存できるライトメールの件数

この製品に保存できるライトメールには、次のような制限があります。

保存できる件数

・受信ライトメール：最大200件まで保存できます。
・送信ライトメール：最大100件まで保存できます。
※送信ライトメールは、送信済みメール、送信待ちメール、下書きメールすべての合計が最大100件です。

最大件数を超えて受信したり送信した場合

・最大件数を超えて受信すると、保護ライトメール（※）を除いて一番古い既読ライトメールから削除され、既読ライトメールがなくなると一番古い未読ライトメールから自動的に削除されていきます。
このようなときは、未読メールを読み既読メールにしたり、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。
・送信時も最大件数を超えて送信すると、未送信メールと保護ライトメール（※）を除き、一番古いメールから自動的に削除されます。
ただし、未送信メールが50件、保護メールが50件など（保存件数が最大で削除されないメールのみの状態）では、新規メールの作成はできません。このようなときは、未送信メールを送信して送信済みのメールにしたり、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。
※削除したくないメールがあるときは保護し、削除されないように設定できます。保護の設定については次ページをご覧ください。

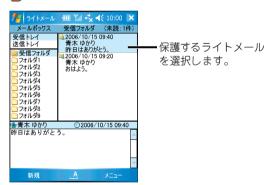
ライトメールを保護する／保護を解除する

受信したライトメールや送信したライトメールは受信フォルダや送信済フォルダなどに入り、この製品に保存されます。
しかし、保存されるライトメールの件数には制限があり、この制限を超えてライトメールを受信したり送信すると古いライトメールから削除されます（この制限については、前ページをご覧ください）。
削除したくないライトメールは保護設定することにより、削除されずにフォルダに残ります。

保護する

1 受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示します。

2 保護するライトメールを選択し、画面右下の メニュー － 保護 にタップします。

保護されたメールには、🔒が表示されます。

- 手順**2**で保護するライトメールを必ず選択してください。送信済フォルダや送信トレイなどが選択されていると、メニュー － 保護 は表示されません。

保護を解除する

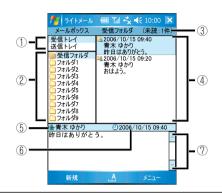
1 保護しているメール（🔒が表示されているメール）を選択します。

2 画面右下の メニュー － 保護 にタップします。

保護が解除され、🔒が消えます。

ライトメールの画面について

ここでは、ライトメールの画面について説明します。

受信トレイ画面

① 「受信トレイ」を選択します。受信トレイの中にあるフォルダ(受信フォルダ、フォルダ1～9)を表示します。
「送信トレイ」を選択したときは、送信済フォルダ、送信待フォルダ、下書きフォルダを表示します。くわしくは、次ページをご覧ください。

② 受信トレイ内のフォルダがリスト表示されます。
フォルダ1～フォルダ9は振り分け条件設定用のフォルダです。振り分け条件設定にしたがって振り分けられたメールが、これらのフォルダに入ります。振り分け設定については、2-75ページをご覧ください。

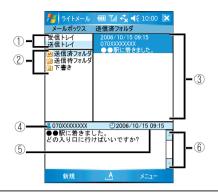
③ ②で選択しているフォルダ内の未読メール件数が表示されます。

④ ②で選択しているフォルダ内のメールがリスト表示されます。
リスト表示は、各メールを3行で表示するモードと1行で表示するモードがあります。④でメールを選択しているとき(フォーカスがある状態)、画面右下の メニュー － 行数切替 － 1行表示 または 3行表示 を選択し、切り替えます。
また並び順を受信した順、差出人(電話番号)にできます。メニュー － 並び替え － 受信順 または 差出人順 を選択します。

⑤ 送信者の電話番号を表示します。
- "連絡先"に送信者の電話番号があるときは、その名前を表示します。
- 相手が電話番号を通知していないときは、「非通知」と表示されます。
- 相手が通知できないエリアや電話機からのときは、「通知不可能」と表示されます。
- 公衆電話からのときは、「公衆電話発信」と表示されます。

⑥ 受信日時を表示します。

⑦ 受信したライトメールの本文を表示します。

送信トレイ画面

① 「送信トレイ」を選択します。送信トレイの中にあるフォルダ(送信済、送信待、下書き)を表示します。

② 送信トレイ内のフォルダ(送信済フォルダ、送信待フォルダ、下書きフォルダ)がリスト表示されます。

③ ②で選択しているフォルダ内のメールがリスト表示されます。
リスト表示は、各メールを3行で表示するモードと1行で表示するモードがあります。③でメールを選択しているとき(フォーカスがある状態)、画面右下の メニュー ー 行数切替 ー 1行表示 または 3行表示 を選択し、切り替えます。
また並び順を送信した順、宛先(電話番号)にできます。メニュー ー 並び替え ー 送信順 または 宛先順 を選択します。

④ ③で選択しているメールの宛先(電話番号)を表示します。
"連絡先"に宛先の電話番号があるときは、その名前を表示します。

⑤ 送信した日時を表示します。
下書きメールの場合は、下書きフォルダに保存した日時を表示します。
送信待メールの場合は、送信できずに送信待フォルダに保存した日時を表示します。

⑥ ライトメール本文を表示します。

相手に自分の電話番号を通知する／通知しない

ライトメールを送信したとき、自分の電話番号を通知したり、非通知にしたりできます。
ご購入時は電話番号を通知する設定になっていますので、2-57ページの手順にしたがって操作したときは、自分の電話番号は通知されます（この設定は電話と共通です）。
ここでの操作は、通常、通知になっている状態を一度だけ非通知にするためのものです（非通知になっている状態を一度だけ通知にするときも同様）。常に通知から非通知に変更するときは、2-103ページをご覧ください。

1 **ライトメールを作成します（☞2-57ページ）。**

2 **画面右下の［メニュー］－［184送信］にタップします。**
この場合、自分の電話番号を通知せずにライトメールを送信します。

MEMO
- **手順2の［184送信］、［186送信］について**
  ［184送信］：相手に自分の電話番号を通知しません。
  ［186送信］：非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知します。
- ライトメールでは分計発信はできません。

未送信のメールを再送信する

送信を実行したが、相手が話し中やエリア外などでライトメールを送信できなかったときは、未送信メールとして送信待フォルダに残っています。この送信待フォルダに入っているメールをあとで送ることができます。

1 **送信トレイ画面（☞前ページ）を表示します。**

2 **送信待フォルダを選択（反転）し、送信待フォルダ内のメールを表示します。**

3 **送信するメールを選択（反転）します。**

4 **画面右下の［メニュー］－［送信］にタップします。**
メールが送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

- 手順**3**でメールの宛先や本文にタップすると、手順**4**では画面左下の［送信］にタップしメールを送信します。

メールを返信する／転送する

メールを返信する

受信したライトメールを返信します。

1 **受信トレイ画面（☞2-63ページ）を表示し、返信するメールを選択（反転）します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［返信］にタップします。**

3 **メール作成画面が表示されます。**

宛先には手順**1**で選択したメールの送信者（電話番号）が表示され、本文には、受信したときの本文が表示されています。

4 **本文を追加／修正して、画面左下の［送信］にタップします。**

メールを送信します。

メールを転送する

受信したライトメールを別の人に転送します。

1 **受信トレイ画面（☞2-63ページ）を表示し、転送するメールを選択（反転）します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［転送］にタップします。**

3 **メール作成画面が表示されます。**

本文には、受信メールの本文が表示されています。

4 **宛先を入力します。**

5 **本文を追加／修正して、画面左下の［送信］にタップします。**

メールを送信します。

送信時、宛先に受信履歴／送信履歴／連絡先を利用する

ライトメール作成時、受信ライトメールの送信者(電話番号)や一度送信した宛先(電話番号)、"連絡先"に登録している電話番号を宛先に利用できます。

ライトメールの受信履歴を利用する

受信したライトメールの送信者の電話番号を宛先として利用できます。

1 **ライトメールの新規作成画面を表示します(☞2-57ページ)。**

2 **宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の［メニュー］－［引用］－［ライトメール受信履歴］にタップします。**

履歴画面が表示されます。

3 **目的の宛先にタップします。**

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降2-57ページと同様に本文を入力し送信します。

- 手順**2**で、宛先入力欄にタップしたままにして、ポップアップメニューから［引用］－［ライトメール受信履歴］にタップしても履歴画面が表示されます。

ライトメールの送信履歴を利用する

一度送信したライトメールの宛先(電話番号)を再度、宛先として利用できます。

1 新規作成画面を表示します。

2 宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー ― 引用 ― ライトメール送信履歴 にタップします。

履歴画面が表示されます。

3 目的の宛先にタップします。

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、同様にメールを作成し送ります。

“連絡先”に登録している電話番号を利用する

“連絡先”に登録している電話番号を宛先として利用できます。

1 新規作成画面を表示します。

2 宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー ― 引用 ― 連絡先 にタップします。

連絡先に登録している名前がリスト表示されます。

MEMO

- リスト表示には、電話番号は表示されません。
- 連絡先に多くの人を登録しているときは、50音タブにタップ、または名前の読みを入力して目的の相手を探します。

3 連絡先の選択画面で、メールを送信する相手にタップします。

4 電話番号選択画面が表示されます。

・手順**3**で選択した相手にPHSや携帯電話など複数の電話番号を登録している場合は、その複数の電話番号が表示されます。
・手順**3**で選択した相手に登録している電話番号が1つのときもこの画面に移ります。

5 目的の電話番号にタップします。

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、同様にメールを作成し送ります。

電話着信履歴／電話発信履歴を利用する

1 新規作成画面で、宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー ー 引用 ー 電話着信履歴 または 電話発信履歴 にタップします。

2 表示された履歴画面で、目的の宛先にタップします。

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、同様にメールを作成し送ります。

絵文字などの入力や連絡先などから引用する

絵文字などを入力する

この製品に入っている記号、顔文字、絵文字などを入力できます。

1 本文にカーソルがあることを確認し、画面右下の[メニュー]－[特殊文字入力]－[絵文字]などにタップします。

2 表示された入力ボードからいずれかに2回タップします。
絵文字などが入力されます。

- 入力を止めるときは、画面左下の[閉じる]にタップします。
- 手順**1**で[コード入力]を選択したときは、シフトJISコード(☞8-12ページ)を入力して[OK]にタップします。
- 定型文の編集はできません。

連絡先などから引用する

1 本文にカーソルがあることを確認し、画面右下の[メニュー]－[引用]－[連絡先]などにタップします。

2 表示された連絡先の選択画面からいずれかをタップします。

3 引用する項目(名前や電話番号など)にタップすると、この項目が入力されます。

- 手順**1**で[プロフィール]を選択すると、自局電話番号またはメールアドレスを引用できます。
[ブックマーク]を選択すると、登録しているブックマークを引用できます。

ライトメールの電話番号を"連絡先"に登録する

受信メールの送信者（電話番号）や送信したメールの宛先（電話番号）を"連絡先"に登録し活用できます。

受信メールの送信者（電話番号）を"連絡先"に登録する

1 **受信トレイ画面で、送信者（電話番号）にタップしたままにします。**
ポップアップメニューが表示されます。

2 **表示されたポップアップメニューの連絡先に登録にタップします。**
連絡先新規登録画面が表示されます（この画面は、"連絡先"から新規作成画面を表示したときの画面とは異なります）。

3 **名前の項目に姓や名前を入力します。**
電話番号の項目には、手順**2**で選択した電話番号が入っています。

4 **電話番号の種別にPHSを選択します。**

5 **okにタップ、または画面右下の登録にタップし、確認画面でOKにタップします。**
手順**4**で入力した姓や名前で"連絡先"が登録されます。電話番号はPHSの項目に入ります。

6 **名前、電話番号以外の項目に入力するときは、"連絡先"に移り、編集画面でデータを入力します。**

送信メールの宛先（電話番号）を"連絡先"に登録する

1 **送信トレイ画面で、宛先（電話番号）にタップしたままにします。**
ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューの連絡先に登録にタップします。**
連絡先新規登録画面が表示されます（この画面は、"連絡先"から新規作成画面を表示したときの画面とは異なります）。

3 **これ以降、上記と同様の操作を行い"連絡先"に登録します。**

送信者や宛先の電話番号を使って電話をかける

受信メールの送信者（電話番号）や送信メールの宛先（電話番号）を使って、電話をかけられます。

1 **受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示します。**

2 **送信者／宛先（電話番号）にタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

3 **表示されたポップアップメニューから 通話 － 発信 にタップします。**

4 **確認画面で はい にタップします。**

電話がかかります。
確認画面で いいえ にタップすると、ダイヤル画面になり ✕ にタップすると手順**1**の画面に戻ります。

MEMO

- 通常の電話をかけるときと同様に、手順**3**で 発信 の代わりに 184発信 や 184分計発信 などを選択できます。
  184発信 や 184分計発信 などについては、2-16ページのメモをご覧ください。

5 **通話を終えるときは、 PWR ボタンを押します。**

電話が切れます。

ライトメールを削除する

受信メールや送信済みメールなどを削除できます。メールの削除には、1件削除、選択削除、全件削除があります。

1件ずつメールを削除する

メールを1件削除します。

1 **受信トレイ画面などで、削除するメールを選択します。**

2 **画面右下の[メニュー]－[削除]－[1件削除]にタップします。**

3 **確認画面で[はい]にタップします。**

手順**1**で選択したメールが削除されます。

- 削除するメールを選択してから、手順**2**に移ってください。
  フォルダを選択している状態で手順**2**を行うと、[1件削除]は表示されません。

選択したメールを削除する

メールを選択削除します。

1 **受信トレイ画面などでメールを選択した状態にして、画面右下の[メニュー]－[削除]－[選択削除]にタップします。**

2 **確認画面で ok にタップします。**

3 **リストから削除するメールにタップします。**

複数のメールを選択できます。

4 **画面左下の[実行]にタップします。**

画面右下の[中止]にタップすると、削除を中止します。

5 **確認画面で[はい]にタップします。**

手順**3**で選択したメールが削除されます。

全てのメールを削除する

全件削除は、1つのフォルダに入っているメールをすべて削除します。

1 **受信トレイ画面などで、メールを削除するフォルダを選択します。**

2 **画面右下の メニュー － メール全削除 にタップします。**

3 **確認画面で はい にタップします。**

フォルダ内のメールがすべて削除されます。

受信したライトメールを振り分ける

受信したメールを受信フォルダだけでなく、送信者（電話番号）を指定してその送信者（電話番号）のメールを受信フォルダ、またはフォルダ1〜9に入れる（振り分ける）ことができます。

振り分けの設定をする

始めに、受信したメールを振り分けるための振り分け条件を設定します。

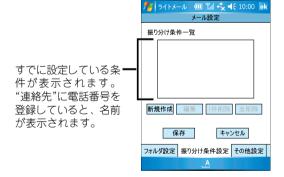
1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示します。**

2 **受信トレイ画面では受信フォルダなど、送信トレイ画面では送信済フォルダなどを選択します（フォルダが反転している状態にします）。**

3 **画面右下の メニュー ー 設定 にタップします。**

メール設定画面が表示されます。

4 **メール設定画面で、 振り分け条件設定 タブにタップします。**

メール設定画面（ 振り分け条件設定 タブ）が表示されます。

新規作成 にタップし、振り分け条件を作成します。

振り分け条件作成画面が表示されます。

①「すべての送信者」または「電話番号」を選択します。
- ・「すべての送信者」を選択すると、すべての送信者が対象となり、③で選んだフォルダの中に送信者すべてのライトメールが入ります。
- ・「電話番号」を選択すると、②に入力した電話番号が対象となり、③で選んだフォルダの中にその電話番号のライトメールが振り分けられます。

② 電話番号（送信者）を入力します。この電話番号の人から送信されたメールを振り分けますので、入力する番号を間違えないでください。

③ 振り分け先となるフォルダを選択します（タップして反転します）。選択したフォルダの中に、振り分けられたメールが入ります。

- ③で選択できるフォルダは1つだけです。複数のフォルダを選択できません。
- ある電話番号の振り分け先に指定したフォルダは、別の電話番号の振り分け先にも選択できます。たとえば、070-XXX-XXXXの振り分け先に「フォルダ1」を選択し、070-YYY-YYYYの振り分け先にも「フォルダ1」を選択できます。「フォルダ1」には、070-XXX-XXXXと070-YYY-YYYYの両方から送信されたメールが振り分けられます。

6 保存 にタップします。

メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）に戻り、手順**5**で入力した電話番号などがリストに表示されます。

“連絡先”にその電話番号が登録されているときは、その電話番号の人の名前が表示されます。

7 ライトメールを受信します。

作成した振り分け条件にしたがって、受信メールが振り分けられます。

設定した振り分けを修正する

設定した振り分け条件を編集します。

1 メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）（☞2-75ページ）で、編集したい条件（電話番号など）を選択し、編集 にタップします。

2 表示された画面で、電話番号を編集したり振り分け先を変更するなどして、保存 にタップします。

変更した内容を保存し、設定画面（振り分け条件設定 タブ）に戻ります。

設定した振り分けを削除する

設定した振り分け条件を削除します。

1つの設定を削除します（一件削除）

1 設定画面（振り分け条件設定 タブ）（☞2-75ページ）で、削除したい電話番号などを選択し、1件削除 にタップします。

2 確認画面で はい にタップします。

手順**1**で選択した振り分け設定が削除されます。
削除されるのは振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

すべての設定を削除します（全削除）

1 設定画面（振り分け条件設定 タブ）（☞2-75ページ）で、全削除 にタップします。

2 確認画面で はい にタップします。

すべての振り分け設定が削除されます。
削除されるのは振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

各種設定を行う

ライトメールの設定を行います。

1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示します。**

2 **受信トレイ画面では受信フォルダ、送信トレイ画面では送信済フォルダを選択します（フォルダが反転している状態にします）。**

3 **画面右下の メニュー ー 設定 にタップします。**

設定画面が表示されます。

4 **フォルダの設定や振り分けの条件設定などを行います。**

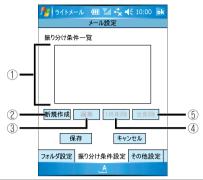
◇ フォルダ設定 タブ ◇

フォルダの表示方法や受信トレイのフォルダ1〜9の名前を変更します。

① 受信トレイ画面の表示方法を設定します。
・フォルダ一覧：フォルダリストには、受信フォルダやフォルダ1〜9が表示され、フォルダ単位でメールを表示します。
・全受信メール：受信したメールをすべて表示します。フォルダリストには、「全受信メール」と表示されます。

② フォルダ名を変更します。
※「受信フォルダ」の名前だけは変更できません。
名前を変更するフォルダにタップします。
フォルダ名変更画面が表示されますので、名前を変更し OK にタップします。 キャンセル にタップすると、フォルダ名は変更されません。
このフォルダ名は、2-76ページの振り分け条件設定に用意されているフォルダ1〜9です。このフォルダ名を変更すると、受信トレイ画面で表示されるフォルダ名や2-76ページの画面（メール設定画面（ 振り分け条件設定 タブ））に表示されるフォルダ名も変更されます。

◇ 振り分け条件設定 タブ ◇

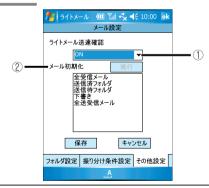
受信したメールを振り分けます。設定方法などの操作については、2-75ページをご覧ください。

① 設定した振り分け条件（電話番号または名前（※）とフォルダ名）がリスト表示されます。
※ “連絡先”に電話番号が登録されているときは、その電話番号の名前が表示されます。

② 新規に振り分けを設定します。くわしくは、2-76ページをご覧ください。

③ 設定した振り分けを編集します（☞2-77ページ）。

④ 設定した振り分けを一件削除します（☞2-77ページ）。

⑤ 設定した振り分けすべてを削除します（☞2-77ページ）。

◇ その他設定 タブ ◇

① ライトメール送信時に送信済の確認音を鳴らす／鳴らさないを選択します。
・「ON」： 確認音を鳴らします。　・「OFF」：確認音は鳴りません。

② 受信フォルダや送信済フォルダなどに入っているメールを削除します。
フォルダのリストからいずれかのフォルダを選択（反転）し、実行 にタップします。

5 設定が終われば、ok にタップします。

ライトメールのメニュー

「受信トレイ」、「送信トレイ」選択時

表示切替	受信トレイの中のフォルダを表示するとき、「全受信メール」 表示フォルダを切り替える。
メール全削除※	受信トレイ内の1つのフォルダまたは送信トレイ内の1つのフォルダに入っているライトメールをすべて削除する（☞2-74ページ）。
フォルダ名変更	受信トレイの中にある「フォルダ1」～「フォルダ9」のフォルダ名を変更する（☞2-78ページ）。
設定※	設定画面を表示する（☞2-78ページ）。

※「送信トレイ」選択時に表示されます。

受信トレイに入っているライトメールのリスト選択時

返信		選択しているライトメールを返信する（☞2-66ページ）。
転送		選択しているライトメールを転送する（☞2-66ページ）。
並び替え		受信順、差出人順に並び替える（☞2-63ページ）。
行数切替		リストを1行表示または3行表示に切り替える（☞2-63ページ）。
削除	**1件削除**	選択しているライトメールを削除する（☞2-73ページ）。
	選択削除	複数件のライトメールを選択して削除する（☞2-73ページ）。
移動		ライトメールを選択し、別のフォルダに移動する。 移動 にタップし、確認画面で ok にタップする。 次に、移動したいライトメールを選択して、画面左下の 実行 にタップする。表示された移動画面で移動先のフォルダにタップし、OK にタップすると、そのフォルダに移動する。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する（☞2-62ページ）。

送信トレイに入っているライトメールのリスト選択時

編集		選択しているライトメールを編集する。編集後、送信できる。
送信		選択しているライトメールを送信する。
並び替え		送信順、宛先順に並び替える（☞2-64ページ）。
行数切替		リストを1行表示または3行表示に切り替える（☞2-64ページ）。
削除	**1件削除**	選択しているライトメールを削除する（☞2-73ページ）。
	選択削除	複数件のライトメールを選択して削除する（☞2-73ページ）。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する（☞2-62ページ）。

送信メール本文選択時

メール作成		選択している宛先でライトメールを作成する(☞2-57ページ)。
通話	発信	表示されている電話番号に電話をかける。
	184発信	電話番号を通知せずに選択している番号に電話をかける。
	186発信	電話番号を通知して選択している番号に電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、2-114ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞2-114ページ）。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞2-114ページ）。
連絡先に登録		選択している電話番号を“連絡先”に登録する(☞2-71ページ)。
編集		選択しているライトメールを編集する。編集後、送信できる。
全文コピー		本文をコピーする。コピー後、ライトメール新規作成画面で貼り付けることができる。“連絡先”など他のプログラムでも貼り付けはできるが絵文字などは□などになり貼り付けられない。
削除		選択しているライトメールを削除する。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する(☞2-62ページ)。

受信メール本文選択時

メール作成		選択している宛先でライトメールを作成する(☞2-57ページ)。
通話	発信	選択している電話番号に電話をかける。
	184発信	電話番号を通知せずに選択している番号に電話をかける。
	186発信	電話番号を通知して選択している番号に電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、2-114ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞2-114ページ）。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞2-114ページ）。
連絡先に登録		選択している電話番号を“連絡先”に登録する(☞2-71ページ)。
転送		選択しているライトメールを転送します。
削除		選択しているライトメールを削除します。
移動		ライトメールを選択し、別のフォルダに移動する。移動にタップし、表示された移動画面で移動先のフォルダにタップし、OKにタップすると、そのフォルダに移動する。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する(☞2-62ページ)。
全文コピー		本文をコピーする。コピー後、ライトメール新規作成画面で貼り付けることができる。“連絡先”など他のプログラムでも貼り付けはできるが絵文字などは□などになり貼り付けられない。

メール作成／編集時

全文コピー		入力している本文すべてをコピーする。
貼り付け		コピーしている内容を貼り付ける。
カット		選択している内容をカットする。
特殊文字入力	記号	記号を入力する。
	顔文字	顔文字を入力する。
	絵文字	絵文字を入力する。
	コード入力	コードから文字を入力する（コード表☞8-12ページ）。
	定型文	定型文を入力する（定型文の編集はできません）。
引用※1	連絡先	“連絡先”に保存している電話番号を引用する。
	電話着信履歴	かかってきた電話番号（着信履歴）を引用する。
	電話発信履歴	かけた電話番号（発信履歴）を引用する。
	ライトメール受信履歴	受信したライトメールの履歴を引用する。
	ライトメール送信履歴	送信したライトメールの履歴を引用する。
引用※2	連絡先	連絡先に保存しているデータ（名前や電話番号など）を利用する。
	プロフィール	自局電話番号またはメールアドレス（☞2-19ページ）を利用する。
	ブックマーク	IE Mobileに保存しているブックマークを利用する。
編集中止		ライトメールの作成や編集を中止する。
184送信		電話番号を通知せずにライトメールを送信する。
186送信		電話番号を通知してライトメールを送信する。

※1　カーソルが宛先欄にあるときに表示されるメニューです。
※2　カーソルが本文にあるときに表示されるメニューです。

ホームページを見る（Internet Explorer Mobile）

Internet Explorer Mobileを使って、ホームページの閲覧ができます。
ホームページを見るためには、インターネット接続の設定が必要です。まだ、設定されていない場合は、設定してください。
ここでは、Internet Explorer Mobileの基本的な使いかたについて説明します。
あわせてヘルプもご覧ください。

接続の準備

ホームページを見る前、インターネットに接続する準備ができているか確認します。

- PHS電話機能を使ってインターネット接続する場合
  - ・オンラインサインアップ（☞2-26～27ページ）を行ったときは、「ホームページを見る」にお進みください（オンラインサインアップを行うことで、自動的に設定されています）。
  - ・ご自分で入会しているプロバイダーの情報を使うときは、接続するための設定が必要です。7-12ページをご覧になり設定を行ってください。設定後、次にお進みください。
- 内蔵ワイヤレスLANを使ってインターネット接続する場合
  接続するための設定が必要です。7-2ページをご覧になり設定を行ってください。設定後、次にお進みください。

ホームページを見る

1 **スタート メニューの“Internet Explorer”にタップします。**

Internet Explorer Mobileが起動します。

2 アドレスバーにURLを入力し、（移動ボタン）をタップします。

あらかじめ接続設定されている場合は、接続を開始し、入力したURLのホームページに移動します。
接続が完了すると、タイトルバーに が表示されます。

- Internet Explorer Mobileは、パソコンなどで広く使われているWebブラウザによる表示と比べて、一部異なる部分や制限があります。
- 「ネットワークへのログオン」画面が表示された場合は、「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、OKをタップしてください。

ご注意！

- 通話中は（Internet Explorer Mobileを起動して）ホームページを見ることはできません。電話を切った後、Internet Explorer Mobileを起動してください。

接続を終了する

タイトルバーの にタップし、切断をタップします。また、PWR ボタンを押すと、回線が切れToday画面（待ち受け画面）に戻ります。
タイトルバーの が になります。

- 接続途中で接続を切断するときは、画面左下の中止をタップしてから切断してください。

Internet Explorer Mobileの画面について

閲覧しているホームページのＵＲＬが表示されます。
また、閲覧したいホームページのURLを入力し、をタップすると、入力したURLのホームページが閲覧できます。

タップすると、アドレスバーで指定されたURLのホームページへ移動します。

リンク先にタップすると、そのホームページへ移動します。

戻るをタップすると直前に表示していたホームページに戻ります。
中止が表示されているときにタップすると接続を中止します。
お気に入りが表示されているときにタップするとお気に入りに登録したリンク先一覧が表示されます。

タップすると、メニューが表示されます（☞2-91ページ）。

お気に入りを使用する

何度も見たいホームページはお気に入りに登録しておくと、次からそのホームページを閲覧するとき便利です。

お気に入りに追加する

1 **お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面をタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **お気に入りに追加 にタップします。**

お気に入りの追加画面が表示されます。

MEMO

- お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面左下の お気に入り をタップ、または画面右下の メニュー － お気に入りに追加 をタップしてもお気に入りの追加画面が表示されます。

3 **名前を確認または変更し、追加 をタップします。**

2 電話／メール／インターネット

Internet Explorer Mobile

お気に入りのページを見る

1 **ホームページが表示されている画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから お気に入り をタップします。**

お気に入り画面が表示されます。

MEMO

- ホームページを表示しているときに、画面左下の お気に入り または画面右下の メニュー ― お気に入り をタップしてもお気に入り画面が表示されます。

2 **お気に入り画面の 開く タブをタップし、目的のページをタップします。**

お気に入りにフォルダを追加する

1 **お気に入り画面の 追加／削除 タブをタップし、新しいフォルダ にタップします。**

2 **名前を確認または変更し、追加 にタップします。**

お気に入りから削除する

1 **お気に入り画面の［追加／削除］タブをタップし、削除したいお気に入りのページを選択します。**

2 **［削除］をタップします。**

削除の確認画面が表示されます。

3 **［はい］にタップします。**

MEMO

- フォルダを削除するときは、削除したいフォルダを選択して、［削除］をタップします。

ホームページの画像を保存する

1 **保存したいホームページの画像をタップしたままにし、ポップアップメニューから［イメージの保存］をタップします。**

ダウンロード画面が表示されます。

2 **［はい］にタップします。**

「My Pictures」フォルダに保存されます。

MEMO

- **「My Pictures」フォルダ以外に画像を保存したいときは**

  1 **ダウンロード画面で［名前を付けて保存］にタップします。**

  ダウンロード先画面が表示されます。

  2 **名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。**

画像の名前を入力します。

画像を保存するフォルダをタップします。

画像を格納する場所として「メインメモリ」、または「miniSDカード」を選択します。

  3 **［保存］にタップします。**

ホームページのテキストをコピーする

1 **コピーしたいテキストが表示されているホームページの画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから［すべてのテキストを選択］をタップします。**

2 **もう一度ホームページの画面をタップしたままにし、［コピー］をタップします。**

MEMO

- 画面右下の［メニュー］－［編集］－［すべてのテキストを選択］をタップしても選択できます。
- 画面右下の［メニュー］－［編集］－［コピー］をタップしてもコピーできます。

ファイルをダウンロードして保存する

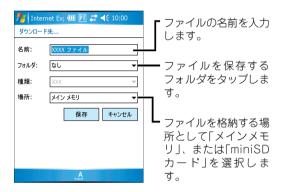
1 **保存するファイルが組み込まれているホームページから ダウンロード などをタップして、ファイルをダウンロードします。**

2 **名前を付けて保存 をタップします。**

ダウンロード先画面が表示されます。

MEMO

- はい をタップすると「My Documents」フォルダに保存されます。

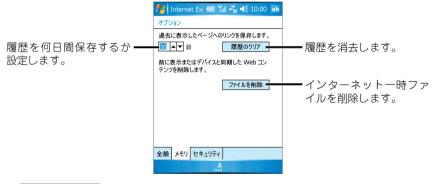
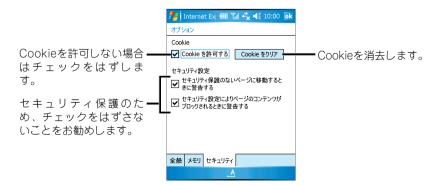
3 **名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。**

4 **保存 にタップします。**

- Javaアプリケーション（ゲームなど）をダウンロードして楽しむこともできます。

オプション設定について

画面右下の メニュー ─ ツール ─ オプション で以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

◇ 全般 タブ ◇

◇ メモリ タブ ◇

◇ セキュリティ タブ ◇

Internet Explorer Mobileのメニュー

ホーム		「ホームページ」として設定されているページに戻る。
お気に入り		お気に入りに登録したリンク先一覧（お気に入り画面）を表示する。 移動したいリンク先をタップすると、そのホームページへ移動する（☞2-86ページ）。
お気に入りに追加		表示中のホームページをお気に入りに追加する（☞2-85ページ）。
次へ		「戻る」でページを戻したとき、戻す直前に表示していたホームページに進む。
最新の情報に更新		再読み込みを行う。
履歴		過去に表示したリンク先の一覧を表示する。
表示	一列に表示する	画面の幅と同じ幅に合わせて、コンテンツを表示する。
	画面に合わせる	各コンテンツを小さくして、できるだけ画面の横幅におさまるように表示する。
	表示調整しない	パソコンと同じようなレイアウトになる。縦方向と横方向へスクロールして、見えていない部分を表示する。
	全画面表示	表示範囲を全画面にする。元の画面に戻すには、画面をタップしたままにし、「全画面表示」のチェックを外す。
	画像を表示する	画像を表示する。チェックを外すと画像は表示しない。
ズーム		文字サイズを設定する。
ツール	電子メールからリンクを送る	タップすると表示しているホームページのURLを載せた新規メールを作成する。
	プロパティ	表示しているホームページの情報を表示する。
	オプション	オプション設定画面を表示する（☞前ページ）。
編集	切り取り	文字を切り取る。
	コピー	文字をコピーする。
	貼り付け	コピーおよび切り取った文字を貼り付ける。
	すべてのテキストを選択	すべての文字を選択する。

電話／メールの着信音やマナーモードなどの設定をする

着信音の音量を調節する

電話／ライトメール／メールの着信音の音量を変えるには、以下のような方法があります。

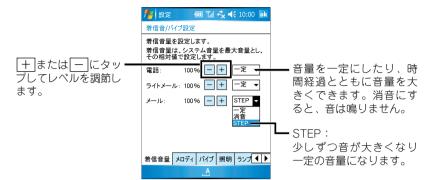
●通話中以外、この製品の右側にある音量調節ボタンを押す。

MEMO ●通話中にこのボタンを押すと、相手の声の大きさが変わります。

●タイトルバーの 🔇 にタップし、ボリュームを調節する。

「オフ」または「バイブレート」を選択すると消音になります。
「バイブレート」を選択しても、着信時のバイブレータは設定されません。バイブレータの設定は、「バイブレータの設定をする」(☞2-96ページ)をご覧ください。

●着信音／バイブ設定画面(着信音量 タブ)で変える。

着信音／バイブ設定画面の表示方法は、下記のメモをご覧ください。

● 着信音／バイブ設定画面の表示方法について

1 スタート メニューの“設定”にタップし、設定画面で 個人用 タブにタップします。

2 “着信音／バイブ”にタップします。

着信音／バイブ設定画面が表示されます。

3 各タブにタップします。

4 設定が終われば、ok にタップします。

設定が保存されます。

着信音のメロディを変える

着信音のメロディを変更できます。また、この製品に保存している音楽ファイルを着信音にできます(☞次ページ)。

メロディを変える

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“着信音／バイブ”にタップします。**

着信音／バイブ設定画面が表示されます。

2 **メロディ タブにタップします。**

電話、ライトメール、メールそれぞれに着信音のメロディを設定します。

① 着信音のメロディを選択します。
「黒電話」、「着信音1」などは、この製品に入っているメロディです。♪にタップするとメロディを再生します。途中で止めるには■にタップします。
「《ファイル参照》」を選択すると音楽ファイル選択画面が表示されますので、この製品に保存している音楽ファイルを選択できます(☞次ページ)。

② メロディを再生します。再生中は■になりますので、■にタップすると停止します。

3 **設定が終われば、ok にタップします。**

設定が保存されます。

音楽ファイルを選択する

前ページで、「《ファイル参照》」を選択すると、この製品に保存している音楽ファイルを着信音として選択できます。

① フォルダを指定します。

② ファイルの種類を指定します。通常は、変更する必要はありません。

③ ①と②の設定にしたがった音楽ファイルがリスト表示されます。
このリストから、着信音にしたいファイルにタップします。
タップすると自動的に前ページの画面に戻ります。再生するときは、♪にタップし、停止するときは■にタップします。

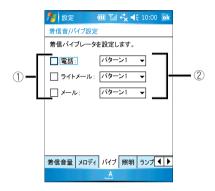
④ キャンセルにタップすると、音楽ファイルを選択せずに前ページの画面に戻ります。

バイブレータの設定をする

バイブレータの設定ができます。

1 スタートメニューの“設定”にタップし、“着信音／バイブ”にタップします。

着信音／バイブ設定画面が表示されます。

2 バイブタブにタップします。

① 電話着信時、ライトメール受信時、メール受信時それぞれに、バイブレータのオン／オフを設定します。
チェックをつけるとバイブレータはオンになり、チェックを外すとオフになります。

② バイブレータのパターンを設定します。

3 設定が終われば、okにタップします。

設定が保存されます。

着信時、照明(バックライト、キーボード)を点灯する

電話着信時やメール／ライトメール受信時、画面のバックライトを点灯したりキーボードのバックライトを点灯するようにします。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“着信音／バイブ”にタップします。**

着信音／バイブ設定画面が表示されます。

2 **照明 タブにタップします。**

① 電話着信時、バックライトを点灯する／しないを設定します。バックライトが点灯したとき、キーボードのバックライトも点灯します。

② メール／ライトメール受信時、バックライトを点灯する／しないを設定します。バックライトが点灯したとき、キーボードのバックライトも点灯します。

3 **設定が終われば、ok にタップします。**

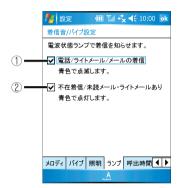
設定が保存されます。

電話着信、メール受信時、ランプを点灯する

電話着信時やメール／ライトメール受信時や不在着信／未読メールがあったときに電波状態ランプ（☞1-2ページ）を青色に点滅または点灯します。
この設定をすると、電波強度の状態を示しているランプが一時的に電話着信／メール受信や不在着信／未読メールありを示すランプになります。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“着信音／バイブ”にタップします。**

着信音／バイブ設定画面が表示されます。

2 **ランプ タブにタップします。**

① 電話着信時やメール／ライトメール受信時、（電波状態）ランプを点滅する／しないを設定します（青色に点滅）。

② 不在着信があったときやメール／ライトメールを受信し未読のメールがあるときに点灯します（青色に点灯）。

3 **設定が終われば、ok にタップします。**

設定が保存されます。

メール受信時、着信音などによる呼び出し時間を設定する

メールやライトメール受信時に、受信したことを知らせる着信音やバイブレータなどの時間を設定します。
設定した時間を越えると、着信音やバイブレータなどは停止します。

1 **スタートメニューの“設定”にタップし、“着信音／バイブ”にタップします。**

着信音／バイブ設定画面が表示されます。

2 **呼出時間タブにタップします。**

① ライトメール受信時、呼び出し時間を設定するのか、メロディタブ（☞2-94ページ）で設定した音を何回再生するのかを設定します。
設定した時間または回数だけ呼び出しを行います。

② ①と同様にメール受信時の呼び出し時間または再生回数を設定します。

3 **設定が終われば、okにタップします。**

設定が保存されます。

マナーモードを設定する

マナーモードの設定を行います。

1 **スタートメニューの“設定”にタップし、“待ち受けモード”にタップします。**

待ち受けモード設定画面（マナータブ）が表示されます。

① マナーモードにする／しないを設定します。

② マナーモードにしたときのモードの種類を選択します。
- ・標準
  システム音※：OFF、着信音：OFF、バイブレータ：ON
- ・サイレント
  システム音※：OFF、着信音：OFF、バイブレータ：OFF
- ・おやすみ
  システム音※：ON、着信音：OFF、バイブレータ：OFF

※システム音とは、画面タップやアラーム、音楽などの再生音です。

2 **設定が終われば、okにタップします。**

設定が保存されます。

安全運転モードの設定をする

車を運転中などで電話にでることができない場合、安全運転モードにできます。

スタート メニューの“設定”にタップし、“待ち受けモード”にタップします。

待ち受けモード設定画面が表示されます。

2 安全運転 タブにタップします。

待ち受けモード設定画面（安全運転 タブ）が表示されます。

① 安全運転モードにする／しないを設定します。

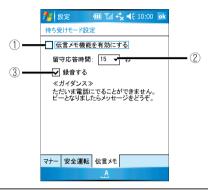
② 電話機応答、ネットワーク応答のどちらかを選択します（安全運転モードにしたとき（①にチェックを付けたとき）に設定できます）。

- ・電話機応答：この製品が応答します。
  - ・「伝言メモに録音する」にチェックを付けると
    この製品の伝言メモが応答し、「ただいま運転中のため、電話にでることができません。ピーと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」のアナウンスが流れ、メッセージを録音できます。
  - ・チェックを付けないと
    「ただいま運転中のため、電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください。」のアナウンスが流れます（メッセージの録音はありません。）
- ・ネットワーク応答：ウィルコムのネットワークが応答します。
  - ・「留守番電話サービスを利用する」にチェックを付けていた場合
    ウィルコムのネットワーク応答留守番電話サービスが応答し、相手のメッセージを録音します。
  - ・チェックを付けないと
    ネットワークが応答しアナウンスが流れます。
    メッセージの録音はありません。

3 設定が終われば、ok にタップします。

設定が保存されます。

伝言メモの設定をする

この製品が持つ留守番電話である伝言メモの設定をします。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“待ち受けモード”にタップします。**

待ち受けモード設定画面が表示されます。

2 **伝言メモ タブにタップします。**

① チェックを付けると、伝言メモ機能が有効になります。

② 電話がかかってきて呼び出しが始まり伝言メモ機能に切り替わるまでの時間を設定します。

③ チェックを付けると「ただいま電話にでることができません。ピーと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」のアナウンスが流れ、メッセージを録音できます。
チェックを外すと、「ただいま電話にでることができません。しばらくたってからおかけなおしください。」のアナウンスが流れます（メッセージの録音はありません）。
※伝言メモを録音できる件数や録音時間は2-15ページの「MEMO」をご覧ください。

3 **設定が終われば、ok にタップします。**

設定が保存されます。

発信者番号通知などを設定する

発信者番号の通知、圏外警告音、エニーキーアンサー、着信拒否などの設定をします。

発信者番号通知を設定する

電話をかけたとき発信者番号（自分の電話番号）を通知する／通知しないを設定します。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話（一般）”にタップします。**

電話（一般）設定画面が表示されます。

2 **基本 タブにタップします。**

① 発信者番号（自分の電話番号）を通知する／通知しない（非通知）の設定をします。
「ON」 ：発信者番号を通知します。
「OFF」 ：発信者番号を通知しません（非通知）。

※圏外警告音、エニーキーアンサーなどについては次ページをご覧ください。

3 **設定が終われば、ok にタップします。**

設定が保存されます。

2 電話／メール／インターネット

着信音などの設定

圏外警告音、エニーキーアンサー、着信拒否を設定する

圏外警告音、エニーキーアンサー、着信拒否の設定をします。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話(一般)”にタップします。**

電話(一般)設定画面が表示されます。

2 **基本 タブにタップします。**

① 圏外警告音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

② エニーキーアンサーの設定をします。
エニーキーアンサーを「ON」にすると、着信時、PWRボタン以外のボタンやキーボードのキーを押しても電話が取れます。
たとえば、着信時、OKボタンを押したりキーボードのAキーを押すと、電話が取れます(相手と話しができます)。

③ 着信拒否を設定します。それぞれの項目を「ON」にすると着信拒否します。
・ユーザー非通知拒否(電話番号を非通知にしている電話)
・通知不可能拒否(相手が通知できないエリアや電話機)
・公衆電話発信拒否(公衆電話からの電話)

3 **設定が終われば、ok にタップします。**

設定が保存されます。

通話／通信機能を制限する

通話や通信機能を制限します。この機能を設定すると、以下のことができなくなります。

- ・電話をかける
- ・ライトメールの送信
- ・メールの送受信
- ・インターネット接続
- ・USB接続(ActiveSyncを使った同期、この製品をモデムとして使用)
- ・内蔵ワイヤレスLANを使った通信

■通話／通信機能を制限(ロック)する

1 この機能を使うためには、パスワードを設定する必要があります。

最初に7-27ページをご覧になり、パスワードを設定してください。パスワードを忘れると、この製品が使えなくなりますので、ご注意ください。
パスワードを設定後、次の手順に進んでください。

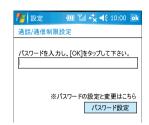
2 [スタート]メニューの“設定”にタップし、“電話(一般)”にタップし、[セキュリティ]タブにタップします。

電話(一般)設定画面([セキュリティ]タブ)が表示されます。

3 「通話／通信機能を制限します」の[設定]にタップします。

4 表示された画面で、［ロックする］にタップします。

5 表示された画面で、手順1で設定したパスワードを入力し ok にタップします。

これで、ロックがかかります。
また、Today画面（待ち受け画面）に🔑が表示されます（☞1-19ページ）。

- パスワードを設定せずに（手順**1**を行わずに）手順**2**以降を行うと、手順**4**の次に表示される画面でパスワードが設定されていない旨のメッセージが表示されますので、パスワード設定画面（☞7-27ページ）をご覧になりパスワードを設定してください。

■制限（ロック）を解除する

1 前ページの手順2〜3を行い表示された画面で［ロック解除］にタップします。

2 表示された画面で、パスワードを入力し ok にタップします。

ロックが解除されます。

■パスワードを変更する

1 パスワード画面（☞7-27ページ）を表示します。

パスワード画面を表示するときに、現在設定しているパスワードを入力する必要があります。

2 新しいパスワードを入力し、ok にタップします。

W-SIMをロックする

■W-SIMをロックする

PINコードを設定するとW-SIMをロックして、PINコードを入力しないと通話、ライトメールの送信/受信、インターネット接続ができなくなります(PHS電話機能が使えなくなります)。※PINコードは、ご自分で設定できます。
通話/通信機能の制限では電話着信やライトメールの受信はできますが、W-SIMをロックすると電話を受けたりライトメールの受信もできなくなります。
PINコードやPUKコードについては、次ページのメモをご覧ください。

1 2-105ページと同様にして、電話(一般)設定画面(セキュリティタブ)を表示します。

2 「W-SIMをロックします」のPINコード入力ボタンにタップします。

3 W-SIMロック設定画面が表示されますので、PINコードを入力します。入力できるPINコードは4桁〜16桁の数字です。確認のために、「確認」欄に同じPINコードを入力します。

4 設定にタップし、表示された画面でOKにタップします。

5 表示されたW-SIMロック設定画面で、OKにタップします。さらに、電話(一般)設定画面でOKにタップします。

6 PWRボタンを長く押し電源を切ります。

W-SIMがロックされ、次回、電源を入れたときからPHS電話機能が使えなくなります。次からPWRボタンを長く押し電源を入れると、PINコード入力画面が表示されるようになります。

7 電源を入れるとPINコード入力画面が表示され、(手順3で入力した)PINコードを入力し、画面右下の入力完了にタップします。

W-SIMが一時的に解除され(一時解除)、PHS電話機能を使えるようになります。PWRボタンを長く押し電源を切ると、再度、W-SIMがロックされます。
PINコードを入力せずに、画面左下のキャンセルにタップするとこの製品の“予定表”などのPIM機能のみ使うことができます。このようなときに電話やライトメールなどを行うには、ボタンを押して表示されたPINコード入力画面で、PINコードを入力してW-SIMを一時解除してください。PINコードの入力を間違ったときについては、次ページのご注意をご覧ください。

- **PINコード／PUKコードとは**
  PINコードは、盗難などによって他人にこの製品を電話／ライトメールなどで使われないようにするために、W-SIMをロックする暗証番号です。
  PINコードを忘れるとPHS電話機能が使えなくなりますので、絶対に忘れないようにしてください。
  PINコードを忘れたときは、下記のご注意に記載しているようにPUKコードを入力します。このPUKコードはロックしたW-SIMを解除するためのコードです。PUKコードの入手方法は、W-SIMの箱に付属の取扱説明書をご覧ください。

■ロックを解除する（完全解除）

電源を切っても、W-SIMがロックされないようにします。

1 **電話（一般）設定画面（セキュリティタブ）でPINコード入力ボタンにタップします。**

2 **表示された画面で、PINコードを入力し解除にタップします。**
ロックが解除され、PHS電話機能を使えます。

■PINコードを変更する

W-SIM一時解除中（☞前ページ）などPINコードが設定されているときに、PINコードを変更できます。

1 **電話（一般）設定画面（セキュリティタブ）でPINコード入力ボタンにタップします。**

2 **PINコード変更にタップします。**

3 **「現在のPINコード」欄に現在のPINコードを入力します。そして、「新しいPINコード」欄に新しいPINコードを入力し、さらに「確認」欄に新しいPINコードを再度入力します。**

4 **変更ボタンにタップします。**

ご注意！

- ロックを解除するときなど、間違ったPINコードを10回入力するとPUKコードの入力が必要となりますので、PINコードを忘れないようにしてください。このPUKコードの入手方法は、W-SIMの箱に付属の取扱説明書に記載していますので、そちらをご覧になりPUKコードを入手し入力してください。

位置情報を通知する

位置情報通知機能とは、この製品が受信している複数の基地局の基地局情報をセンターに通知する機能です。
位置情報通知サービス会社などへ申し込む（有料）と、この機能を利用して位置情報サービスなどを受けることができます。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話（一般）”にタップします。**

電話（一般）設定画面が表示されます。

2 **位置情報 タブにタップし、設定 にタップします。**

3 **表示された画面で暗証番号を入力し、ok にタップします。**

MEMO

- ご購入時、暗証番号は「0000」（半角のゼロが4つ）になっています。
  変更するときは、手順**2**の画面で 暗証番号設定 ボタンにタップし、暗証番号設定画面で「現在の暗証番号」と「新しい暗証番号」を入力して 設定 にタップします（新しい暗証番号は、確認のために2回入力します）。

ご注意！

- 暗証番号を忘れるとこの機能は使えなくなります（完全消去してもご購入時の状態には戻りません）。紙にメモするなどして忘れないようにしてください。
- W-SIMを他の商品で使用し位置情報通知機能の暗証番号を設定している場合、そのW-SIMをこの製品に装着しても他の商品で設定した暗証番号が残っています。入力する暗証番号は、他の商品で設定したものを入力してください。

4 位置情報設定画面（設定タブ）で、位置情報の通知などを設定します。

① LI（位置情報通知）機能のオン／オフを設定します。
チェックを付けると、LI機能がオンになります。

② 登録した通知許可番号（☞下記）から位置情報送出の要求があったときに、位置情報を通知する／しないを設定します。
チェックを付けると位置情報を通知します。

③ 位置情報を通知したときに、確認音を鳴らす／鳴らさないを設定します。
チェックを付けると確認音が鳴ります。

通知許可番号とパスワードを登録する

上記手順**4**の画面で通話許可番号タブにタップし、この製品から送出した位置情報を受け取る番号（通知許可番号）を設定します（5つまで設定できます）。

それぞれの入力欄に通知許可番号と通知許可パスワードを入力します。
※通知許可パスワードは8桁までです。

ウィルコムのサービスを利用する

次のウィルコムのサービスを利用できます。

留守番電話サービス
- ・メッセージを確認する
- ・メッセージを聞く
- ・留守番電話サービスの設定を変更する

着信転送サービス

料金分計サービス
- ・料金分計で電話をかける

留守番電話サービスを使う

この製品の電源をオフにしているとき、すぐに電話に出られないとき、エリア外にいるときなどにウィルコムの「留守番電話センター」がメッセージを預かります。
このサービスをご利用いただくには、あらかじめお申し込みが必要です。

留守番電話サービスについて
- ・メッセージの最大録音時間　：1件につき約60秒
- ・メッセージの最大保存件数　：20件
- ・メッセージの保存期間　：約73時間

このサービスについてくわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

- ・登録手数料 ：無料
- ・月額料　：有料

メッセージを確認する

留守番電話サービスにメッセージがあるか確認します。

1 “電話”を起動します。

2 [1] [4] [1] [通話]にタップします。

3 数秒後、「ツー」という音を確認し、[PWR]を押します。

メッセージがあるときは、画面に「センター留守電あり」と表示されます。

MEMO

- この製品では、上記以外の方法として電話を切ったときに自動的に留守番電話サービスにメッセージがあるか自動的に確認をします。メッセージがあるときは、「センター留守電あり」と表示されます。

メッセージを聞く

メッセージを聞きます。

1 [*] [9] [3] [1] [通話]にタップします。

留守番電話サービスにつながります。ガイダンスにしたがって操作します。

- **プッシュ信号が出せる一般電話や公衆電話からメッセージを聞くとき**
  0077-780-931に電話をかけ、ガイダンスにしたがって操作します。このときお使いのこの製品の電話番号と留守番電話サービスの暗証番号が必要です。
- 手順**1**で[*][9][3][1] の代わりに[*][9][3][1][1] にタップしてもメッセージを聞くことができます。このときは、録音されたメッセージを聞く前に、発信者の電話番号をガイダンスで聞くことができます。ただし、発信者の電話機によっては電話番号を聞くことができない場合もあります。

ご注意！

- 留守番電話サービスでは、ライトメールを受け取ることはできません。

留守番電話サービスの設定を変更する

留守番電話サービスの設定を変更できます。

・受付時間 ： 5:00〜24:00（年中無休）

1 [1] [4] [3] [通話]にタップします。

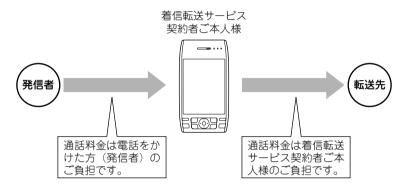
留守番電話サービスにつながります。ガイダンスにしたがって操作します。

MEMO

- 一般電話や公衆電話からも「0077-776」に電話をかけ、設定の変更ができます。

着信転送サービスを使う

着信転送サービスは、この製品の電源をオフにしているときやエリア外にいるときなどに、かかってきた電話を指定した他の電話に転送するサービスです。
転送先は他のウィルコムの電話や一般電話、携帯電話などから選択できます。
このサービスについてくわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・申込手数料　：不要
・月額料　　　：無料

MEMO

- このサービスは、留守番電話サービスと同時に利用できません。
- 海外への転送は対応していません。
- 一部、転送先に指定できない電話機があります。
- 「留守番電話サービスの設定を変更する」(☞ 前ページ)と同じ番号に電話をかけ、設定を変更できます。

料金分計サービスを使う

料金分計サービスは、通話料金の請求先を2箇所に分けるサービスです。ビジネス関係とプライベート関係などの使い分けができます。
料金分計サービスを使わないときはご契約者(主計先)へ通話料金の請求、料金分計サービスを使うときはあらかじめ登録した分計先へ通話料金の請求となります。
このサービスは有料です。また、このサービスを使うにはあらかじめ契約が必要です。くわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・月額手数料　：有料

料金分計で電話をかける

1 **“電話”を起動します。**

2 **電話番号を入力します。**

3 **画面右下の[メニュー]－[通話]－[分計発信]にタップします。**
電話がかかります。

4 **通話を終えるときは、[PWR]ボタンを押します。**
電話が切れます。
この通話にかかった料金は登録した分計先へ請求されます。

MEMO

- 料金分計は、上記の手順を毎回行います。
- 手順**3**で、電話番号の通知／非通知の設定によって、184分計発信または186分計発信を選択できます。
  たとえば、自分の電話番号を通知する設定にしている場合、手順**3**での[メニュー]－[通話]－[184分計発信]にタップすると、自分の電話番号を通知せず、さらに料金分計されます。
- ライトメールの分計料金サービスはご利用になれません。

3 PIM機能

予定表 3-2

連絡先 3-18

仕事 3-28

メモ 3-39

予定表

スケジュールを管理します。
・月間表示や週間表示、1日表示、詳細画面などから、スケジュールを多角的に確認できます。
・大切な予定を忘れないようにアラームを通知できます。
・その日の予定はToday画面で確認できます。
・毎週や毎月など決まった間隔で入る予定は、定期的な予定として簡単に入力できます。
予定表の使いかたについて、この製品のヘルプもあわせてご覧ください。

● パソコンでMicrosoft Outlookをご使用の場合、ActiveSyncを使って予定表のデータと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは5-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。

予定を入れる（新規作成）

1 **Today画面左下の 予定表 、または スタート メニューの “予定表”にタップします。**

予定一覧画面が表示されます。

2 画面右下の メニュー － 新しい予定 にタップします。

予定の新規入力画面が表示されます。

3 各項目にタップして、件名、場所、開始／終了時刻などを入力／選択します。

MEMO

- 文字を入力するときは、キーボードを使って入力すると便利です(☞1-37ページ)。

① 件名

直接入力するか、▼にタップして一覧から選びます。

② 場所

タップして直接入力します。または▼にタップすると、過去に入力した場所が一覧で表示されるので、その中から選びます。

③ 開始／終了

「開始」と「終了」の日付と時刻を設定します。

・日付：日付にタップして表示されるカレンダーから日を選びます。

・時刻：時刻にタップして直接編集するか、▼にタップして選びます。

④ 終日

終日の予定(開始時刻や終了時刻を設定しない予定)か、開始／終了時刻がある予定かを設定します。

・「はい」　：その予定は終日になり、開始と終了の時刻が非表示になります。

・「いいえ」：開始／終了時刻を設定できます。

⑤ パターン

入力中の予定を1回だけとするのか、または毎週や毎月など定期的な予定にするのかを設定します。

「1回」にすると、設定日だけの予定となります。

予定の間隔(パターン)を編集するときは、「<パターンの編集>」にタップします(☞3-10ページ)。

⑥ **アラーム**

アラームの設定をします。

・「通知」　：アラームが通知されます。

・「なし」　：アラームは通知されません。

「通知」にしたときは、「15」と「分」にタップし予定の何分／何時間前などにアラームを通知するかを設定します。

アラーム音を鳴らないようにするには：

1 **スタート メニューの“設定”－“音と通知”－ 通知 タブにタップします。**

2「イベント」欄で「アラーム」を選択します。

3「音を鳴らす」のチェックを外し、okにタップします。

⑦ **分類項目**

入力中の予定に「会社関係（取引先）」などの分類項目を設定して、グループ化します。分類項目を設定しておくと、必要な予定をすばやく検索（フィルタ）できます（☞1-33ページ）。

⑧ **出席者**

メールアドレスが登録されている連絡先のリストが表示されます。

入力した予定を選択した連絡先へ送信できます。

⑨ **公開方法**

予定を公開するときの表示を選びます。

ActiveSyncを使ってパソコンと同期し、パソコン上でワークグループ内の予定を共有するときに利用します。

⑩ **秘密度**

「標準」、「個人」、「プライベート」、「社外秘」から選びます。

- 予定にメモを追加したいときは、 メモ タブにタップして入力します。

入力が終わったら、okにタップします。

予定を確認する

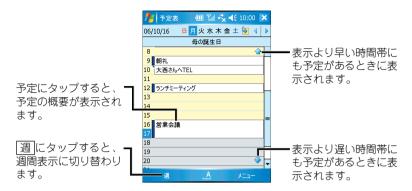
入力した予定は、月間表示、週間表示、1日表示などから多角的に確認できます。
予定表には、次の表示画面があります。

・予定一覧表示 ：1日の予定を一覧で表示します（☞下記）。
・１日（日）表示：1日の予定をタイムテーブルで表示します（☞3-6ページ）。
・週間（週）表示 ：1週間分の予定をグラフで表示します（☞3-7ページ）。
・月間（月）表示 ：1ヶ月分の予定をカレンダー上にマークで表示します（☞3-8ページ）。
・年間（年）表示 ：1年分のカレンダーを表示します（☞3-8ページ）。

1 **Today画面左下の［予定表］にタップします。**

2 **画面右下の［メニュー］—［表示］—［予定一覧］／［日］／［週］／［月］／［年］にタップして、表示を切り替えます。**

◇ 予定一覧表示 ◇

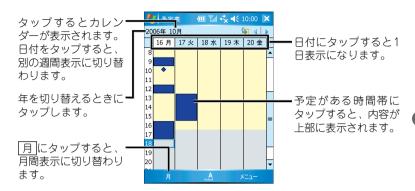
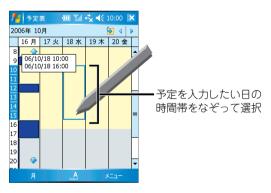
◇ 1日（日）表示 ◇

- 1日表示では、スタイラスペンを使って予定を異なる時間帯へ移動できます。

  1 予定の前にある青いバーをタップして、予定を選択します。

  2 予定の前にある青いバーをタップしたままにして、ポップアップメニューが表示される前に変更したい時間帯へ移動します。

- 時間帯をなぞってから、タップしたままにして、ポップアップメニューから 新しい予定 にタップすると、開始／終了時刻が自動的に入った新規入力画面が表示されます。

◇ 週間(週)表示 ◇

週間予定がグラフで表示されます。

- 週間予定の表示形式は、画面右下の メニュー － オプション から変更できます(☞3-13ページ)。
- 予定を入力したい日の時間帯をなぞってから、タップしたままにして、ポップアップメニューから 新しい予定 にタップすると、開始／終了時刻が自動的に入った新規入力画面が表示されます。

◇ 月間（月）表示 ◇

日付にタップすると、当日の1日表示画面になります。

：午前に予定が入っていることを示します。
：午後に予定が入っていることを示します。
：午前／午後の両方に予定が入っていることを示します。
：終日の予定が入っていることを示します。

◇ 年間（年）表示 ◇

日付にタップすると1日表示、月にタップすると月間表示になります。

3 1件ごとの予定を確認したいときは、予定一覧表示や1日表示などで予定にタップします。

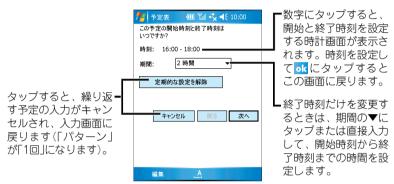
予定の詳細が表示されます。

定期的な予定を入れる(パターンの編集)

予定の間隔(パターン)を編集して、定期的な予定を簡単に入れられます。
予定の入力については、3-2ページをご覧ください。

1 **予定の入力画面で「パターン」欄にタップし、表示されたメニューから ＜パターンの編集＞ にタップします。**

パターンの編集画面が表示されます。

2 **開始／終了時刻を設定し、 次へ にタップします。**

3 **画面上部にある 毎日 や 毎週 などにタップして、表示された画面で予定の間隔を設定します。**

◇ 毎 日 ◇

◇毎週◇

予定をいれる曜日にタップして選択します(複数選択できます)。

何週ごとにするのか、▼にタップして選択、または枠内に直接入力します。
「1週ごと」にすると、毎週の予定になります。

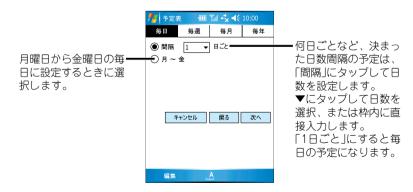
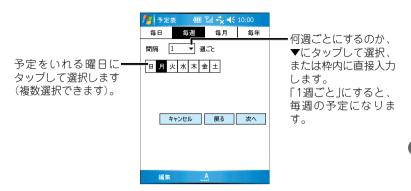
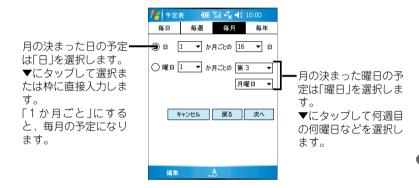
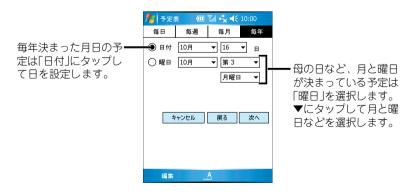
◇毎月◇

月の決まった日の予定は「日」を選択します。▼にタップして選択または枠に直接入力します。
「1か月ごと」にすると、毎月の予定になります。

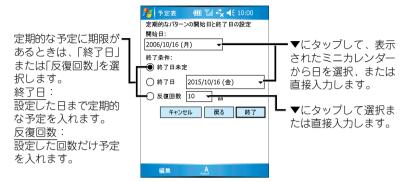
月の決まった曜日の予定は「曜日」を選択します。
▼にタップして何週目の何曜日などを選択します。

◇毎年◇

毎年決まった月日の予定は「日付」にタップして日を設定します。

母の日など、月と曜日が決まっている予定は「曜日」を選択します。
▼にタップして月と曜日などを選択します。

4 次へ にタップします。

「定期的なパターンの開始日と終了日の設定」画面が表示されます。

5 開始日と終了条件を設定します。

6 終了 にタップします。

予定の入力画面に戻ります。

件名など、その他の必要な項目を入力して ok にタップすると、設定した定期的な予定が入力されます。

● **定期的な予定をすべて修正するとき**

1 予定一覧画面などで、定期的な予定をタップして詳細画面を表示します。

2 画面左下の 編集 にタップし、確認画面で いいえ にタップします。

3 予定の編集をし、ok にタップします。

● **定期的な予定をすべて削除するとき**

1 予定一覧画面などで、定期的な予定のひとつをタップしたままにして、ポップアップメニューから 予定の削除 を選択します。

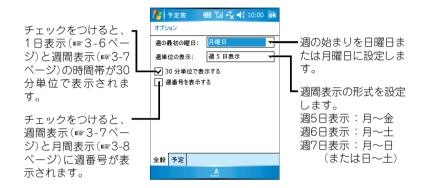
2 確認画面で はい にタップします。

表示形式を設定する

週の始まりを月曜日にしたり、時間帯の表示を30分単位にするなど、画面の表示形式を変更できます。

予定の各表示画面で、画面右下の メニュー ー オプション にタップします。

オプション画面が表示されます。

◇ 全般 タブ ◇

◇ 予定 タブ ◇

入力した予定を変更する／削除する

予定を変更する

1 予定一覧画面で、変更したい予定にタップします。

予定の詳細が表示されます。

2 画面左下の［編集］にタップします。

MEMO

- 予定のメモを変更したいときは、［メモ］タブにタップして変更します。
- 定期的な(パターンを設定した)予定のときは、確認画面が表示されます。選択した予定だけを変更するときは［はい］、定期的な予定をすべて変更するときは［いいえ］にタップしてください。

3 変更が終わったら、ok にタップします。

予定を削除する

1 予定一覧画面などで、削除する予定をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから［予定の削除］にタップします。

3 確認画面で［はい］にタップします。

MEMO

- 次の方法でも削除できます。
  - ・一覧画面で削除したい予定を選択し、画面右下の［メニュー］－［予定の削除］をタップします。
  - ・削除したい予定の詳細画面で、画面右下の［メニュー］－［削除］をタップします。
- 定期的な(パターンを設定した)予定のときは、確認画面が表示されます。定期的な予定をすべて削除するときは［はい］、選択した予定だけを削除するときは［いいえ］にタップします。

会議出席依頼をメールで送信する

Microsoft OutlookやMicrosoft Office Outlook Mobileのユーザーへ会議出席依頼を送信する設定ができます。
会議出席依頼を送信するためには、出席者のメールアドレスをプログラムの「連絡先」へ登録しておく必要があります。まだの方は登録しておいてください。

1 予定一覧画面などから会議出席依頼を送信する予定をタップし、画面左下の 編集 にタップします。

2 「出席者」にタップします。
メールアドレスが登録されている連絡先のリストが表示されます。

3 リストから会議の出席依頼を送信する相手にタップします。

MEMO
- 出席者を追加するときは、画面左下の 追加 をタップします。
- 追加した送信先を削除するときは、削除する送信先にタップしてから画面右下の 削除 をタップします。
- 新しい（連絡先に登録していない）出席者を追加するときは、画面左下の 追加 にタップしてから、画面右下の メニュー ー 新しい連絡先 にタップします。

4 ok にタップします。
予定の編集画面に、「出席者」欄に追加した送信先が表示されます。

5 ok にタップします。

6 確認画面で はい にタップします。
会議の出席依頼が自動的に作成され、メールの「送信トレイ」フォルダに保存されます。
パソコンと同期またはネットワークに接続したときに出席者へ送信されます。 メモ タブに入力したメモも一緒に送信されます。
パソコンとの同期およびネットワークに接続しての送信について、くわしくはヘルプもご覧ください。

祝日を設定する

ActiveSyncを使ってパソコン側のMicrosoft Outlookと同期することによって、予定表に祝日を設定できます。

1 パソコン側のMicrosoft Outlookに祝日を追加します。

祝日の追加については、パソコンのMicrosoft Outlookにあるヘルプをご覧ください。

2 ActiveSyncで予定表を同期します。

予定表に祝日が追加されます。

MEMO

- パソコンとの同期についてくわしくは5-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。
- ActiveSyncを使ってパソコンと同期するときは、あらかじめ同期する項目や期間の設定をご確認ください。

予定表のメニュー

一覧画面のメニュー

新しい予定		新規作成画面を開く。
予定の削除		選択している予定を完全に削除する。
表示	**予定一覧**	予定一覧画面を表示する。
	日	日単位で予定を表示する。
	週	週単位で予定を表示する。
	月	月単位で予定を表示する。
	年	年単位で予定を表示する。
編集	**切り取り**	選択した予定データを切り取る。
	コピー	選択した文字列をコピーする。
	貼り付け	クリップボードにあるデータを、予定表に貼り付ける。
オプション		全般タブ：カレンダーの書式を設定する。 予定タブ： ・「新しいアイテムにアラームを設定する」にチェックがあるときは、設定した時間のアラームが新規作成画面で自動的に入力される。 ・「アイコンの表示」でアイコンをタップして設定すると、予定に設定した内容に沿って、それぞれのアイコンが一覧画面などに表示される（アイコンをタップしたままにすると、その名前が表示される）。 ・「会議出席依頼の送信方法」は、会議出席依頼を送信する方法を選択する。
フィルタ※	**すべての予定**	すべての予定を予定一覧画面に表示する。
	分類項目なし	分類項目を「分類項目なし」で作成した予定を、予定一覧画面に表示する。

※フィルタのメニューには、予定で設定した分類項目が表示されます。

- 予定をタップしたままにすると、実行できる操作の一覧がポップアップメニューで表示されます。
- Today画面で予定を表示しているときは、その日の予定が表示されます。

連絡先

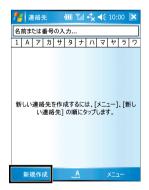
住所や電話番号、メールアドレスなどを管理します。電話をかけたり、メールを送るときに使うと便利です。
連絡先の使いかたについて、この製品のヘルプもあわせてご覧ください。

- パソコンでMicrosoft Outlookをご使用の場合、ActiveSyncを使って連絡先のデータと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは5-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。

連絡先を登録する（新規作成）

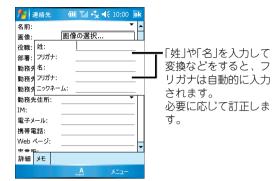
1 Today画面右下の 連絡先 、または スタート メニューの “連絡先”にタップします。

連絡先の一覧画面が表示されます。

2 画面左下の 新規作成 にタップします。

名前の入力画面が表示されます。

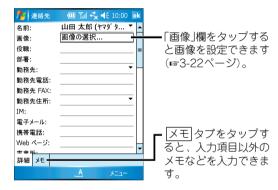
- 画面右下の メニュー − 新しい連絡先 をタップしても、新規入力画面が表示されます。

3 名前から入力します。

「姓」や「名」を入力して変換などをすると、フリガナは自動的に入力されます。
必要に応じて訂正します。

「部署」や「勤務先」など、他の項目にタップすると、タップした項目の入力に移ります。

4 入力したい項目にタップし、その他の情報を入力していきます。

「画像」欄をタップすると画像を設定できます(☞3-22ページ)。

メモ タブをタップすると、入力項目以外のメモなどを入力できます。

- 「名前」、「勤務先」、「勤務先住所」、「自宅住所」、「その他の住所」は、項目にタップすると入力画面がポップアップ表示されます。
- 設定した画像は、連絡先の概要で表示されます(☞次ページ)。
- 「分類項目」を設定しておくと、設定した分類項目を含む連絡先だけをフィルタ表示できます(☞1-33ページ)。

5 入力が終わったら、okにタップします。

入力した連絡先が追加されます。

連絡先を表示する

1 Today画面右下の 連絡先 にタップします。

連絡先の一覧画面が表示されます。
一覧画面には、名前のほかに、電話番号やメールアドレスがひとつ表示されます。

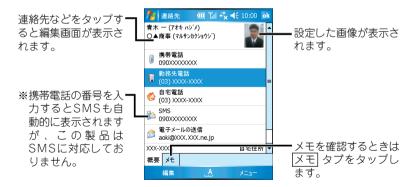
検索したい「姓」または「名」のふりがなや電話番号を入力すると、一覧画面に表示されている連絡先を検索して表示します。
検索結果の画面でにタップすると一覧画面に戻ります。
※ふりがなは、ひらがなでもカタカナでも検索できます。

一覧に表示されている連絡先の項目が1文字で表示されます。
「社」(勤務先電話)、「家」(自宅電話)、「携」(携帯電話)、「P」(PHS)、「F」(勤務先FAX)、「E」(電子メール)などです。

タップすると、連絡先の概要(詳細)が表示されます。

● ひとつの連絡先に、複数の電話番号やメールアドレスを設定しているときは、一覧に表示する内容を選べます(☞次ページ)。

2 詳細を表示したい連絡先にタップします。

タップした連絡先の概要が表示されます。

● メールアドレスが選択(反転)されているときは画面左下に 電子メール が表示されます。

3 確認が終わったら、ok にタップします。

一覧画面に戻ります。

一覧に表示する電話番号やメールアドレスを変更する

ひとつの連絡先に複数の電話番号やメールアドレスを入力しているときは、一覧画面に表示する項目を変更できます。

1 **一覧画面で(カーソル)ボタンの上や下を押して、表示項目を変更したい連絡先を反転させます。**

2 **(カーソル)ボタンの左や右を押して、目的の項目を表示させます。**

特定した会社の連絡先を一覧表示する

名前順で表示されている連絡先を、勤務先別に一覧表示できます。

1 **一覧画面で画面右下の［メニュー］－［表示方法］－［勤務先］にタップします。**

連絡先が勤務先別に一覧表示されます。

- 名前順に戻すときは、画面右下の［メニュー］－［表示方法］－［名前］にタップします。

一覧画面の表示設定を変更する

一覧画面に表示されている50音タブを非表示にしたり、名前だけの表示にしたりできます。

1 **一覧画面で画面右下の［メニュー］－［オプション］にタップします。**

オプション設定画面が表示されます。

2 **設定が終わったら、okにタップします。**

設定が反映された一覧画面が表示されます。

3 PIM機能 連絡先

連絡先に写真をつける／削除する

連絡先ごとに写真や画像を設定できます。画像を登録した相手から電話がかかってきたときに着信画面に画像を表示します。
設定する写真などは保存している画像から選ぶか、その場で内蔵のカメラを使って撮影します。

写真や画像をつける

1 入力画面で「画像」欄にタップします。

画像の選択画面で「マイ ピクチャ」フォルダに保存されている画像が表示されます。

2 設定したい画像にタップします。

画像が設定され、入力画面の「画像」欄に「画像の変更」と表示されます。

3 ok にタップします。

カメラで撮った写真をつける

1 入力画面で「画像」欄にタップします。

2 画像の選択画面で カメラ にタップします。

カメラが起動し画像が画面に表示されます。

3 シャッターボタンを押して撮影します。

しばらくすると撮影した画像が画面に表示されます。

4 画面左下の 選択 にタップします。

画像が設定され、入力画面の「画像」欄に「画像の変更」と表示されます。
撮影しなおすときは画面右下の 再試行 にタップします。

5 ok にタップします。

MEMO
- 撮影した画像は「マイピクチャ」フォルダに保存されます。
- 撮影の方法について、詳しくは「静止画(画像)を撮影する」(☞4-4ページ)をご覧ください。

設定した写真や画像を削除する

1 一覧画面で、写真や画像を削除したい連絡先にタップします。

連絡先の概要が表示されます。

2 画像にタップします。

連絡先の編集画面が表示されます。

3 画面右下の メニュー ー 画像の削除 にタップします。

4 確認画面で はい にタップします。

5 ok にタップします。

MEMO
- 上記手順では連絡先に設定した画像を削除しますが、実際の画像は削除されません。

連絡先から電話をかける

1 **一覧画面で電話をかけたい連絡先をタップしたままにして、電話をかけるにタップします。**

電話番号を選択する画面が表示されます。

2 **電話をかける番号にタップし、確認画面で はい にタップします。**

発信画面で電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

MEMO

- 一覧画面で電話をかけたい連絡先を選択し、画面右下のメニュー－電話をかけるにタップしても、電話番号を選択する画面が表示されます。

連絡先からメールを作成する

1 **一覧画面でメールを送りたい連絡先をタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **電子メールの送信またはライトメール作成にタップします。**

3 **メールのとき　　　　：アカウントの選択画面で送るメールのアカウントを選択します。**

ライトメールのとき：電話番号選択画面でライトメールの送信先を選択します。

選んだ連絡先のメールアドレスが入った、メールやライトメール作成画面が表示されます。

4 **メッセージなどを入力したら ok にタップします。**

5 **確認画面ではいにタップします。**

作成したメールが、“メール”または“ライトメール”の下書き（フォルダ）に保存されます。

MEMO

- メールについて、くわしくは2-28ページ、ライトメールについてくわしくは2-57ページをご覧ください。

ご注意！

- ライトメールに対応していない電話機へライトメールを送信したときは、相手に電話がかかります。

連絡先を修正／削除する

連絡先を修正する

1 **一覧画面で、修正する連絡先にタップします。**

連絡先の概要が表示されます。

2 **修正したい連絡先の項目（電話番号や住所など）にタップして修正します。**

3 **okにタップします。**

MEMO

- 手順**2**で画面左下の 編集 、または画面右下の メニュー ー 編集 にタップしても修正できます。

連絡先を削除する

1 **一覧画面で、削除する連絡先をタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **連絡先の削除 にタップします。**

3 **確認画面で はい にタップします。**

MEMO

- 次の方法でも削除できます。
  - ・一覧画面で削除したい連絡先を選択し、画面右下の メニュー ー 連絡先の削除 にタップします。
  - ・削除したい連絡先の概要画面で、画面右下の メニュー ー 削除 にタップします。

3 PIM機能
連絡先

連絡先のメニュー

一覧画面のメニュー

新しい連絡先		新規作成画面を開く。
連絡先のコピー		選択している連絡先コピーして追加する。
連絡先の削除		選択している連絡先を削除する。
オプション		・「タブを表示する」にチェックがあるときは、一覧画面で50音のタブが表示される。 ・「名前のみを表示する」にチェックがあるときは、一覧画面に名前だけが表示される。 ・「市外局番」に設定した番号が、市外局番として入力画面で自動的に入力される。
表示方法	名前	名前順に表示する。
	勤務先	会社ごとに表示する。
フィルタ※	すべての連絡先	すべての連絡先を表示する。
	最近表示したアイテム	最近表示した連絡先を表示する。
	分類項目なし	分類項目を設定していない（分類項目なしの）連絡先を表示する。
ライトメール作成		ライトメール送信先の電話番号を選択してメールを作成する。
電話をかける		ダイヤルする電話番号を選択して電話をかける。

※フィルタのメニューには、連絡先で設定した分類項目が表示されます。

● 一覧画面で連絡先をタップしたままにすると、実行できる操作の一覧がポップアップメニューで表示されます。電子メールアドレスを登録しているときは、ポップアップメニューから 電子メールの送信 にタップしてメールを作成できます。

編集画面のメニュー

画像の削除	設定した画像を削除する。
元に戻す	ひとつ前の状態に戻す。
やり直す	直前の操作を繰り返す。
切り取り	選択した文字列などを切り取る。
コピー	選択した文字列などをコピーする。
貼り付け	クリップボードにある文字列などを、指定したポイントに貼り付ける。
クリア	範囲指定した文字列などを消す。
すべて選択	編集しているデータ全体の文字列などを範囲指定する。

概要(詳細表示)画面のメニュー

編集	表示している連絡先を編集する。
SMSメッセージの送信（メモタブ）	この製品はこの機能に対応しておりません。
連絡先のビーム（メモタブ）	この製品はこの機能に対応しておりません。
削除	表示している連絡先を削除する。
ズーム（メモタブ）	表示の大きさを設定する。75%～300%まで5段階。

仕事

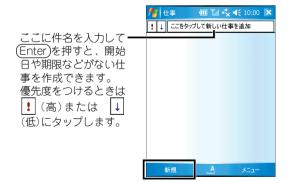
やらなければいけない用件の進捗状況などを管理します。
仕事の使いかたについて、この製品のヘルプもあわせてご覧ください。

- パソコンでMicrosoft Outlookをご使用の場合、ActiveSyncを使って仕事のデータと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは5-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。

仕事に優先度をつけて保存する(新規作成)

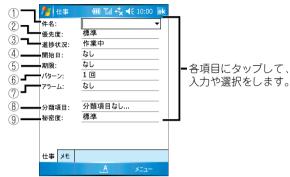
1 **スタート メニューの “プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面の “仕事”にタップします。**
仕事の一覧画面が表示されます。

3 **画面左下の 新規 にタップします。**
仕事の新規入力画面が表示されます。

MEMO

- 画面右下の メニュー － 新しい仕事 にタップしても、新規入力画面が表示されます。

各項目にタップして、件名、優先度、開始日などを入力／選択します。

- 文字を入力するときは、キーボードを使って入力すると便利です（☞1-37ページ）。

① **件名**
直接入力するか、▼にタップして一覧から選びます。

② **優先度**
優先度（「高」、「標準」、「低」）を選びます。

③ **進捗状況**
「作業中」または「終了」を選びます。

④ **開始日**
タップして、表示されたカレンダーから開始日を選びます。

⑤ **期限**
タップして、表示されたカレンダーから期限日を選びます。

⑥ **パターン**
入力中の仕事を1回だけとするのか、または毎週や毎月などの定期的な仕事にするのかを設定します。「1回」にすると、1回だけの仕事となります。
仕事の間隔（パターン）を編集するときは、「<パターンの編集>」にタップします（☞3-32ページ）。

⑦ **アラーム**
アラームの設定をします。
・「通知」：アラームが通知されます。
・「なし」：アラームは通知されません。
「通知」にしたときは、日付や時間にタップしてアラームを通知する日時を設定します。

アラーム音を鳴らないようにするには：

1 スタート メニューの“設定”－“音と通知”－ 通知 タブにタップします。
2「イベント」欄で「アラーム」を選択します。
3「音を鳴らす」のチェックを外し、okにタップします。

⑧ **分類項目**

入力中の仕事に「会社関係（取引先）」などの分類項目を設定して、グループ化します。分類項目を設定しておくと、必要なデータをすばやく検索（フィルタ）できます（☞1-33ページ）。

⑨ **秘密度**

「標準」、「個人」、「プライベート」、「社外秘」から選びます。

● 仕事にメモを追加したいときは、メモタブにタップして入力します。

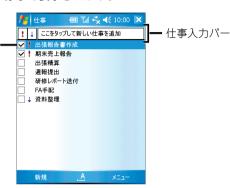
入力が終わったら、ok にタップします。

仕事を一覧表示する

1 **スタート** メニューの “プログラム”にタップします。

2 **プログラム画面の “仕事”にタップします。**

仕事の一覧画面が表示されます。
期限が過ぎた仕事は、赤字で表示されます。

チェックなしは作業中、チェックありは終了した仕事です。
この画面でチェックをつけたりはずしたりできます。

MEMO

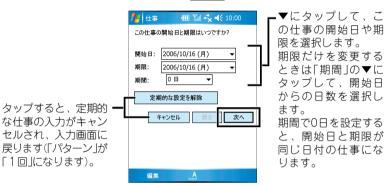
- 画面右下の メニュー ー オプション にタップし、「仕事入力バーを表示する」のチェックをはずすと、仕事入力バーが非表示になります(☞3-36ページ)。
- 画面右下の メニュー ー オプション にタップし、「開始日と期限を表示する」にチェックをつけると、2行の表示になります。

定期的な仕事を入力する(パターンの編集)

週報や毎月の進捗レポート提出などの定期的な仕事を、仕事の間隔(パターン)を編集してまとめて入力できます。
仕事の入力については、3-28ページをご覧ください。

1 **入力画面で「パターン」欄にタップし、表示されたメニューの「<パターンの編集>」にタップします。**

パターンの編集画面が表示されます。

2 **開始日や期限などを入力して、次へ にタップします。**

3 **画面上部にある 毎日 や 毎週 などにタップして、表示された画面で仕事の間隔を設定します。**

◇毎 日◇

◇毎 週◇

何週ごとにするのか▼にタップして選択または枠内に直接入力します。
「1週ごと」にすると毎週の仕事になります。

仕事をいれる曜日にタップして選択します（複数選択できます）。

◇毎 月◇

月の決まった日の仕事は「日」を選択します。
▼にタップして選択または枠に直接入力します。
「1か月ごと」にすると、毎月の仕事になります。

月の決まった曜日の仕事は「曜日」を選択します。
▼にタップして何週目の何曜日などを選択します。

◇毎 年◇

毎年決まった月日の仕事は「日付」にタップして日を設定します。

月と曜日が決まっている仕事は「曜日」を選択します。
▼にタップして月と曜日などを選択します。

4 次へ にタップします。

「定期的なパターンの開始日と終了日の設定」画面が表示されます。

5 開始日と終了条件を設定します。

定期的な仕事に期限があるときは、「終了日」または「反復回数」を選択します。
終了日：
設定日まで定期的な仕事を作成します。
反復回数：
設定した回数だけ仕事を作成します。

▼にタップして、表示されたミニカレンダーから日を選択、または直接入力します。

▼にタップして選択または直接入力します。

6 終了 にタップします。

仕事の入力画面に戻ります。

件名など、その他の必要な項目を入力して ok にタップすると、設定した定期的な仕事が入力されます。

● **定期的な仕事を修正するとき**

1 一覧画面などで、修正したい定期的な仕事をタップして詳細画面を表示します。

2 画面左下の 編集 にタップして修正します。
定期的な仕事が一度に修正されます。

● **定期的な仕事をすべて削除するとき**

1 一覧画面などで、定期的な予定のひとつをタップしたままにしてポップアップメニューから 仕事の削除 を選択します。

2 確認画面で はい にタップします。

作業中の仕事／終了した仕事を表示する(フィルタ)

作業中の仕事だけ、または終了した仕事だけを一覧表示できます。

1 **一覧画面で、画面右下の メニュー ー フィルタ にタップします。**

2 **作業中の仕事 または 終了した仕事 にタップします。**

タップしたメニューにチェックがつきます。
作業中の仕事だけ、または終了した仕事だけが一覧表示されます。

MEMO

- すべての仕事を表示するときは、もう一度手順**1**と**2**を行います。
  手順**2**でメニューにつけたチェックが外れて、すべての仕事が表示されます。
- 分類項目でフィルタ表示しているときは、その中で作業中の仕事、終了した仕事が表示されます。分類項目については、1-29ページをご覧ください。

仕事を並べ替える

入力している仕事を条件別に並べ替えできます。

1 **一覧画面で、画面右下の メニュー ー 並べ替え にタップします。**

2 **並べ替える条件(状態、優先度、件名、開始日、期限)にタップします。**

・状態　：“作業中の仕事”、“終了した仕事”別に表示されます。
・優先度：仕事に設定している優先度別に表示されます。
・件名　：仕事の件名別に表示されます。
・開始日：仕事に設定している開始日順に表示されます。
・期限　：仕事に設定している期限日順に表示されます。

MEMO

- 並べ替えられた順を逆に(例えば、優先度の高→低を低→高に)変えたいときは、もう一度手順**1**と**2**を行います。

オプションの設定をする

一覧画面で表示する内容を変更できます。

1 **一覧画面で、画面右下の メニュー ー オプション にタップします。**

オプション画面が表示されます。

仕事 10:00 ok
オプション
新しいアイテムにアラームを設定する
開始日と期限を表示する
仕事入力バーを表示する

チェックをつけると、新規入力画面で開始日と期限日を入力すると「アラーム」欄が自動的に「通知」に設定されます。

チェックをつけると、一覧画面に開始日と期限も表示されます（1つの仕事は2 行で表示されます）。

チェックを外すと、仕事入力バーが非表示になります（☞3-31ページ）。

2 **設定する項目にチェックをつけます。**

3 **設定が終わったら、 ok にタップします。**

仕事を修正／削除する

仕事を修正する

1 一覧画面で、修正する仕事にタップします。

仕事の詳細が表示されます。

2 画面左下の 編集 にタップします。

3 修正が終わったら、 ok にタップします。

● 仕事のメモを変更したいときは、 メモ タブにタップして変更します。

仕事を削除する

1 一覧画面で、削除する仕事をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから 仕事の削除 にタップします。

3 確認画面で はい にタップします。

MEMO

● 次の方法でも削除できます。
 ・一覧画面で削除したい仕事を選択し、画面右下の メニュー ─ 仕事の削除 をタップします。
 ・削除したい仕事の詳細画面で、画面右下の メニュー ─ 削除 をタップします。

● 定期的な(パターンを設定した)仕事のときは、確認画面が表示されます。定期的な仕事をすべて削除するときは はい 、選択した仕事だけを削除するときは いいえ にタップします。

仕事のメニュー

一覧画面のメニュー

新しい仕事		新規入力画面を開く。
仕事の削除		選択している仕事を完全に削除する。
編集	**切り取り**	選択したデータを切り取る。
	コピー	選択した文字列をコピーする。
	貼り付け	クリップボードにあるデータを、仕事に貼り付ける。
オプション		・「新しいアイテムにアラームを設定する」にチェックがあるときは、新規入力画面で、自動的にアラームが「通知」に設定される。 ・「開始日と期限を表示する」にチェックがあるときは、一覧画面に開始日と期限が表示される。 ・「仕事入力バーを表示する」にチェックがあるときは、一覧画面に入力バーが表示される。
並べ替え	**状態**	終了した仕事、作業中の仕事に分けて表示する。
	優先度	仕事を優先度順で表示する。
	件名	仕事を件名順で表示する。
	開始日	仕事を開始日順で表示する。
	期限	仕事を期限日順で表示する。
フィルタ※	**すべての仕事**	すべての仕事を表示する。
	最近表示したアイテム	最近表示した仕事を表示する。
	分類項目なし	分類項目を設定していない（分類項目なしの）仕事を表示する。
	作業中の仕事 **終了した仕事**	フィルタ表示（上記）した仕事の中から、さらに「作業中の仕事」または「終了した仕事」だけを表示する。

※フィルタのメニューには、仕事で設定した分類項目が表示されます。

- 一覧画面などで仕事をタップしたままにすると、実行できる操作の一覧がポップアップメニューで表示されます。優先度もポップアップメニューから変更できます。
- Today画面（待ち受け画面）に、作業中や期限切れなどの仕事件数を表示できます（☞7-25ページ）。

メモ

手書きした文字やイラスト、録音した自分の声などを保存できます。
メモの使いかたについて、この製品のヘルプもあわせてご覧ください。

- パソコンでMicrosoft Outlookをご使用の場合、ActiveSyncを使ってメモと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは5-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。

メモを書く（新規作成）

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“メモ”にタップします。**

メモの一覧画面が表示されます。

- メモのファイルがないときは、新規入力画面が表示されます。

3 画面左下の 新規 にタップします。

メモの新規入力画面が表示されます。

4 文字を入力します。

・罫線あり（手書き）の画面のときにスタイラスペンを使って、画面に文字を手書きできます。
・キーボードや入力パネルからも文字を入力できます。
・画面をタップしたままにして、表示されたポップアップメニューから 日付の挿入 を選ぶと、日付が挿入できます。

● 文字の入力方法について、くわしくは「文字入力のしかた」（☞1-35ページ）をご覧ください。

5 入力が終わったら、ok にタップします。

作成したメモが一覧画面に追加されます。

● 手書きしたメモのファイル名は「メモ1」、「メモ2」…と自動的に付けられます。キーボードや文字入力パネルから入力したメモのファイル名は、最初の行に書かれている文字がファイル名となります。
● 3本以上の罫線にまたがって手書きした文字は、描画として扱われます。

入力画面のモードについて

罫線あり(手書き)の画面

・スタイラスペンで手書き入力
・キーボードから入力

罫線なしの画面

・キーボードや入力パネルから入力
(手書き入力はできません)

罫線あり/なしの画面を切り替えるには、入力画面で画面右下の［メニュー］－［描画］にタップします。
画面のズームは、画面右下の［メニュー］－［ズーム］にタップして倍率を選択します。

● 手書きした文字を編集するときは、画面右下の［メニュー］－［描画］にタップして、チェックを外してから、罫線なしの画面で手書き文字をなぞって選択します。なぞって選択した手書き文字は、画面右下の［メニュー］から、コピー/貼り付け/切り取りなどの編集ができます。

メモを一覧表示する

1 **スタート** メニューの“プログラム”にタップします。

2 **プログラム画面で“メモ”にタップします。**

メモの一覧画面が表示されます。

① **フォルダの切り替え**

タップするとすべてのフォルダが一覧で表示され、フォルダを切り替えられます。また、「追加／削除」を選択するとフォルダを新規作成したり、名前の変更や削除ができます。

② **並べ替え**

タップすると並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替えの項目をタップすると、その項目を基準にメモが並び替わります。

③ **メモファイル**

タップするとメモの内容が表示されます。

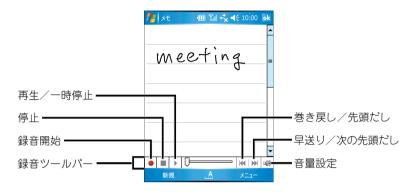
④ **音声ファイル**

タップすると音声が再生されます。
マナーモードで「標準」、「サイレント」を選択しているときは、システム音がOFFになっています。この状態では音が出ません。マナーモードを解除してください。

- 「メモ」の入力画面で録音した音声は、音声だけであっても（メモファイル）のアイコンで表示されます。
「メモ」の入力画面以外で録音した音声はのアイコンで表示されます。

録音する

1 入力画面で、画面右下の メニュー ー 録音ツール バーの表示 にタップして、チェックをつけます。

録音ツールバーが表示されます。

2 ●にタップすると録音が始まります。

本体の下側にあるマイク（☞1-2ページ）に向かって自分の声などを録音します。

3 ■にタップすると録音が終了します。

4 okにタップします。

1つのメモファイルとして登録されます。

MEMO

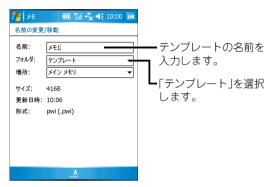
- 録音ツールバーを消すときは、画面右下の メニュー ー 録音ツール バーの表示 にタップして、チェックを外します。
- 録音した音声などを再生するときは、にタップします。本体裏面のスピーカー（☞1-5ページ）から音が出ます。
- メモの入力画面から録音した音声は、音声だけでもメモファイルとして保存されます（一覧画面では、（メモファイル）のアイコンで表示されます）。
- メモの一覧画面から録音すると、1つの音声ファイルとして保存されます（一覧画面では、（音声ファイル）のアイコンで表示されます）。
- 録音ツールバーから音量を変更すると、この製品全体の音量も変更されます。音量を大きくすると、着信音などの音量も大きくなります。

自分用のテンプレートを作成する

1 テンプレートにしたいメモを作成します。

2 一覧画面で、テンプレートにしたいメモをタップしたままにします。

3 ポップアップメニューから、名前の変更／移動にタップします。

「名前の変更／移動」画面が表示されます。

- 画面右下の メニュー ― 名前の変更／移動 にタップしても名前の変更／移動画面が表示されます。

4 「名前」欄に、作成したテンプレートにつける名前を入力します。

5 「フォルダ」欄の▼をタップして、「テンプレート」を選択します。

6 okにタップします。

作成したテンプレートが保存されます。

テンプレートを設定する

よく使うテンプレートを新規入力画面でいつも表示されるように設定できます。

1 **一覧画面で、画面右下の［メニュー］－［オプション］にタップします。**

オプション画面が表示されます。

2 **「既定のモード」欄で▼をタップして、「手書き」（罫線あり）または「入力」（罫線なし）を選びます。**

3 **「既定のテンプレート」欄で▼をタップして、設定したいテンプレートを選びます。**

4 **保存先などを選択して、okにタップします。**

メモの一覧画面に戻ります。

設定後は、画面左下の［新規］にタップすると、選択したテンプレートの入力画面が表示されるようになります。

MEMO

- テンプレートを表示させないようにするには、上記の手順**3**で「白紙のメモ」を選びます。

オプションを設定する

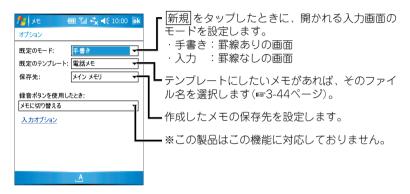
新規入力画面のモードなどを設定します。

1 **一覧画面で、画面右下の メニュー － オプション にタップします。**

オプション画面が表示されます。

2 **それぞれの設定をします。**

MEMO

● 「入力オプション」にタップすると、スタート メニューの“設定”－“入力”と同じ設定ができます。

3 **設定が終わったら、ok にタップします。**

メモを修正／削除する

メモを修正する

1 **一覧画面で、修正するメモにタップします。**

メモの詳細が表示されます。

2 **メモを修正します。**

3 **ok にタップします。**

メモを削除する

1 **一覧画面で、削除するメモをタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **[削除]にタップします。**

3 **確認画面で[はい]にタップします。**

MEMO

- 削除したいメモを選択し、画面右下の[メニュー]－[削除]にタップしても削除できます。

3 PIM機能

メモ

メモのメニュー

一覧画面のメニュー

録音ツール バーの表示	録音ツールバーを表示／非表示する。
名前の変更／移動	メモのファイル名と保存先のフォルダなどを変更して保存する。
削除	選択しているメモを削除する。
コピー作成	選択しているメモをコピーして追加する。
すべて選択	一覧画面のメモをすべて選択する。
電子メールで送信	一覧画面で選択しているメモを添付ファイルで送信する。
オプション	・「既定のモード」 設定したモードが新規入力画面で表示される。 ・「既定のテンプレート」 設定したテンプレートが新規入力画面に表示される。 ・「保存先」 設定した場所に、作成したメモが保存される。 ・「録音ボタンを使用したとき」 この製品はこの機能に対応しておりません。

編集画面のメニュー

録音ツール バーの表示		録音ツールバーを表示／非表示する。
描画		手書き画面（罫線あり）を表示／非表示する。
元に戻す		ひとつ前の状態に戻す。
やり直し		直前の操作を繰り返す。
切り取り		選択した文字列や図形を切り取る。
コピー		選択した文字列や図形をコピーする。
貼り付け		クリップボードにある文字列や図形を、指定したポイントに貼り付ける。
編集	**クリア**	範囲指定した文字列や図形、音声（ ）を消す。
	すべて選択	メモ全体の文字列などを範囲指定する。
ズーム		表示の大きさを設定する。75%～300%まで5段階。
ツール	**名前の変更／移動**	作成済みのメモを開いているとき、メモの名前と保存先を変更して保存する。
	削除	編集中のメモを完全に削除する。
	電子メールで送信	メモを添付ファイルで送信する。

4 映像と音楽

画像とビデオ 4-2

音楽や映像を楽しむ (Windows Media Player 10 Mobile) 4-15

画像とビデオ

静止画（画像）やビデオ（動画）の撮影および画像の編集ができます。
ここでは、画像とビデオの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

カメラをご使用になる前に

この製品は、有効画素数133万画素のカメラを搭載し、静止画（画像）や動画（ビデオ）の撮影ができます。

撮影サイズ／保存形式や保存場所について

撮影した静止画（画像）や動画（ビデオ）は、以下の保存形式で保存されます。

モード	撮影サイズ	保存形式	保存場所
静止モード	320×240ドット（QVGA） 640×480ドット（VGA） 1280×1024ドット（SXGA）	JPEG	マイピクチャフォルダ またはminiSDカード
ビデオモード	320×240ドット（QVGA）	Windows Media Video（WMV）	マイピクチャフォルダ またはminiSDカード

ご注意！

- miniSDカードに保存するときは、DCIMフォルダの中にファイルが保存されます。一般的なデジタルカメラとは保存場所が異なります。

撮影可能距離

・このカメラの撮影可能距離は、約1.2m～無限遠です。

カメラ撮影中の撮影音について

・カメラ撮影時には、シャッター音（静止画撮影時）や撮影開始音（動画撮影時）が鳴ります。
マナーモードやその他のモード設定にかかわらず、撮影時のシャッター音、撮影開始音は鳴ります。

カメラ利用時に着信／アラーム動作があると

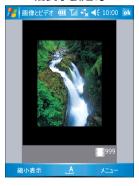
・撮影中に着信があると、撮影を終了します。
撮影した静止画／動画は、保存されます。

スタンバイ画面について

・カメラ起動中に、約5分間何も操作しないでいると画面にスタンバイと表示されます。スタンバイと表示されたときは、画面をタップしてください。

カメラ利用時のご注意

・撮影前に内蔵カメラのレンズカバーが汚れていないかご確認ください。
レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。
柔らかい布などでレンズカバーをきれいにしてください。
・手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。
この製品が動かないようにしっかり持って撮影してください。
・カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
・この製品を温かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、画像を保存したときは、画質が劣化することがあります。
・カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
・カメラで太陽などの光源を直接見ないようにしてください。
・この製品ではバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ることはできません。
・横方向、縦方向どちらに構えても撮影することができますが、保存される画像の表示方向(縦横)は構えた方向ではなく画面設定(☞7-50ページ)で設定されている向きとなります。
画面の表示を切り替えるときは、画像とビデオ画面(☞4-6ページ)で縦横表示切替ボタン(☞1-2ページ)を押して切り替えてください。

縦表示設定時

ご注意！

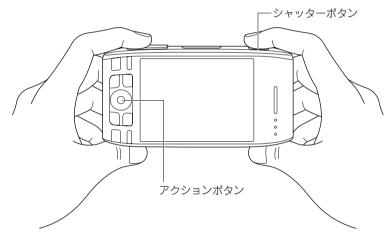
● 撮影時(“カメラモード”(☞4-4ページ)、“ビデオモード”(☞4-9ページ))は、縦横表示切替ボタンを押しても画面を切り替えることはできません。
また、キーボードを開いたり、閉じたとき画面を切り替える設定(☞7-44ページ)にしていても画面は切り替わりません。
画面上の OK にタップして一旦撮影を中止してから縦横表示切替ボタンを押して画面を切り替えてください。

静止画（画像）を撮影する

1 スタート メニューの“プログラム”にタップします。

2 プログラム画面で “画像とビデオ”にタップし、“カメラ”をタップします。

ビデオモード（撮影画面の右下に が表示）で撮影されていた場合は、画面右下の メニュー － 静止モード にタップしてください。
静止モード（画像撮影）画面が表示されます（撮影画面の右下に が表示）。

3 画面にレンズからの画像が表示されます。被写体にレンズを向け、シャッターボタン、(アクション)ボタンまたは(Enter)キーを押します。

シャッター音が鳴り、撮影した画像が「マイ ピクチャ」フォルダに保存されます。
また、画面には撮影した画像が表示された状態になります。

4 続いて撮影するときは、画面左下の カメラ にタップします。

- シャッターボタン、(アクション)ボタン、または(Enter)キーを押しても続けて撮影することができます。

5 撮影を終了するときは、ok をタップします。

MEMO

- 撮影時、画像の明るさやサイズを変更できます。画面右下の メニュー にタップし、 明るさ や 解像度 にタップして明るさやサイズを変更します（☞4-14ページ）。

連続して撮影する

1 静止モード（画像撮影）画面で、画面右下の［メニュー］－［モード］－［連写］にタップします。

2 被写体にレンズを向け、シャッターボタン、（アクション）ボタンまたは（Enter）キーを押します。

5回連続して撮影されます。

MEMO

- 連写モードでは、1枚目のシャッターを押すと、あとは一定の間隔（約5秒間隔）で残りの回数分が撮影されます。この間隔は、起動しているプログラムの数や撮影した画像の保存場所の設定によって変わります。

3 撮影を終了するときは、okをタップします。

タイマーモードで撮影する

1 静止モード（画像撮影）画面で、画面右下の［メニュー］－［モード］－［タイマー］にタップします。

2 被写体にレンズを向け、シャッターボタン、（アクション）ボタンまたは（Enter）キーを押します。

タイマーが動作し、5秒後に撮影されます。

3 撮影を終了するときは、okをタップします。

- タイマー動作中にシャッターボタン、（アクション）ボタンまたは（Enter）キーを押すと、その時点で撮影されます。

撮影した静止画（画像）を確認する

1 **プログラム画面で“画像とビデオ”にタップします。静止モード（画像撮影）画面のときは、画面左下の［縮小表示］にタップします。**

画像とビデオ画面（「マイ ピクチャ」フォルダに保存された静止画（画像）の一覧）が表示されます。

タップすると、どのフォルダにある静止画を一覧で表示したいか指定できます。

タップすると、ファイルやフォルダの並べ替え順の項目が表示されます。並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準に画像が並び替わります。

フォルダ内の画像がサムネイル表示されます。

2 **確認したい静止画（画像）を選択し、画面左下の［表示］にタップすると画面全体に拡大表示されます。**

詳細画面が表示されます。

● 確認したい静止画をタップしても画面全体に拡大表示されます。

3 **画面右上の ok にタップすると一覧に戻ります。**

画像をスライドショーで表示する

複数の画像を連続して表示するスライドショー表示ができます。

1 **画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［スライドショーの再生］にタップします。**

スライドショーを終了するときは、画面にタップしスライドショーツールバー（　）を表示し、 にタップします。

スライドショーツールバーでスライドショーの終了や一時停止（ ）、表示の回転（ ）などの操作ができます。

MEMO

● **スライドショーでの表示を最適化できます。**

1 **画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［オプション］－［スライドショー］タブにタップします。**

2 **「スライドショーで表示を最適化する対象」を設定します（☞4-11ページ）。**

画像をメールに添付して送る

画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

1 画像とビデオ画面で電子メールの添付ファイルとして送信したい画像をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 送信 にタップします。

画像を添付ファイルとした新規メールの作成画面が表示されます。
「アカウントの選択」画面が表示されたときは、添付して送るアカウントをタップして選択します。

MEMO

- 添付ファイルとして送信したい画像を選択し、画面右下の メニュー ー 送信 にタップしても画像を添付ファイルとした新規メールの作成画面が表示されます。

3 宛先、件名、本文などを入力します。

メールの送信についてくわしくは、「メールを作って送る」(☞2-28ページ)をご覧ください。

画像を「Today」画面の背景に設定する

画像を「Today」画面の背景として設定できます。

1 画像とビデオ画面で「Today」画面の背景として設定したい画像をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 [Today]の背景に設定する にタップします。

「[Today]の背景に設定する」画面が表示されます。

MEMO

- 「Today」画面の背景として設定したい画像を選択し、画面右下の メニュー ー [Today]の背景に設定する にタップしても「[Today]の背景に設定する」画面が表示されます。

3 背景にするときの透過レベルを設定します。

透過レベルのパーセントを低くするほど、くっきりした画像になります。

4 [Today]画面の背景に設定するときは、ok にタップします。

撮影した静止画(画像)を編集する

撮影した画像をトリミング(切り抜き)したり、明るさ/コントラストのレベルを調整するなど編集することができます。

1 画像とビデオ画面で編集したい画像を選択し、画面左下の[表示]にタップします。

2 画面右下の[メニュー]ー[編集]にタップして画像を編集します。

■画像をトリミング(切り抜き)する

1 画面右下の[メニュー]ー[トリミング]にタップします。

2 切り抜きしたい部分にドラッグします。

3 切り抜きしたい領域内をタップします。

トリミングをやめるときは、画面右下の[メニュー]ー[元に戻す]にタップします。

4 編集後の画像を保存するときは、画面右下の[メニュー]ー[名前を付けて保存]にタップし、ファイル名を確認し[ok]にタップします。

■明るさ/コントラストのレベルを調整する

1 画面右下の[メニュー]ー[自動修正]にタップします。

明るさ/コントラストのレベル調整をやめるときは、画面右下の[メニュー]ー[元に戻す]にタップします。

2 編集後の画像を保存するときは、画面右下の[メニュー]ー[名前を付けて保存]にタップし、ファイル名を確認し[ok]にタップします。

MEMO

- 画面左下の[回転]にタップすると、90度ずつ画像を回転します。
- 直前の編集操作を元に戻すには、画面右下の[メニュー]ー[元に戻す]にタップします。
- すべての編集操作をやめて元に戻すには、画面右下の[メニュー]ー[前回保存したときの状態に戻す]にタップします。

動画(ビデオ)を撮影する

1 画像とビデオ画面で、「カメラ」をタップします。

静止モード(撮影画面の右下に█が表示)で撮影されていた場合は、画面右下の メニュー – ビデオ にタップしてください。
ビデオモード(動画撮影)画面が表示されます(撮影画面の右下に が表示)。 画像の明るさを変更するときは、画面右下の メニュー にタップし、明るさ にタップして明るさを選択します。

2 被写体にレンズを向け、シャッターボタン、(アクション)ボタンまたは(Enter)キーを押します。

撮影開始音が鳴り、録画が開始されます。

3 もう一度、シャッターボタン、(アクション)ボタンまたは(Enter)キーを押して録画を停止します。

撮影した動画は、「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

4 撮影を終了するときは、ok をタップします。

MEMO

- 動画のサイズは、320×240ドット固定です。
- **ビデオには、マイク(送話口)に向かって自分の声なども録音できます。**
  音声を録音するときは、以下の設定をします。
  1 画像とビデオ画面右下の メニュー – オプション – ビデオ タブをタップします。
  2 「ビデオファイルの収録時にオーディオを含める」にチェックをつけます(☞4-12ページ)。

撮影した動画(ビデオ)を確認する

1 画像とビデオ画面で、確認したい“ ”動画(ビデオ)を選択し、画面左下の 再生 にタップするとWindows Media Player 10 Mobile が起動して再生されます。

Windows Media Player 10 Mobileの操作についてくわしくは、4-18ページをご覧ください。

MEMO

- マナーモードで「標準」、「サイレント」を選択しているときは、システム音がOFFになっています。この状態では音が出ません。マナーモードを解除(☞1-15、2-100ページ)してください。

画像やビデオを整理する

新規フォルダを作成する

新しくフォルダを作って画像やビデオを整理できます。

1 **画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［編集］－［新しいフォルダ］にタップします。**

新しいフォルダが作成されます。

ファイルやフォルダを移動させる

1 **移動させるファイルやフォルダをタップしたままにします。**

2 **ポップアップメニューから［切り取り］にタップします。**

MEMO

- 移動させるファイルやフォルダを選択し、画面右下の［メニュー］－［編集］－［切り取り］にタップしても切り取りができます。

3 **移動先のフォルダにタップし、フォルダを開きます。**

4 **［メニュー］－［編集］－［貼り付け］にタップします。**

MEMO

- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- **削除するときは**
  上記の手順**2**で［削除］にタップし、確認画面で［はい］にタップします。
  動画（ビデオ）ファイルを削除するときに「ファイルの削除エラー」が表示された場合、そのファイルはWindows Media Player 10 Mobileで使用されているため削除できません。
  Windows Media Player 10 Mobile を終了してから（☞4-18ページ）、再度、動画（ビデオ）ファイルを削除してください。
- **ファイルをコピーするときは**
  上記の手順**2**で［コピー］にタップします。
- **ファイルの名前を変更するときは**
  1 **名前を変更したいファイルを選択し、画面右下の［メニュー］－［プロパティ］にタップします。**
  2 **プロパティ画面の「名前」欄の名前を変更し ok にタップします。**

オプション設定について

画像とビデオ画面右下の メニュー － オプション で以下の設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。

◇ 全般 タブ ◇

◇ スライドショー タブ ◇

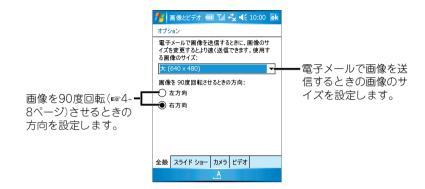
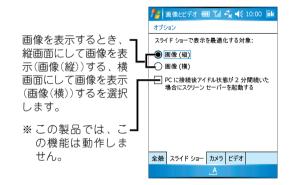
4
映像と音楽

画像とビデオ

◇ カメラタブ ◇

画像とビデオ 10:00 ok
オプション
ファイルの保存先:
メイン メモリ
ファイル名のプレフィックスの入力:
img
静止画像の圧縮レベル:
高画質
全般
スライド ショー
カメラ
ビデオ
画像を撮影したとき自動的に付く連番の前のファイル名を指定します。
画像を格納する場所として「メインメモリ」、または、「miniSDカード」を選択します。
静止画像の圧縮レベルを設定します。

◇ ビデオタブ ◇

画像とビデオ 10:00 ok
オプション
ビデオ ファイルの収録時にオーディオを含める。
ビデオの制限時間:
30 秒
全般
スライド ショー
カメラ
ビデオ
チェックを付けると、マイク（送話口）に向かって話している声などもいっしょに録音されます。
ビデオの撮影制限時間を「制限なし」、「15秒」、「30秒」から選べます。

画像とビデオのメニュー

画像とビデオ画面のメニュー

項目		説明
カメラ		静止モードにする（☞4-4ページ）。
送信		選択した画像またはビデオを添付した新規メールを作成する（☞4-7ページ）。
連絡先に保存		連絡先の画像情報に選択した画像を設定する。
削除		選択した画像またはビデオを削除する。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから削除にタップしても削除ができる。
編集	切り取り	画像またはビデオを切り取る。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから 切り取り をタップしても切り取りができる。
	コピー	画像またはビデオをコピーする。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューからコピーをタップしてもコピーができる。
	貼り付け	コピーおよび切り取った画像またはビデオを貼り付ける。
	新しいフォルダ	画像やビデオを整理するための新しいフォルダを作成する（☞4-10ページ）。
プロパティ		選択した画像またはビデオの情報を表示する。また、名前の変更ができる。
スライドショーの再生		画像をスライドショーとして表示する（☞4-6ページ）。
［Today］の背景に設定する		選択した画像をToday画面（待ち受け画面）の背景として設定する（☞4-7ページ）。
オプション		オプション設定画面を表示する（☞4-11ページ）。

詳細画面のメニュー

項目		説明
ズーム		タップすると、ナビゲーション用のサブウィンドウを表示して、画像の拡大／縮小、表示領域の移動をする。
スライドショーの再生		画像をスライドショーとして表示する（☞4-6ページ）。
［Today］の背景に設定する		表示している画像をToday画面（待ち受け画面）の背景として設定する（☞4-7ページ）。
保存	連絡先に保存	連絡先の画像情報に表示している画像を設定する。
	名前を付けて保存	表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。
編集		編集画面になる（☞4-8ページ）。
プロパティ		選択した画像またはビデオの情報を表示する。 また、名前の変更ができる。
オプション		オプション設定画面を表示する（☞4-11ページ）。

静止モード(画像撮影)画面のメニュー

ビデオ		ビデオ(動画撮影)モードにする(☞4-9ページ)。
モード	標準	標準モードで撮影する。
	連写	連写モードで撮影する(☞4-5ページ)。
	タイマー	タイマーモードで撮影する(☞4-5ページ)。
明るさ		明るさを調整する。+側を選択すると画像が明るくなっていき、ー側を選択すると暗くなっていく。
解像度	320×240	撮影サイズを320×240ドットにする。
	640×480	撮影サイズを640×480ドットにする。
	1280×1024	撮影サイズを1280×1024ドットにする。
オプション		オプション設定画面を表示する(☞4-11ページ)。

ビデオモード(動画撮影)画面のメニュー

静止モード		静止(画像撮影)モードにする(☞4-4ページ)。
明るさ		明るさを調整する。+側を選択すると画像が明るくなっていき、ー側を選択すると暗くなっていく。
画質	320×240	撮影サイズは320×240ドット固定。
オプション		オプション設定画面を表示する(☞4-11ページ)。

音楽や映像を楽しむ（Windows Media Player 10 Mobile）

この製品やネットワーク上にあるビデオファイル、オーディオファイルを再生できます。

次のファイルを再生できます。

・オーディオファイル：MP3形式、Windows Media Audio（wma）形式
・ビデオファイル　　：Windows Media Video（wmv）形式
・ストリーミング　　：Advanced Streaming Format（asf）形式

ご注意！

- ファイルの種類やサイズによっては、再生できないことがあります。
- イヤホンマイクなどをご使用になる場合は、音量の設定に十分気をつけて再生してください。
  思わぬ大音量が出て耳を痛める原因となることがあります。
  タイトルバーの 🔇 にタップして音量を変えてください。
- 音楽CDやインターネットホームページ上の著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から承諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

ここでは、Windows Media Player 10 Mobileの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

音楽や映像を楽しむには

この製品で音楽や映像を楽しむには、最初にオーディオファイルやビデオファイルなどをこの製品に保存します。
パソコンのWindows Media Player 10と同期するとオーディオファイルなどを同期しこの製品に保存できます（Windows Media Player 10と同期は、4-21ページをご覧ください）。
また、すでにお持ちのパソコンなどに再生できるファイルを保存されているときは、miniSDカードにそのファイルをコピーしてこの製品に取り付けて再生できます。miniSDカードに保存しているファイルを再生するときは、カードを取り付け後、ライブラリの更新（次ページのメモ）を行ってください。

音楽や映像を再生する

オーディオファイルやビデオファイルを選んで再生します。
また、ライブラリによってアーティストやジャンルなどの項目別に自動分類されたフォルダ(アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど)の中のファイルを順番に再生します。

1 スタート メニューの“Windows Media”にタップします。

ライブラリ画面が表示されます。
表示されないときは、画面右下の メニュー ー ライブラリ にタップしてください。

MEMO

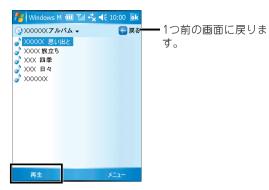
● **ライブラリの更新**
再生ファイルを保存しているminiSDカードを取り付けた場合などは、ファイルが表示されないことがありますのでライブラリの更新を行ってください。ライブラリ画面で画面右下の メニュー ー ライブラリの更新 にタップします。

2 再生したいファイルのカテゴリ(マイ ミュージック、マイ ビデオなど)をタップします。

miniSDカード内のファイルを再生するときなど、タップして切り替えます。

カテゴリにタップして再生するファイルやフォルダを表示します。

3 カテゴリの中のフォルダ(すべての音楽、アーティスト、アルバム、ジャンルなど)をタップして、再生するファイルやフォルダを表示します。

4 再生するファイルやフォルダ（すべての曲、アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）を選択し、画面左下の［再生］にタップします。

再生画面が表示され、再生がはじまります。
フォルダ（アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）を選択した場合は、フォルダの中のファイルが順番に再生されます。

プレイビュー画面を表示し、再生順の変更や再生リストからの削除などができます（☞4-19ページ）。

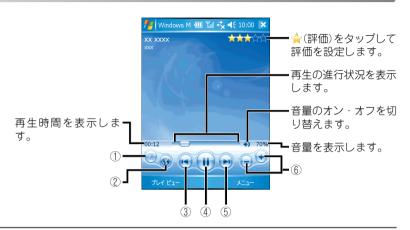
ランダム再生、連続再生の設定や再生中のファイル情報の表示などができます（☞4-25ページ）。

- 再生するファイルやフォルダにタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから［再生］にタップしても再生できます。
- パソコンなどから転送した新しいファイルがライブラリ画面に表示されない場合は、ライブラリの更新を行ってください。

  1 ライブラリ画面右下の［メニュー］－［ライブラリの更新］をタップします。

  2 ファイルの追加作業を待って画面右下の［終了］をタップします。
- マナーモードで「標準」、「サイレント」を選択しているときは、システム音がOFFになっています。この状態では音が出ません。マナーモードを解除してください。

5 PWR ボタンを押して、Windows Media Player 10 Mobileを終了します。

再生画面について

① ビデオファイルを再生中にタップすると、全画面で表示します。
元に戻すには、画面のどこかをタップします。

② Windows Media.com Mobileのホームページを表示します。
前もって、インターネットに接続するための設定を行ってください。

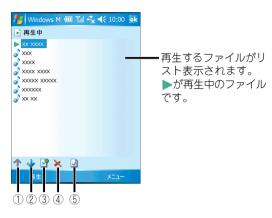
③ 再生中にタップするとファイルの先頭まで戻し再生します。
再生停止時にタップすると、1つ前のファイルへスキップします。

④ ファイルを一時停止します。
一時停止時は▶が表示され、タップすると再生を再開します。

⑤ 次のファイルへスキップします。

⑥ 現在この製品に設定しているボリューム（☞2-92ページ）を100％として、音量を調整します。
＋：音量を上げます。
－：音量を下げます。

プレイビュー画面(再生リスト)について

再生するファイルをリスト表示します。
再生するファイルの順番を変えたり、再生リストからファイルを削除できます。

①	選択したファイルを再生リストの上へ移動します。
②	選択したファイルを再生リストの下へ移動します。
③	ライブラリ画面に切り替えます。 ファイルやフォルダを追加するときは、ライブラリ画面で追加したいファイルやフォルダなどをタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから 再生待ちに追加 をタップします。ライブラリ画面に切り替える前のプレイビュー画面の一番下に追加されます。
④	選択したファイルを再生リストから削除します。
⑤	選択したファイルの情報を表示します。

- プレイビュー画面で画面右下の メニュー − プレイビューの消去 にタップすると、再生リストからすべてのファイルを消去します。

ネットワーク上のファイルを再生する

インターネットやネットワーク上のファイルを再生します。
再生するには、インターネット接続の設定が必要です。まだ設定していない場合は、7-12ページをご覧になり設定してください。

1 ライブラリ画面で、画面右下の［メニュー］－［URLを開く］にタップします。

2 「URL：」欄にネットワークアドレスを入力し、画面左下の［OK］をタップします。

パソコンで作った再生リストを再生する

ライブラリ画面で「再生リスト」を選択して再生します。
"再生リスト"とは、お気に入りのファイルを集めたリストのことです。
例えばいろいろなアルバムにあるお気に入りのオーディオファイルを再生リストに登録して、お気に入りの音楽だけを再生できます。
再生リストは、パソコンのWindows Media Player 10で作成し、同期させてこの製品に取り込みます（☞次ページ）。

ランダム再生する

ファイルを順不同に再生します。
再生画面やプレイビュー画面で、画面右下の［メニュー］－［ランダム再生／連続再生］－［ランダム再生］にタップします。

連続再生する

プレイビュー画面に表示されている順に再生し、最後のファイルを再生した後は、最初に戻って再生します。
再生画面やプレイビュー画面で、画面右下の［メニュー］－［ランダム再生／連続再生］－［連続再生］にタップします。

Windows Media Player 10と同期する

ActiveSyncで同期設定しているとパソコンのWindows Media Player 10で作成した再生リストや☆(評価)などが自動的に転送されます。
Windows Media Player 10と同期するには、パソコンとの接続が必要です。接続の方法は、5-5ページをご覧ください。

1 ファイルを同期するためのminiSDカード(32MB以上推奨)を取り付けます。

miniSDカードに対して同期処理を行います。

2 パソコンと付属のUSBケーブルで接続します。

3 パソコン側のActiveSyncの[ツール]メニューの[オプション]をクリックし、Mediaを設定します(☞5-8ページ)。

同期が開始されます。

- Microsoft ActiveSync画面のMediaに「セットアップを完了する必要があります」と表示されている場合は、Mediaをダブルクリックし、画面のメッセージにしたがって操作してください。パソコンのWindows Media Player 10が起動します。

4 パソコンのWindows Media Player 10を起動します。

5 同期タブをクリックし、miniSDカードを選択して、「同期の設定」をクリックします。

6 「同期の設定」をクリックし、同期方法と同期させる再生リストを選択し、「同期の開始」をクリックします。

- デバイスの設定画面が表示されたときは、同期処理("手動"、"自動")を指定し、「完了」をクリックします。

Windows Media Player 10の操作についてくわしくは、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

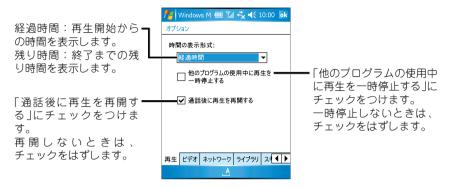
ご注意!

- パソコンのWindows Media Player 10のファイルをこの製品に同期(転送)するときは、必ずWindows Media Player 10の「同期」機能をご使用ください。ファイルをドラッグアンドドロップで転送しないでください。
- Windows Media Player 10は、Windows XPが動作しているパソコンからのみ使用できます。
Windows XP以外で動作するパソコンでは、Windows Media Player 9シリーズの「デバイスへ転送」機能を使ってファイルを転送してください。

オプション設定について

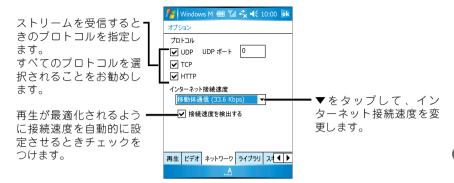
再生画面右下の メニュー － オプション で以下の設定ができます。
設定が終わったら、ok をタップしてください。

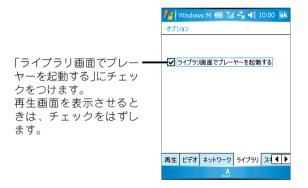
◇ 再生 タブ ◇

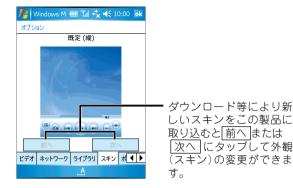
時間の表示形式、他のプログラムを使用中の再生方法などを設定します。

◇ ビデオ タブ ◇

ビデオ再生時の画面設定をします。

◇ ネットワークタブ ◇

ネットワークプロトコルとインターネット接続速度を設定します。

◇ ライブラリタブ ◇

Windows Media Player 10 Mobileを起動したとき、ライブラリ画面が表示するようにします。

◇ スキン タブ ◇

再生画面の外観(スキン)を変更します。

◇ ボタン タブ ◇

キーボードのキーを「停止」などに割り当てます。

1 変更したいコントロール名(再生／一時停止など)をタップします。

2 割り当て をタップし、新しく割り当てるキーボードのキーを押します。

押したキーが表示されます。

- ハードウェアボタンの割り当てを元に戻すときは、再度コントロール名をタップして リセット をタップします。
- ハードウェアのボタンの割り当てをしないときは、コントロール名をタップして なし をタップします。
- ボタンや ok ボタンなど、一部のボタンやキーには割り当てできないなどの制限があります。

Windows Media Player 10 Mobileのメニュー

再生画面のメニュー

ライブラリ		ライブラリ画面に切り替わる。
再生／一時停止		再生を開始または一時停止する。
停止		再生を停止する。
ランダム再生／連続再生	ランダム再生	ランダム再生する（☞4-20ページ）。
	連続再生	連続再生する（☞4-20ページ）。
全画面表示		ビデオファイルの再生中にタップすると、全画面表示になる。
オプション		オプション設定画面を表示する（☞4-22ページ）。
プロパティ		現在再生中のファイルの情報を表示する。
バージョン情報		バージョン番号など、Windows Media Player 10 Mobileに関する情報を表示する。

プレイビュー画面のメニュー

ライブラリ		ライブラリ画面に切り替わる。
上へ		選択したファイルを再生リストの上へ移動する。
下へ		選択したファイルを再生リストの下へ移動する。
再生リストから削除		選択したファイルを再生リストから削除する。
ランダム再生／連続再生	ランダム再生	再生リストのファイルをランダム再生する（☞4-20ページ）。
	連続再生	再生リストのファイルを連続再生する（☞4-20ページ）。
プレイビューの消去		すべての再生リスト（ファイル）を削除する。
エラーの詳細		再生時にエラーメッセージが表示されたときなどにタップでき、そのエラーの詳細を表示する。
プロパティ		選択したファイルの情報を表示する。

ライブラリ画面のメニュー

再生待ちに追加	プレイビュー再生リストの最後に追加する。
ライブラリから削除	選択したファイルをライブラリから削除する。
プレイビュー	プレイビュー画面に切り替わる。
ライブラリ	ライブラリを切り替える。
ライブラリの更新	ライブラリを更新（新しいファイルを追加）する。
ファイルを開く	ファイルを開く。
URLを開く	Windows Media.com Mobileなどのホームページから、ネットワーク上のファイルを再生する。
プロパティ	選択したファイルの情報を表示する。

5 パソコンとの連携

パソコンとの連携（ActiveSync）

ActiveSyncを使うと次のことができます。

・パソコンのMicrosoft Outlookとこの製品の予定表や連絡先などのデータを同期します。たとえば、この製品の予定表を外出先で変更してもオフィスのパソコンと同期すると、データを比較し古いデータを新しいデータに更新します。

・Word MobileやExcel MobileのデータとパソコンのWordやExcelのデータを同期します（☞5-10ページ）。

・この製品とパソコン間でファイルやフォルダをコピーできます（☞5-9ページ）。

・パソコンで表示したホームページのURLをこの製品に転送することができます（☞5-11ページ）。

ここでは、ActiveSyncの基本的な使いかたについて説明します。
ActiveSyncの設定や使用方法についてくわしくは、ActiveSyncのヘルプをご覧ください。

● パソコンのWordやExcelのデータをWord MobileやExcel Mobileのデータに変換したとき、Word MobileやExcel Mobileがサポートしていない書式や機能などは反映されません。

パソコンの動作環境について

インストールする前にパソコンの環境を確認します。

OS

・Microsoft Windows XP Professional（Service Pack 1および2）
・Microsoft Windows XP Home（Service Pack 1および2）
・Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack 4）

アプリケーション

・Microsoft Outlook 98以降
　受信トレイ、予定表、連絡先、仕事などと同期するために必要
・Microsoft Internet Explorer 5.01以降

ハードディスク空き容量

・ActiveSyncの場合：12〜65MB

その他

・USBポート
・CD-ROMドライブ
・256色以上のVGAグラフィックスカードまたは互換性のあるビデオグラフィックスアダプタ
・キーボード
・Microsoft マウスまたは互換性のあるポインティングデバイス

オプション

・Microsoft Office 97、Microsoft Office 2000、Microsoft Office 2003、Microsoft Office XP
・音声用オーディオカード／スピーカー

ActiveSyncをインストールする

お使いのパソコンで、ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどの常駐ソフトをお使いのときは、それらを停止してからインストールを行ってください。

1 この製品の通信モードをActiveSyncができる設定にします。

1 スタート メニューの“設定”にタップし、システム タブをタップします。

2 “ユーティリティ”の 通信モード タブで「USB接続の設定：」を ActiveSync（Remote NDIS） にします。

3 この製品の電源が自動的に切れないように設定しておいてください（☞7-39ページ）。

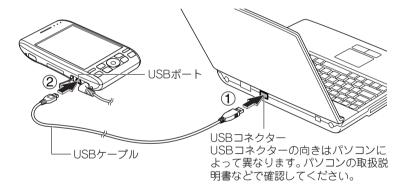
2 付属のGetting Started CDをパソコンにセットします。

しばらくすると、次の画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックし、下記の画面が表示されるまで画面の指示にしたがってインストールします。

4 [完了]をクリックします。

インストールが実行され、しばらくすると「接続」画面が表示されます。

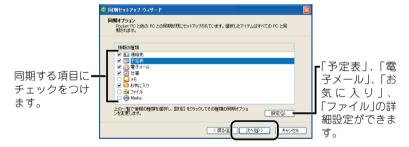
5 上記画面が表示された状態で、①、②の順でパソコンとこの製品を付属のUSBケーブルを使って接続します。

ご注意!

- パソコンと接続するときは、この製品にACアダプターを接続するか充電池の残量が十分であることを確認してください。

6 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

- **お使いのパソコンがMicrosoft Exchange Serverに接続しているときは**
  前ページの手順**6**の後、「直接サーバーと同期します」画面（以下の画面）が表示されます。この画面で「Microsoft Exchange Serverを実行中のサーバーと直接同期する。」のチェックが付いていることを確認して、［次へ］をクリックします。

次に表示された画面でサーバー情報やログオン情報などを設定し、［次へ］をクリックすると、手順**7**に進みます（手順**7**の画面ではExchange Serverとの同期が行われます）。入力する情報については、ネットワーク管理者にご確認ください。
また、ネットワーク環境によっては別の画面が表示されることもありますので、ネットワーク管理者にお尋ねになり、画面にしたがって操作してください。

7 「同期オプション」画面が表示されたら、同期する項目にチェックをつけて［次へ］をクリックします。

- を選択すると「ファイルの同期」メッセージが表示されます。パソコンと同期する場合は、［OK］をクリックしてください。
- を選択すると「メディアの同期」メッセージが表示されます。パソコンと同期する場合は、［OK］をクリックしてください。

8 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードの完了」画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

しばらくすると自動的に同期が開始されます。同期が終了すると、「ActiveSync」画面内に「接続完了」が表示されます。

ActiveSyncを使って同期する

1 スタートメニューの“設定”にタップします。

2 設定画面でシステムタブにタップし、“ユーティリティ”にタップします。

3 ユーティリティ画面で通信モードタブにタップします。

4 「USB接続の設定：」をActiveSync（Remote NDIS）にして、okにタップします。

この製品とパソコンを同期する設定にします。

ご注意！

- この製品とパソコンを同期するときは、必ず手順**1**〜**4**を行ってください。手順**4**のUSB接続の設定が「モデム」になっていると、同期できません。

5 この製品とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。

自動的に同期が始まります。

この製品とパソコンを接続した状態では、この製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。

MEMO

- 手動で同期するときは、次の方法で行います。

パソコン側から同期を実行する

1 ActiveSyncの[ファイル]メニューの[同期]をクリック、または[同期]をクリックします。

この製品側から同期を実行する

1 スタートメニューの“プログラム”にタップし、プログラム画面で“ActiveSync”にタップします。

2 画面左下の同期にタップします。

- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください（☞5-15ページ）。

同期をするときの設定を行う

同期を行うときにどのアプリケーションと同期を行うのかを設定できます。

1 **パソコンとこの製品を接続します。**

2 **パソコン側のActiveSync画面で、「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。**

設定画面が表示されます。

3 **同期に関する設定を行います。**

同期するアプリケーションの設定など行います。

① 同期するパソコン名(フレンドリ名)が表示されます。
「設定」をクリックするとフレンドリ名の変更やパソコンで設定されている日時をこの製品に同期させることができます。
・パソコンで設定されている日時をこの製品に同期させるときは「接続時にPocket PCの日時を同期する」にチェックをつけて同期操作を行ってください。

② 同期するアプリケーションにチェックをつけます(チェックを外すと同期されません)。

③「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。

ファイルをコピーする

パソコンとこの製品の間で相互にファイルをコピーできます。

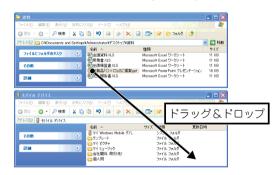
1 **パソコンとこの製品を接続します。**

2 **パソコン側のActiveSync画面で、[エクスプローラ]をクリックします。**

「モバイル デバイス」ウィンドウが開き、この製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

3 **パソコンのウィンドウを表示し、パソコンに保存しているファイルやフォルダを表示します。**

4 **コピーしたいファイルを一方のウィンドウからもう一方のウィンドウにドラッグ＆ドロップします。**

ドラッグ＆ドロップしたファイルがコピーされます。

5 **「モバイル デバイス」ウィンドウの右上の✕をクリックしてウィンドウを閉じます。**

6 **パソコンとこの製品を取り外します。**

MEMO

- パソコンからこの製品を取り外すとドラッグ＆ドロップしてもコピーされません。
- パソコンからこの製品にMicrosoft ExcelファイルやMicrosoft Wordファイルをコピーすると外出先等でもファイルの内容を確認できます。

ファイルを同期する

パソコンのファイルとこの製品のファイルを同期できます。
同期するには、同期フォルダを利用します。

1 パソコンのデスクトップに同期フォルダ（ ）が表示されていることを確認します。

- 同期フォルダ（ ）が表示されていないときは、「同期をするときの設定を行う」（☞5-8ページ）を参照して、 ファイルにチェックを付けて同期設定してください。

2 同期したいファイルを同期フォルダに入れます。

3 この製品とパソコンを接続します。

同期フォルダ内のファイルを同期し、パソコンとこの製品で同じ内容のファイルを持つようになります。

Microsoft WordやMicrosoft Excelなどのファイルを同期するときのご注意

Microsoft WordやMicrosoft Excelは、Word MobileやExcel Mobileに比べて多くの機能を持っています。このため、同期時にパソコン上の同期フォルダ内のWordやExcelファイルからWord MobileやExcel Mobileなどが持っていない機能が削除されます。

- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください（☞5-15ページ）。

お気に入りと同期する

パソコンで表示したホームページやパソコンに取り込んでおいたホームページのURLを、この製品に転送することができます。

1 **パソコンのInternet Explorerの「お気に入り」メニューの中に「モバイルのお気に入り」フォルダが作成されていることを確認します。**

MEMO

- 「モバイルのお気に入り」フォルダが表示されていないときは、「同期をするときの設定を行う」(☞5-8ページ)を参照して、お気に入りにチェックを付けて同期設定してください。

2 **パソコンでホームページを表示し、「お気に入り」メニューの「お気に入りに追加」をクリックします。表示されたお気に入りの追加画面で、「モバイルのお気に入り」をクリックして選択し、[OK]をクリックします。**

MEMO

- お気に入りの追加画面に「モバイルのお気に入り」が表示されていない場合は、お気に入りの追加画面の[フォルダ]をクリックしてフォルダを表示させます。

3 **この製品とパソコンを接続します。**

追加したお気に入りがこの製品に転送されます。
転送されるのは、お気に入りフォルダに追加したホームページのURLのみです。実際にホームページを閲覧するときは、インターネットに接続する必要があります。

MEMO

- パソコンのInternet Explorerの「ツール」メニューの「モバイルのお気に入りの作成」をクリックしても「モバイルのお気に入り」に追加されます。
- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください(☞5-15ページ)。

データ通信

パソコンとこの製品を付属のUSBケーブルで接続すると、この製品をデータ通信機器(モデム)として使ったデータ通信ができます。

この製品では、次のデータ通信方式が利用できます。
・64kPIAFS(ベストエフォート)
・64kPIAFS(ギャランティ)
・32kPIAFS
・フレックスチェンジ方式
・1xパケット方式
・4xパケット方式

●64kPIAFS(ベストエフォート)
ウィルコムが提供する最大通信速度64kbpsのデータ通信方式です。基地局の利用状況や電波の状況により64kbpsと32kbpsをフレキシブルに選択し、切れにくい通信環境を実現する方式です。

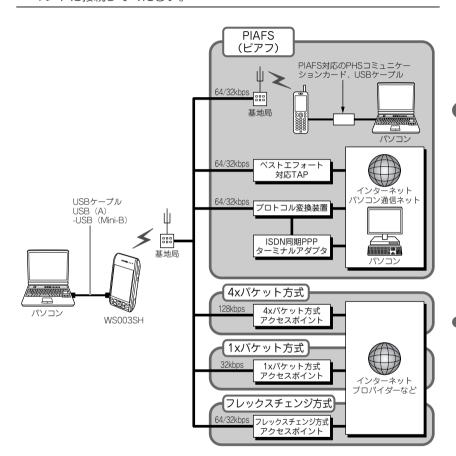
●64kPIAFS(ギャランティ)
64kbps固定のデータ通信方式です。64kbpsの通信が確保できないときは回線を切断します。

●32kPIAFS
PHSの通信標準規格で、最大通信速度32kbpsの通信を行う方式です。

●フレックスチェンジ方式
ウィルコムが提供する1xパケット方式と64kbps(ベストエフォート)の通信方式を送受信するデータ量や通信状況に応じて自動的に切り替える方式です。スムーズな通信環境を実現できます。
ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式専用の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

●1xパケット方式
ウィルコムが提供する最大通信速度32kbpsのパケット通信方式です。情報をパケット(小包)に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。ご利用になるには、ウィルコムの1xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

● **4xパケット方式**

ウィルコムが提供する最大通信速度128kbpsのパケット通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。ご利用になるには、ウィルコムの4xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

ウィルコムのデータ通信に関するお問い合わせ窓口

● この製品から　　局番なしの**157**（無料）

● 一般加入電話／公衆電話から　**0120-921-157**（無料）
（携帯電話・PHSからもかけられます）

受付時間：9:00～21:00（日・祝日も受付）

(2005年11月現在)

5

パソコンとの連携

データ通信

データ通信の準備

パソコンとこの製品をUSBケーブルで接続する前に次の準備が必要です。

①USBモデムドライバをパソコンへインストールする

接続可能なパソコンのOS

- Microsoft Windows XP Professional（Service Pack 1および2）
- Microsoft Windows XP Home（Service Pack 1および2）
- Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack 4）

インストールの方法は、付属のGetting Started CDに収録しているマニュアル「USB_install_manual.pdf」をご覧ください。マニュアルの開き方は、1-55ページをご覧ください。

②この製品の通信方式をモデムに設定する

1 **［スタート］メニューの“設定”にタップします。**
設定画面が表示されます。

2 **設定画面（［システム］タブ）で“ユーティリティ”にタップします。**
ユーティリティ画面が表示されます。

3 **ユーティリティ画面で、［通信モード］タブにタップします。**

4 **「USB接続の設定」欄にタップし、「モデム」を選択します。また、64kbpsPIAFSで通信するときは「64kPIAFS通信の設定」欄で、「ベストエフォート方式」、「ギャランティ方式」のどちらかを選択します。**

「モデム」を選択します。

64kbpsPIAFSで通信するとき、「ベストエフォート方式」または「ギャランティ方式」を選択します。

5 **okにタップし、設定を保存します。**
この製品をデータ通信機器として使用できます。

MEMO

- ActiveSyncを使ってパソコンと同期を行うときは、手順**4**で「ActiveSync（RemoteNDIS）」を選択してください（☞5-4ページ）。

ご注意！

次のようなパソコンでの動作は保証できません。

- 自作パソコン
- OSをアップグレードしたり入れ替えたパソコン
- ご自分で追加したUSBポートをお使いのとき
- USBハブなどを経由した接続のとき
- パソコンにこの製品以外のUSB機器が接続されているとき

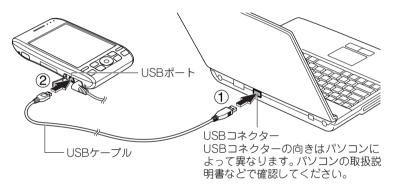
パソコンとこの製品を接続する

ここでは、ドライバをパソコンにインストールしているものとして説明します。

パソコンとこの製品を接続する

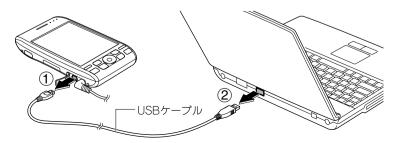
付属のUSBケーブルを使ってパソコンとこの製品を接続します。

1 データ通信ができる設定になっていることを確認します（☞前ページ）。

2 パソコンを起動し、下図のように①②の順でこの製品とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。

- この製品の充電池の消耗を少なくするために、この製品にACアダプターを接続してデータ通信を行うことをおすすめします。

パソコンとこの製品を取り外す

データ通信終了後、以下のようにして取り外します。

1 パソコンを起動したまま、下図のように①②の順でUSBケーブルを外します。

データ通信(発信)を行う

この製品に接続しているパソコンからデータの発信などを行います。

ご注意!

- この製品では、データ(着信)通信はできません。
- ダイヤルロック(通話／通信機能の制限)やW-SIMロックを設定(☞2-105ページ)しているときは、データ通信も利用できません。

1 この製品を接続しているパソコンなどからデータ通信の発信操作を行います。

パソコンなどでアクセスポイントの電話番号を設定するときは、電話番号に続けて次の記号と数字を入力します。

通信方式	電話番号に続けて入力
64kPIAFS(ベストエフォート、ギャランティ)	##4
32kPIAFS	##3
フレックスチェンジ方式	##7
1xパケット方式	##61
4xパケット方式	##64

※64kPIAFSと32kPIAFSの通信方式は、分計発信ができます。
分計発信するときは、電話番号＋記号(##4や##3など)の後に「,01」を追加します(例：03-××××-××××##4,01)。

この製品の画面(タイトルバー)上に、通信中であることを示すアイコンが表示されます。

PF：64kPIAFS(ベストエフォート)

PF：64kPIAFS(ギャランティ)

PF：32kPIAFS

FC：フレックスチェンジ方式

PT：4xパケット方式

PT：1xパケット方式

2 パソコンなどからデータ通信を終了する操作を行います。

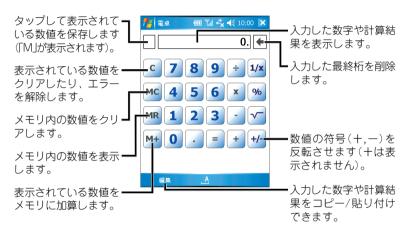
- データ通信を行う前に、この製品にACアダプターを接続するか、この製品の充電池残量が十分であることを確認してください。
- データ通信を行うためのパソコン側のくわしい設定や操作については、パソコンの説明書などをご覧ください。
- 発信者番号通知設定(☞2-103ページ)に関わらず電話番号がアクセスポイントに通知されます。
- データ通信をしたときの電話番号は発信履歴に保存されません。

6　その他の機能

電卓

一般の電卓と同じ操作で9桁までの計算ができます。

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で “電卓”にタップします。**

3 **電卓を終了するときは、 にタップします。**

カードにバックアップする（バックアップツール）

この製品に保存しているデータなどをminiSDカードにバックアップ（保管）したり、保管したデータをこの製品にリストア（復元）したりできます。

ご注意！
- バックアップデータは、1枚のminiSDカード上に１つだけです。1枚のminiSDカードに複数のバックアップデータは作成できません。

以下のデータはバックアップされませんのでご注意ください。

・パスワード
・PINコード

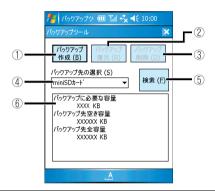
バックアップツールを起動する

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“バックアップツール”にタップします。**

3 **バックアップに必要な容量の計算を行います。**

バックアップツール起動時、この容量の計算を行います。

4 **バックアップに必要な容量の計算が行われたあと、バックアップツール画面が表示されます。**

① バックアップを実行します（☞ 次ページ）。

② バックアップしたデータをリストア（復元）します（☞ 6-6ページ）。
リストアを行うと、リストアを行う前に保存していたデータはすべて削除されますので、十分に注意してからリストアしてください。

③ miniSDカード上のバックアップデータを削除します。

④ miniSDカード装着時、「miniSDカード」が表示されます。保存先は、miniSDカードです。何も表示されないときはminiSDカードが装着されていませんので、装着します。

⑤ バックアップツール起動後、miniSDカードを装着しても④の項目に「miniSDカード」が表示されないときに、カードが装着されているか検索します。

⑥ バックアップに必要な容量や空き領域、メディア上に存在するバックアップデータの状態を表示します。

バックアップする(保管)

1 **バックアップツール画面で、バックアップ作成 にタップします。**
バックアップが始まります。

2 **確認画面が表示されます。**
はい にタップすると手順3に移ります。
いいえ にタップするとバックアップツール画面に戻ります。

3 **「バックアップの作成中…」画面が表示され、バックアップが始まります。**

4 **バックアップが終了すると確認画面が表示されますので、OK にタップし、バックアップツール画面に戻ります。**

ご注意!

- この製品のメモリの空き領域が1MB以下のときは、バックアップできません。不要な画像データなど容量の大きなデータを削除したあと、バックアップしてください。
- 1枚のminiSDカードには1つのバックアップデータしか作れません。バックアップデータを保存しているminiSDカードに新しくバックアップするときは、先に、カードにある古いバックアップデータを削除してください(バックアップデータの削除は前ページの③をご覧ください)。
  バックアップデータを保存したままのminiSDカードには、新たにバックアップはできません。
  古いバックアップデータを残しておきたいときは、miniSDカード内のCEBACKUPフォルダをフォルダごとパソコンなどにコピーします。
  本体データを古いバックアップデータに戻すときは、miniSDカードにCEBACKUPフォルダをコピーした後、次ページをご覧になり、リストア(復元)を行ってください。

リストア する（復元）

バックアップしたデータをこの製品にリストア（復元）します。

ご注意！
- リストアを行うと、この製品に保存していたデータは削除され、リストアデータに置き換わりますのでご注意ください。

1 **バックアップツール画面で、［バックアップ復元］にタップします。**

2 **確認画面が表示されます。**
［はい］にタップすると手順3に移り、リストア（復元）が始まります。
［いいえ］にタップするとバックアップツール画面に戻ります。

3 **「バックアップの復元中」画面が表示され、リストア（復元）が始まります。**

4 **リストア（復元）が終了すると、確認画面が表示されます。**

5 **［ok］にタップします。**

6 **リセット（☞8-2～3ページ）を行います。**
リストア（復元）を完了するためにリセットは、必ず行ってください。

ファイルを管理する（ファイルエクスプローラ）

ファイルエクスプローラを使うと新規にフォルダを作成したり、ファイルやフォルダを移動させるなど、ファイルの管理ができます。
ここでは、ファイルエクスプローラの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

ファイルエクスプローラの使いかた

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面の“ファイルエクスプローラ”にタップします。**

ファイルエクスプローラの画面が表示され、「My Documents」のファイルとフォルダの一覧が表示されます。

ご注意！

● ファイルエクスプローラを使うとWindowsのシステムファイルなどが見られますが、誤って削除したりすると正常に動作しなくなる恐れがあります。

miniSDカードのフォルダやファイルを見る

1 ファイルエクスプローラ画面で「My Documents▼」をタップします。

2 miniSDカードをタップします。

miniSDカード内のフォルダやファイルが表示されます。

ファイルをメールに添付して送る

1 送信したいファイルをタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 電子メールで送信 にタップします。

「アカウントの選択」画面が表示されたときは、添付して送るアカウントをタップして選択します。
ファイルを添付したメールの送信メッセージ作成画面が表示されます。

MEMO

- 送信したいファイルを選択し、画面右下の メニュー － 電子メールで送信 をタップしてもファイルを添付したメールの送信メッセージ作成画面が表示されます。

3 宛先、件名、本文などを入力します。

メールの送信についてくわしくは、「メールを作って送る」(☞2-28ページ)をご覧ください。

新規フォルダを作成する

ここでは「My Documents」フォルダの下に新しくフォルダを作ります。
別の階層にフォルダを作成するときは、「My Documents▼」にタップし、フォルダを選んでください。

1 **ファイルエクスプローラ画面で「My Documents」フォルダを開きます。**

2 **画面右下の メニュー ― 新しいフォルダ にタップします。**

新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。

- ファイルやフォルダのない空白部分にタップしたままにし、ポップアップメニューから 新しいフォルダ にタップしても新しいフォルダが作成されます。

3 **フォルダ名を入力します。**

フォルダやファイルの名前を変更する

1 **名前を変更するファイルやフォルダをタップしたままにします。**

2 **ポップアップメニューから 名前の変更 にタップします。**

MEMO

- 名前を変更するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー ― 名前の変更 をタップしても名前の変更ができます。

3 **名前を変更します。**

- 名前の変更をやめるときは、画面右下の メニュー ― 編集 ― 元に戻す 名前の変更 をタップして、元に戻します。

フォルダやファイルを削除する

1 **削除するファイルやフォルダをタップしたままにします。**

2 **ポップアップメニューから［削除］にタップします。**

削除の確認画面が表示されます。

MEMO

- 削除するフォルダやファイルを選択し、画面右下の［メニュー］－［削除］をタップしても削除の確認画面が表示されます。

3 **［はい］にタップします。**

ご注意！

- **削除の取り消しはできません。**
  フォルダの削除を実行すると、フォルダ内のファイルやフォルダはすべて削除されます。

フォルダやファイルを移動させる

1 **移動させるファイルやフォルダをタップしたままにします。**

2 **ポップアップメニューから［切り取り］にタップします。**

MEMO

- 移動させるフォルダやファイルを選択し、画面右下の［メニュー］－［編集］－［切り取り］をタップしても切り取りができます。

3 **移動先のフォルダをタップし、開きます。**

4 **移動先のフォルダ内をタップしたままにし、ポップアップメニューから［貼り付け］にタップします。**

別の階層に移動させるときは、「My Documents▼」をタップして、フォルダを選んでください。

MEMO

- 移動先のフォルダ内をタップし、画面右下の［メニュー］－［編集］－［貼り付け］をタップしても貼り付けができます。
- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- 「切り取り」したフォルダやファイルを貼り付けず、別のフォルダやファイルを「切り取り」すると、前の「切り取り」は解除されます。
- 移動をやめるときは、画面右下の［メニュー］－［編集］－［元に戻す 移動］をタップして、元に戻します。

フォルダやファイルをコピーする

1 コピーしたいファイルやフォルダをタップしたままにします。

2 ポップアップメニューから コピー にタップします。

MEMO

- コピーするフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー ー 編集 ー コピー をタップしてもコピーできます。

3 コピー先のフォルダをタップし、開きます。

4 コピー先のフォルダ内をタップしたままにし、ポップアップメニューから 貼り付け にタップします。

別の階層にコピーするときは、「My Documents▼」をタップして、フォルダを選んでください。

MEMO

- コピー先のフォルダ内をタップし、画面右下の メニュー ー 編集 ー 貼り付け をタップしても貼り付けができます。
- コピー元と同じ階層に「コピー」するとファイルやフォルダ名に「コピー～」が追加されます。
- コピーをやめるときは、画面右下の メニュー ー 編集 ー 元に戻す コピー をタップして、元に戻します。

ファイルエクスプローラのメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">My Documents</td><td>「My　Documents」のファイルとフォルダの一覧を表示する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">パスを開く</td><td>ネットワーク上の共有フォルダを開く。</td></tr>
<tr><td colspan="2">電子メールで送信</td><td>タップすると選択しているファイルを添付したメッセージ作成画面を表示する（☞6-8ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">最新の情報に更新</td><td>最新の状態に更新する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">すべてのファイルを表示</td><td>すべてのファイルを表示する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">新しいフォルダ</td><td>新しいフォルダを作成する（☞6-9ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">名前の変更</td><td>フォルダやファイルの名前を変更する（☞6-9ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">削除</td><td>フォルダやファイルを削除する（☞6-10ページ）。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">編集メニュー</td><td>元に戻す</td><td>フォルダやファイルのコピー、名前の変更、移動の操作を元に戻す。</td></tr>
<tr><td>切り取り</td><td>フォルダやファイルを切り取る（☞6-10ページ）。</td></tr>
<tr><td>コピー</td><td>フォルダやファイルをコピーする（☞6-11ページ）。</td></tr>
<tr><td>貼り付け</td><td>コピーおよび切り取ったフォルダやファイルを貼り付ける（☞6-10、6-11ページ）。</td></tr>
<tr><td>ショートカットの貼り付け</td><td>コピーしたフォルダやファイルのショートカットを貼り付ける。</td></tr>
<tr><td>すべて選択</td><td>すべてのフォルダやファイルを選択する。</td></tr>
</table>

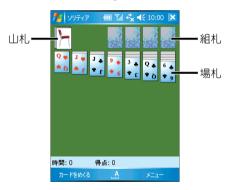
ゲームで遊ぶ（ソリティア／Bubble Breaker）

ソリティアとBubble Breakerの2つのゲームを楽しむことができます。
くわしくは、それぞれのゲームのヘルプをご覧ください。

ソリティア

山札のカードを使い切り、すべてのカードを組札に積み重ねるゲームです。
組札には、エースからキングまで、同じマークのカードを数字の小さい順に積み重ねていきます。

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“ゲーム”の“ソリティア”にタップします。**

3 **画面左下の カードをめくる をタップして山札をめくります。**

山札をタップしても山札をめくります。

4 **場札に赤と黒のカードを交互に数字が小さくなるように積み重ねながら、組札にエースを移動し、同じマークのカードを数字の小さい順に積み重ねていきます。**

・組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。
・移動したカードを元に戻すときは、画面右下の メニュー ー 元に戻す にタップします（直前のプレイを取り消せます）。
・移動できるカードがなくなると終了です。
画面右下の メニュー ー 新しいゲーム をタップすると、もう一度最初からゲームを始められます。

ゲームのルール／カードの模様を変更する

画面右下の メニュー ー オプション で以下の設定が変更できます。

ゲームのルール タブ

・カード（山札）のめくりかたは、「1枚ずつ」／「3枚ずつ」から選べます。
・得点の付けかたは、「点数方式」／「金額方式」／「なし」から選べます。
「金額方式」を選択したときのみ「次のゲームに得点を繰り越す」にチェックをつけられます。
・「時間制」や「得点表示あり」のチェックをはずすと、時間や得点の表示はされません。

カードの模様 タブ

・カードの模様を変更できます。
変更したいカードの模様をタップします。
変更が終わったら ok をタップしてください。

Bubble Breaker

泡（バルーン）を消すゲームです。
1度にたくさんの泡（バルーン）を消すと高得点になります。

1 スタート メニューの“プログラム”にタップします。

2 プログラム画面で“ゲーム”の“Bubble Breaker”にタップします。

3 消したいブロックをタップします。

消せるブロックが線で囲われ、得られる得点が表示されます。

4 もう一度消したいブロックをタップします。

ブロック内の泡（バルーン）が消え、得点が表示（加算）されます。

・消したブロックを元に戻すときは、画面左下の ゲーム － 元に戻す 移動 にタップします（直前のプレイを取り消せます）。

・消せるブロックがなくなると終了です。
画面左下の ゲーム － 新しいゲーム をタップすると、もう一度最初からゲームを始められます。

MEMO

● **ゲームの遊びかたを変更する**
画面左下の ゲーム － オプション でゲームの遊びかたを変更することができます。
・ゲームのスタイルは「標準」、「継続」、「メガシフト」などから選べます。
・バルーン（泡）の色は「カラー」、「グレースケール」が選べます。
変更が終わったら ok をタップしてください。

● **成績を確認する**
画面右下の 情報 － 成績表 でゲームの成績を確認できます。
確認が終わったら ok をタップしてください。

Java™アプリ

この製品には、Javaアプリケーションを実行するためのJava実行環境「JBlend™」が搭載されています。
ゲームなどのJavaアプリケーションを、インターネットからダウンロードしたり（☞2-89ページ）、パソコンやminiSDカードからコピーして（☞5-9、6-11ページ）、この製品で利用できます。
ダウンロード後、インストールしてください。インストールの方法はダウンロード先などを確認してください。

Javaアプリケーションを起動する

1 **スタートメニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“Java™アプリ”にタップします。**
Javaアプリケーションの一覧画面が表示されます。

3 起動したいJavaアプリケーションに2回タップします。

Javaアプリケーションが起動されます。
使用方法は、Javaアプリケーションのヘルプなどをご覧ください。

- この実行環境は、「J2ME CLDC-1.1 MIDP-2.0」に準拠しています。
- 画面右下の メニュー － アプリケーション － 削除 などでアプリケーションを削除するとアプリケーションを起動することはできませんが、元のファイル（インターネットなどからダウンロードしたファイル）はメモリに残っています。
- 本体メモリなどの容量を空けるときや不用になったときは、ダウンロードしたファイルもファイルエクスプローラを起動して削除します（ファイルによっては有料のものもありますので、削除にはご注意ください）。
  ダウンロードしたファイルを削除し再度インストールする場合は、ファイルを再度ダウンロードしてください。

Java™アプリのメニュー

アプリケーション	**削除**	選択しているJavaアプリケーションを削除する。
	すべて削除	表示されているJavaアプリケーションを全て削除する。
	パーミッション	ネットワークに接続する前に確認画面を出す／出さないなどを設定する。
	情報	選択しているJavaアプリケーションのファイル情報などを表示する。
Java設定		Javaアプリケーションの使用中、常にバックライトを点灯するか設定する。
Java情報		バージョン情報を表示する。
終了		Java™アプリ（Java実行環境）を終了する。

7 設定

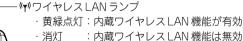
ワイヤレスLAN接続のための設定をする

内蔵のワイヤレスLANを使用して、社内ネットワークに接続したり、ワイヤレスLANサービスを提供している店舗などからインターネットにアクセスしたりするための設定について説明します。
ここでは、基本的な設定のしかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

- 各項目に文字を入力するときは、大文字・小文字・全角・半角は区別されますので、英数字や記号を入力する際は注意してください。
  また、数字の「0」(ゼロ)と英語の「O」(オー)、数字の「1」と英字の「l」などの区別も確認してください。
- 内蔵ワイヤレスLANが有効またはフライトモード(☞7-5ページ)では、この製品は温かくなりますが故障ではありません。
- 充電池の残量が少なくなるとワイヤレスLANは使用できません。

ワイヤレスLANを使えるようにする

内蔵ワイヤレスLANが有効か確認する

ワイヤレスLANで通信するためには、内蔵ワイヤレスLAN機能を有効(オン)にする必要があります。
内蔵ワイヤレスLAN機能が有効(オン)になっているかどうかは、ワイヤレスLANランプまたはタイトルバーの や アイコンで確認します。

MEMO

- ワイヤレスLANを使用しない場合は、無効(オフ)にすることをおすすめします(☞7-4ページ)。有効(オン)のままにしておくと通常より充電池を消耗し、動作時間が短くなります。

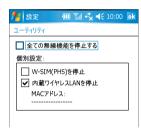
内蔵ワイヤレスLANを有効(オン)にする

内蔵ワイヤレスLANを有効にする前に、7-6ページをご覧になりIPアドレスなどの設定を行います。

1 スタート メニューの“設定”にタップします。

設定画面が表示されます。

2 設定画面で システム タブにタップし、“ユーティリティ”にタップします。

3 ユーティリティ画面の 無線ON/OFF タブにタップします。

4 「全ての無線機能を停止する」のチェックを外し、「内蔵ワイヤレスLANを停止」のチェックを外して ok にタップします。

5 ワイヤレスLANランプが点灯します。また、タイトルバーに が表示され、近くのアクセスポイントを自動的に検出します。

6 近くにアクセスポイントがあるときは、しばらくするとタイトルバーに が表示され、画面下部に「ネットワークが検出されました」のメッセージと検出したアクセスポイントを表示します。

7 手順6で画面下部に「ネットワークが検出されました」のメッセージと検出したアクセスポイントのウィンドウが消えているときは、タイトルバーの にタップしさらに にタップすると再度表示されます。

8 アクセスポイントを選択して、画面左下の OK にタップします。

7
設定
ワイヤレスLAN接続

9 画面下部の表示が「ネットワークの接続先」になり、「インターネット設定」または「社内ネットワーク設定」を選択し、接続 にタップします。

10 ネットワークキーが必要な場合は、ネットワークキーの入力画面が表示されますので、ネットワークキーを入力します。ネットワークキーはアクセスポイントに設定されているキーと同じものを入力します。社内ネットワークに接続するときは、ネット管理者にご確認ください。

11 画面左下の接続にタップします。

タイトルバーのアイコンが になり、ネットワークに接続した状態になります。

内蔵ワイヤレスLANを無効(オフ)にする

ワイヤレスLANを使用しない場合は、内蔵ワイヤレスLAN機能を無効(オフ)にすることをおすすめします。

内蔵ワイヤレスLAN機能が有効(オン)またはフライトモード(☞次ページ)の状態では、通常より充電池を消耗し、動作時間が非常に短くなります。

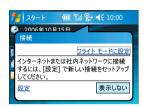
1 前ページと同様に、ユーティリティ画面(無線ON／OFF タブ)を表示します。

2 「個別設定」内の「内蔵ワイヤレスLANを停止」にチェックを付け、okにタップします。

3 ワイヤレスLANランプが消灯します。また、タイトルバーのが消えます。

フライトモードに設定する

使用が禁止されている場所で、一時的に内蔵ワイヤレスLAN機能を使用できなくします。これをフライトモードと呼びます。
ただし、この設定は、前ページのように無効(オフ)になっていないため、充電池は消耗していますのでご注意ください。無効にするときは前ページをご覧になり設定してください。

1 タイトルバーの にタップします。
ウィンドウが表示されます。

2 ウィンドウの フライトモードに設定 にタップします。

3 ウィンドウが消えます。
これで、フライトモードに設定されました。フライトモードになっても、タイトルバーには内蔵ワイヤレスLANのアイコンは表示され、ワイヤレスLANのランプは点灯しています。

MEMO
- パワーマネージメント画面(ワイヤレス タブ)で、「ワイヤレスシグナルオフ(フライトモード)」のラジオボタンにチェックを付け、okにタップしても、フライトモードになります。

フライトモードを解除する

1 タイトルバーの にタップします。
ウィンドウが表示されます。

2 ウィンドウの フライトモードを解除 にタップします。

3 ウィンドウが消えます。
これで、フライトモードが解除されました。

MEMO
- パワーマネージメント画面(ワイヤレス タブ)で、「ワイヤレスシグナルオン」のラジオボタンにチェックを付け、okにタップしても、フライトモードが解除されます。

既存のアクセスポイントに接続する

IPアドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う

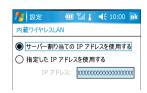
まず最初にIPアドレスとネームサーバーの設定、さらに必要に応じて社内ネットワークに接続するためのプロキシサーバーの設定を行います。

1 **設定画面（接続タブ）で、“ネットワークカード”にタップします。**

2 **ネットワークアダプタの構成画面で、次の①と②を行います。**
①「ネットワークカードの接続先」を選択します。
②「内蔵ワイヤレスLAN」にタップします。

3 **表示された画面で、IPアドレスの設定を行います。**

・DHCPサーバーを使用する場合は、「サーバー割り当てのIPアドレスを使用する」にチェックを付けます。

・固定のIPアドレスを使用する場合は、「指定したIPアドレスを使用する」にチェックを付け、IPアドレスやサブネットマスクなどを入力します。

4 ネームサーバー タブにタップし、DNS サーバーアドレスおよびWINSサーバーアドレスの情報を入力します。

MEMO
- サーバーアドレスについては、ネットワーク管理者にご確認ください。
- 通常、ご自宅のアクセスポイントなどに接続するときは、手順**3**で「サーバー割り当てのIPアドレスを使用する」にチェックを付け、ネームサーバーには何も入力しません。

5 okにタップします。

「アダプタ」のメッセージ画面が表示されます。

6 okにタップします。

「ネットワークアダプタの構成」画面に戻ります。

7 okにタップします。

設定画面（接続 タブ）に戻ります。
通常、ご自宅のアクセスポイントなどに接続するときは、手順**7**で終了です。

8 設定画面（接続 タブ）で、“接続”にタップします。

9 接続画面（設定 タブ）で、「プロキシサーバーの設定」にタップします。

10 表示された画面で、「このネットワークをインターネットに接続する」にチェックを付けます。

11 さらに「プロキシサーバーを使用してインターネットに接続する」にチェックを付け、プロキシサーバーを入力します。
必要に応じて、詳細設定 にタップし、HTTPプロキシサーバーのポートやユーザー名、パスワードを入力します。

12 okに数回タップし、設定画面（接続 タブ）に戻ります。

ネットワークに接続する

IPアドレス、ネームサーバーの設定やプロキシサーバーの設定を行ったのち、ネットワークに接続します。

1 **設定画面（接続タブ）で、“ネットワークカード”にタップします。**

2 **ワイヤレスタブが選択されていることを確認します。**

近くにワイヤレスLANアクセスポイントを検出した場合は、ネットワーク名（SSID）が表示されます。

3
- **一度、すべての設定を行いネットワークに接続したことがあるときは、上の画面でネットワーク名にタップしたままにして表示されたメニューから接続にタップします。**
- **これから設定を行うときは、次ページ以降をご覧になり設定します。**

- 内蔵ワイヤレスLANを有効にしている状態で電源を切った場合は、電源を入れて約5秒以内には電源を切らないようにしてください。
- 上記画面で「接続中」と表示されているときは、接続を試みている状態です。また、「接続済」と表示されると接続が確立されていることを示します。

・検出したアクセスポイントを利用するときは、その名前にタップします。

・新しい設定を行うときやアクセスポイントを検出しなかったときは、「新しい設定の追加」にタップし、ネットワーク名を入力します。

チェックがないことを確認します（インフラストラクチャ通信）。アクセスポイントを使用しないアドホック通信を利用する場合は、チェックをつけます。

アクセスポイントに設定されているネットワーク名を入力します。

社内のネットワークに接続する場合は、「社内ネットワーク設定」を選択します。自宅などからプロバイダーに接続する場合は、「インターネット設定」を選択します。

MEMO

● **ワイヤレスLANの通信形態について**

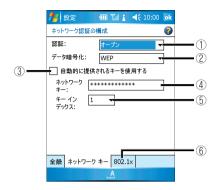
ワイヤレスLANの通信形態には、次の2つがあります。

・**インフラストラクチャ通信**

ワイヤレスLANアクセスポイントを介して通信します。

・**アドホック通信**

ワイヤレスLANアクセスポイントを介さず、ワイヤレスで接続できる機器同士で直接通信を行います。

5 ネットワークキー タブにタップし、セキュリティ関連の設定を行います。

① ワイヤレスLANアクセスポイントの設定に合わせて認証方式を選択します。

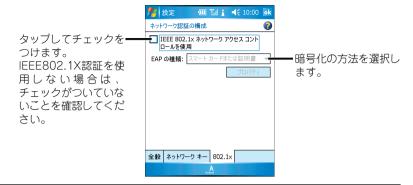
② ワイヤレスLANアクセスポイントの設定に合わせて暗号化方式を選択します。
ワイヤレスLANアクセスポイント側でネットワークキー(WEPキー)が設定されている場合は、「WEP」を選択します。また、ネットワークキーが設定されていない場合は、「無効」を選択します。
※①認証で「WPA」または「WPA-PSK」を選択している場合は、「TKIP」を選択します。

③ ネットワークキーを入力するときなどは、チェックを外し④のネットワークキーを入力します。

④ ワイヤレスLANアクセスポイントの設定に合わせて「ネットワークキー」を入力します。

⑤ ワイヤレスLANアクセスポイントの設定に合わせて「キーインデックス」を選択します。

⑥ ワイヤレスLANアクセスポイントの設定に合わせて、IEEE802.1X認証を使用する設定になっている場合は、タップして設定します。

ご注意！

- 通信データを暗号化するためにネットワークキー（WEPキー）を設定されることを強く推奨します。
  ネットワークキー（WEPキー）を設定していない場合、ワイヤレスLAN機能を搭載した装置からこの製品を検索できるため、データを盗まれたり、データを破壊されたりする危険性があります。

6 okにタップします。

「ワイヤレスネットワークの構成」画面に戻ります。
新しく作ったネットワーク名にタップしたままにして表示されたメニューから 接続 にタップすると、ネットワークに接続します。

インターネットへの接続設定をする

既に加入しているインターネットプロバイダーを使用して、インターネットに接続するための設定や社内ネットワークに接続するための設定について説明します。
ここでは、基本的な設定のしかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

- ご購入時、すでに「既定のインターネット設定」の中に「CLUB AIR-EDGE-0」が入っています。これは、オンラインサインアップ（☞2-26ページ）するときに使用する設定です。この設定を使ってメールの送受信などはできません。
- 各項目に入力するときは、大文字・小文字・全角・半角は区別されますので、英数字や記号を入力する際は注意してください。
  また、数字の「0」（ゼロ）と英語の「O」（オー）、数字の「1」と英字の「l」などの区別も確認してください。

インターネットプロバイダーへの接続設定をする

アクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワードなどが記載されているプロバイダーからの資料をお手元にご用意ください。

1 スタート メニューの“設定”にタップします。

設定画面が表示されます。

2 設定画面で 接続 タブの“接続”にタップし、「既定のインターネット設定」の「新しいモデム接続の追加」にタップします。

新しい接続画面が表示されます。

MEMO

- オンラインサインアップ（☞2-26ページ）を行った後、ご自分でご入会しているプロバイダーの情報を設定するときは、「既定のインターネット設定」ではなく「センタ名称設定」になっています。
  この設定を切り替えるときは、接続画面（詳細設定タブ）（☞7-18ページ）で、ネットワークの選択 にタップし、インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法の項目にタップして切り替えます。

3 接続名を入力し、さらに「モデムの選択」を「W-SIM」にして、次へ をタップします。

ご注意！

- 「モデムの選択」は「W-SIM」を選択してください。これ以外のものを選択しても接続できません。

4 接続先のアクセスポイントの電話番号を入力し、次へ にタップします。

MEMO

- ご利用の通信速度、通信手段により、アクセスポイントの電話番号の後に記号（##4や##7など）の入力が必要となります。
  詳しくは、ご利用のプロバイダーにご確認ください。
- インターネット接続時に分計発信を行う場合は、アクセスポイントの電話番号＋記号（##4や##7など）の後に追加します。
  例）通常発信の場合：03-5204-XXXX##4
  　　分計発信の場合：03-5204-XXXX##4, 01

5 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、詳細設定 にタップします。

- 「ユーザー名」、「パスワード」を入力しておくと便利ですが、この製品を紛失した場合、他人にメールを読まれたり、通信料金を請求されたりするおそれがあります。
  接続するたびに「ユーザー名」、「パスワード」を入力したいときは、「ユーザー名」、「パスワード」欄を空欄にしておきます。
- 「ユーザー名」や「パスワード」をまちがえて入力すると、プロバイダーに接続できません。よく確かめて入力してください。
- 「ユーザー名」、「パスワード」は各プロバイダーによって呼びかたが異なります。下表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	PPPログイン名、ログイン名、ユーザー名、アカウント、アカウントID、接続ID、ID番号、接続アカウント、ダイヤルアップログイン名、認証ID、ユーザーID
パスワード	PPPパスワード、パスワード、接続パスワード、認証パスワード、ダイヤルアップパスワード、初期パスワード、IDパスワード

6 TCP／IP タブにタップします。

7 サーバー タブにタップし、サーバーの設定を行います。

・DNSサーバーを自動的に取得する場合は「サーバー割り当てのネームサーバーアドレス」を選択します。

・DNSサーバーを入力する場合は「指定されたサーバーアドレス」を選択し、プライマリDNS、セカンダリDNSを入力します。

- セカンダリDNSサーバーがないプロバイダーの場合は、「セカンダリDNS」の欄は空欄にします。
- 「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」は各プロバイダーによって呼びかたが異なります。下表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
プライマリDNS	ネームサーバー1、Domain Name Server(1)、ドメインネームサーバー、DNSサーバー、DNS、プライマリDNSサーバー
セカンダリDNS	ネームサーバー2、Domain Name Server(2)、セカンダリDNSサーバー

8 okにタップします。

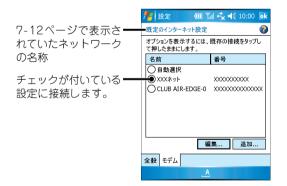
手順5の「ユーザー名／パスワードの入力」画面に戻ります。

9 画面右下の 完了 にタップします。

接続の画面に戻ります。

10 「既存の接続を管理」にタップします。

作成した設定が表示されます。

作成した設定のラジオボタンにチェックを付けます。チェックが付いている設定に接続します。

この設定を使ってインターネットに接続するときは、次ページの「作成した設定を使ってインターネットに接続する」をご覧ください。

作成した設定を使ってインターネットに接続する

■Internet Explorer Mobileやメールの送受信を行い接続する

・ホームページを見るときは、スタート メニューの“Internet Explorer”をタップしてアドレスバーにURLを入力し、（移動ボタン）をタップすると（☞ 2-83ページ）、作成した接続設定を使って自動的にインターネットに接続します。

・インターネットメールの送受信を行うと（☞ 2-28～29ページ）、作成した接続設定を使って自動的にインターネットに接続します。

■「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」画面からインターネットに接続する

1 設定画面で接続タブの“接続”にタップします。

2 「既存の接続を管理」にタップします。

「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」画面が表示されます。

3 接続設定の名前にタップしたままにして表示されたメニューから 接続 にタップします。

● 接続設定を複数作成したときは、作成した接続先のいずれかを選択します。

インターネット接続設定を変更する

1 設定画面で[接続]タブの“接続”にタップします。

2 「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」の「既存の接続を管理」にタップします。

「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」画面が表示されます。

3 変更する接続名を選択し、[編集]にタップします。

4 設定内容を変更します。

画面右下の[次へ]にタップすると、電話番号の入力画面などに移ります。

- 「パスワード」の項目は「*」が表示されており、実際に設定したパスワードとは違う文字数になっています。

インターネット接続設定を削除する

1 設定画面で[接続]タブの“接続”にタップします。

2 「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」の「既存の接続を管理」にタップします。

「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」画面が表示されます。

3 削除する接続名をタップしたままにし、[削除]にタップします。

ご注意!

- 削除の取り消しはできません。接続設定は削除されます。

接続画面(詳細設定タブ)について

詳細設定タブでは、新しいネットワークを作成したり、イントラネットアドレスの例外設定ができます。

① ネットワークを選択します。
タップするとネットワーク管理画面が表示され、ご購入時にある「既定のインターネット設定」、「既定の社内ネットワーク設定」が表示されます。

新しいネットワーク設定を作成するときは、追加にタップします。表示された全般タブで名称を入力して ok にタップし、さらに ok にタップします。接続画面の設定タブをクリックすると、入力したネットワークの名称に変わります。モデムタブの入力は、7-12ページの手順**2**以降をご覧になり新しい接続を作成します。また、プロキシの設定タブの入力は7-22ページをご覧になりプロキシの設定を行います。

② ご購入時、ダイヤル情報を使用しない設定になっています(この製品ではダイヤル情報を使用しません)。

③ イントラネットアドレスでピリオド(.)が使用されている例外アドレスを設定します。

社内ネットワークへの接続設定をする

ダイヤルアップ接続用アクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワードおよびTCP／IP設定に関する情報などをネットワーク管理者に確認してください。

1 **設定画面で[接続]タブの“接続”にタップします。**

2 **「既定の社内ネットワーク設定」の「新しいモデム接続の追加」にタップします。**

新しい接続画面が表示されます。
以降は、「インターネットプロバイダーへの接続設定をする」(☞7-13ページ)の手順**3**〜**9**と同じ操作をして、社内ネットワークに接続する設定をしてください。

社内ネットワーク接続設定を変更する

1 **設定画面で[接続]タブの“接続”にタップします。**

2 **「既定の社内ネットワーク設定」の「既存の接続を管理」にタップします。**

「既定の社内ネットワーク設定」画面が表示されます。

3 **変更する接続名を選択し、[編集]にタップします。**

4 **設定内容を変更します。**

画面右下の[次へ]にタップすると、電話番号の入力画面などに移ります。

- 「パスワード」の項目は「＊」が表示されており、実際に設定したパスワードとは違う文字数になっています。
- **社内ネットワーク接続設定を削除する**
  手順**3**で削除する接続名をタップしたままにし、[削除]にタップします。
  なお削除の取り消しはできません。

VPNサーバーへの接続設定をする

TCP／IP設定およびVPNサーバーのホスト名／IPアドレスなどの情報をネットワーク管理者に確認してください。

1 **設定画面で 接続 タブの“接続”にタップします。**

2 **「既定の社内ネットワーク設定」の「新しいVPNサーバー接続の追加」にタップします。**

新しい接続画面が表示されます。

3 **名前およびホスト名またはIPアドレスを入力し、画面右下の 次へ にタップします。**

VPNの種類でIPSec／L2TPを選択した場合は、手順**4**に進んでください。
PPTPを選択した場合は、手順**5**に進んでください。

4 **IPSec／L2TPの接続の認証方法を選択し、画面右下の 次へ にタップします。**

5 **「ユーザー名」、「パスワード」を入力します。**

接続先や詳細設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

6 **詳細設定 にタップし、TCP/IP、サーバーの設定を行い OK にタップします。**

手順**5**の画面に戻ります。

7 **画面右下の 完了 にタップします。**

接続画面に戻ります。

8 **ok にタップします。**

VPNサーバーに接続する

1 設定画面で接続タブの“接続”にタップします。

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「既存の接続を管理」にタップします。

「既定の社内ネットワーク設定」画面が表示されます。

3 VPN タブにタップします。

4 作成した接続設定にタップしたままにして表示されたメニューから 接続 にタップします。

VPNサーバーに接続します。

MEMO

- 手順**2**で「既定の社内ネットワーク設定」の「VPNサーバーの編集」にタップしても手順**3**の画面が表示されます。

VPNサーバー接続設定を変更する／削除する

1 設定画面で 接続 タブの“接続”にタップします。

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「既存の接続を管理」にタップします。

「既定の社内ネットワーク設定画面」が表示されます。

3 VPN タブにタップします。

4
・変更するときは、変更するVPNを選択し、画面右下の 編集 にタップして、設定内容を変更します。
・削除するときは、削除するVPN接続名をタップしたままにし、削除 にタップします。

ご注意！

- 削除の取り消しはできません。接続設定は削除されます。

プロキシサーバーを設定する

プロキシサーバーの設定をします。

1 設定画面で 接続 タブの“接続”にタップします。

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「プロキシサーバーの設定」にタップします。

● 既に設定されている場合は、「プロキシサーバーの編集」にタップします。

3 プロキシサーバー名、サーバーの種類、ポートなどをネットワーク管理者、またはインターネットプロバイダーに確認して設定してください。

使用環境を設定する

着信音や待ち受け画面（Today画面）など、使いやすいようにこの製品の環境を設定します。
スタート メニューの “設定”にタップすると、設定画面が表示されます。
設定画面には3つのタブがあり、以下の項目が設定できます。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

◇ 個人用タブ ◇

◇ システムタブ ◇

◇ 接続タブ ◇

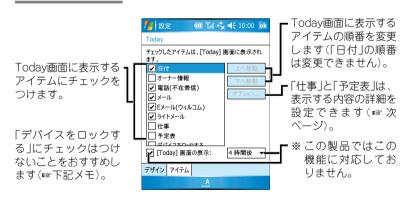
待ち受け画面(Today画面)を設定する

壁紙などを設定して、自分だけの待ち受け画面(Today画面)を作成できます。

1 スタート メニューの “設定”にタップして “Today”にタップします。

2 Today画面に関する設定を行います。

◇ デザイン タブ ◇

◇ アイテム タブ ◇

MEMO

- この製品をロックするときは、デバイスロックではなくキーロック(☞1-7ページ)を使われることをおすすめします。デバイスロックをすると、電話がかかってきたときにデバイスロックを解除しないと電話に出ることができません。

3 設定が終わったら、ok にタップします。

Today画面に表示する「仕事」と「予定表」の内容を設定する

アイテム タブ画面で「仕事」または「予定表」にタップしてから、オプション にタップして設定します。

◇ 仕事 ◇

◇ 予定表 ◇

7 設定

各種設定

オーナー情報を設定する

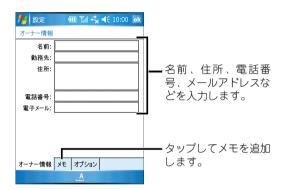
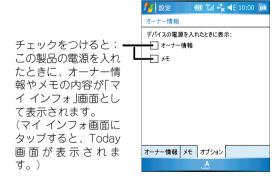
オーナー情報を入力します。

1 **[スタート]メニューの "設定"にタップします。**

2 **[個人用]タブにある "オーナー情報"にタップします。**

オーナー情報の設定画面が表示されます。

3 **オーナー情報に関する設定をします。**

◇ [オーナー情報]タブ ◇

◇ [オプション]タブ ◇

4 **設定が終われば、 ok にタップします。**

パスワードを設定する

電源を入れたときにパスワードの入力画面を表示して、この製品を他人が使えないように設定します。

1 スタート メニューの "設定"にタップします。

2 個人用 タブにある"パスワード"にタップします。

パスワード設定画面が表示されます

3 パスワードなどを設定します。

チェックをつけると：電源をオフしてから設定時間が経過すると、次に電源オンしたときにパスワードの入力が必要になります。

パスワードを忘れたときにヒントになる言葉を入力します。パスワードを4回間違えると入力したヒントが表示されます。

パスワードの種類を設定します。
- ・4桁の簡易パスワード(4桁の数字)
- ・強力な英数字のパスワード(7文字以上の半角英数字と記号)

4 設定が終われば、ok にタップします。

5 確認画面で、はい にタップします。

ご注意!

- パスワードは忘れないようにしてください。登録したパスワードを忘れると、この製品を使えなくなります。パスワードは控えておいてください。
- パスワードを忘れてしまったときは、完全消去(フォーマット)(☞8-7ページ)が必要になります。完全消去すると、この製品に入っているデータなどはすべて消去されます。
- キーロック(☞1-7ページ)を設定しているときはパスワードの入力もできません。キーロックを解除してからパスワードを入力してください。

MEMO

- パスワードを設定すると、パスワード画面を表示するときもパスワードの入力が必要です。

ボタンを設定する

この製品のボタンに割り当てるプログラムや機能を設定します。

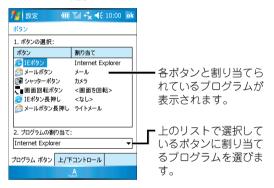
1 **スタート メニューの “設定”にタップします。**

2 **個人用 タブにある “ボタン”にタップします。**

ボタン設定画面が表示されます。

3 **表示部の下にあるボタンに割り当てるプログラムやキー操作などを設定します。**

◇ **プログラムボタン タブ** ◇

「1.ボタンの選択」から設定／変更したいボタンを選択し、「2.プログラムの割り当て」から割り当てるプログラムを選択します。

◇ **上／下コントロール タブ** ◇

カーソル ボタンを押したときスクロールを開始するまでの時間や移動速度、ならびに、キー入力時のリピートを開始するまでの時間やリピート速度を変更します。

4 **設定が終われば、 ok にタップします。**

スタートメニューを設定する

スタートメニューに表示するプログラムを設定します。

1 **スタート メニューの “設定”にタップします。**

2 **個人用 タブにある“メニュー”にタップします。**

メニュー設定画面が表示されます。

3 **スタートメニューに表示したいプログラムなどにチェックをつけます(7つまで)。**

チェックをつけていないアイテムは、プログラム画面(☞1-20ページ)に表示されます。

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

7 設定

各種設定

単語登録や入力の設定をする

よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。

1 **スタートメニューの “設定”にタップします。**

2 **個人用タブにある“入力”にタップします。**

入力設定画面が表示されます。

3 **よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。**

◇ 入力方法タブ ◇

単語の登録と手書き入力パネルの設定をします。

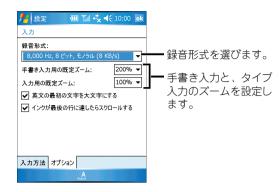
それぞれの入力方法から、以下のオプションが設定できます。

・ひらがな／カタカナ：単語の登録（☞次ページ）
・ローマ字／かな　　：単語の登録（☞次ページ）
・手書き検索　　　　：「左手」（手書き入力枠が左になる）設定
・手書き入力　　　　：「左手」（手書き入力枠が左端になる）設定、「3つの入力ボックス」（手書き入力枠が3つになる）設定、「タイムアウトを使用」（手書きした文字が設定した秒数で消える）設定「タイムアウト値」（手書きした文字が消える秒数を入力）

MEMO

●手書き入力の設定についてくわしくは1-47〜48ページをご覧ください。

◇ オプション タブ ◇

録音形式や入力の詳細設定をします。これらの設定は、録音や手書きをサポートしているメモなどのプログラムに適用されます。

● 手書き入力のズームを大きくすると、手書きエリアに表示される罫線の幅が変わり、大きい文字が手書きできるようになります。

4 設定が終われば、ok にタップします。

よく使う単語を辞書に登録する

よく使う単語を辞書に登録します。

1 スタート メニューの “設定”にタップします。

2 個人用 タブにある“入力”にタップします。

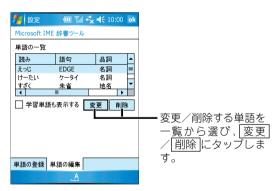
入力設定画面が表示されます。

3 「入力方法」欄で ▼ にタップして「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」を選択し、オプション をタップします。

辞書登録画面が表示されます。

登録している単語の一覧を表示します。

4 読み、変換後の語句、その品詞を入力／設定して、登録 にタップします。

5 登録した単語を変更／削除する場合は、単語の編集 タブにタップします。

- この製品には、変換した語を記憶する学習機能があります。
  学習された語は、次回の変換で優先的に表示されます。
  変換ミスなどで誤った語が学習されてしまったときなどは、「学習単語も表示する」にチェックをつけて一覧に表示し、変更や削除をします。

6 設定が終われば、ok にタップします。

音と通知を設定する

アラームや画面のタップ音の設定などをします。

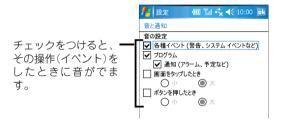
1 **スタート メニューの “設定”にタップします。**

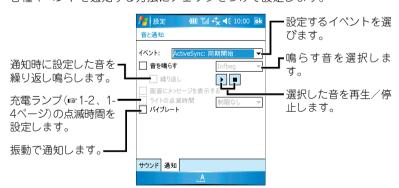
2 **個人用 タブにある “音と通知”にタップします。**

音と通知設定画面が表示されます。

3 **音や通知に関する設定をします。**

◇ サウンド タブ ◇

アラームや画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。

◇ 通知 タブ ◇

各種イベントを通知する方法にチェックをつけて設定します。

4 **設定が終われば、 ok にタップします。**

MEMO

- サウンド タブで「プログラム」の「通知(アラーム、予定など)」のチェックを外している場合、通知 タブで「音を鳴らす」にチェックをつけていても音は鳴りません。サウンド タブでは、「通知(アラーム、予定など)」のチェックはつけておいてください。

7 設定

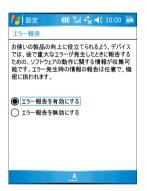
各種設定

エラー報告をする／しないを設定する

この製品を使っているときに発生したエラー内容を、マイクロソフト株式会社に報告する／しないを設定します。

1 **スタート メニューの “設定”にタップして、 システム タブにタップします。**

2 **“エラー報告”にタップします。**
画面が表示されます。

3 **「エラー報告を有効にする」、または「エラー報告を無効にする」にタップします。**

4 **設定が終われば、 ok にタップします。**

- エラー報告のために「お詫び」画面が表示されたとき、この画面内に「特別な費用はかかりません」のメッセージが出ますが、情報を送信するための通信費は別途必要となります。

バックライトを減光(最小輝度)するまでの時間を設定する

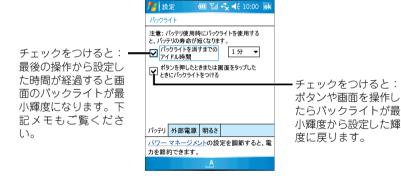
画面のバックライトを減光(最小輝度)するまでの時間を設定します。
バックライトが最小輝度になるとキーボードのバックライトは消灯します。

1 **スタート メニューの "設定"にタップして、システム タブにタップします。**

2 **"バックライト"にタップします。**
バックライト設定画面が表示されます。

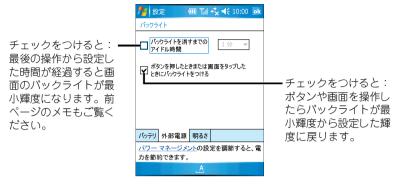
3 **バックライトに関する設定をします。**

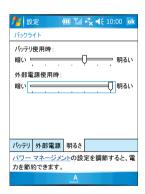
◇ バッテリ タブ ◇

充電池を使っている(ACアダプターを接続していない)ときの設定をします。

MEMO

● **キーボードのバックライトについて**
「バックライトを消すまでのアイドル時間」にチェックを付けて設定した時間が経過すると、キーボードのバックライトは消えます。
ボタンや画面を操作すると、キーボードのバックライトも点灯します(キーボードのバックライトの明るさは調節できません)。

◇ 外部電源タブ ◇

ACアダプターを接続しているときの設定をします。

◇ 明るさタブ ◇

バックライトの明るさを設定します。
充電池使用時、ACアダプター（外部電源）使用時それぞれの明るさを設定できます。

- スライダーを左端に移動すると、バックライトは消灯します。
  バックライトを消灯すると、キーボードのバックライトも消灯します。
  また、バックライトの明るさを左端以外（消灯以外）にすると、キーボードのバックライトも点灯します。キーボードのバックライトの明るさは調節できません。

4 設定が終われば、ok にタップします。

バージョン情報などを確認する

CPUやメモリ容量など、この製品に関するバージョン情報を確認できます。

1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“バージョン情報”にタップします。**

バージョン情報確認画面が表示されます。

3 **バージョン情報やこの製品の名前を確認します。**

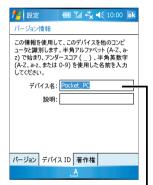
◇ バージョン タブ ◇

この製品のバージョン情報を確認できます。

◇ 著作権 タブ ◇

この製品の著作権について確認できます。

◇ デバイスID タブ ◇

この製品の名前を設定します。

ActiveSyncを行ったときなど、ここで設定したデバイス名がパソコン側の画面に表示されます。

4 **確認／設定が終われば、ok にタップします。**

7 設定

各種設定

パワーマネージメントを設定する

充電池の残量確認やオートパワーオフまでの時間などを設定します。

1 **スタート メニューの “設定”にタップして、 システム タブにタップします。**

2 **“パワーマネージメント”にタップします。**

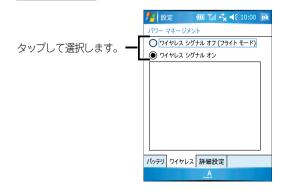
パワーマネージメント設定画面が表示されます。

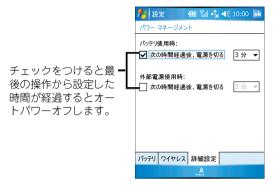
3 **充電池の残量の確認や、パワーマネージメントの設定をします。**

◇ バッテリ タブ ◇

充電池(バッテリ)の残量を確認できます。

◇ ワイヤレス タブ ◇

内蔵ワイヤレスLAN機能をフライトモードにできます。
フライトモードにしても内蔵ワイヤレスLANに電源は供給されており、充電池を消耗しています。ワイヤレスLANを使用しないときは、7-43ページの 無線ON／OFF タブをご覧になり内蔵ワイヤレスLANを停止してください。

◇ 詳細設定タブ ◇

最後の操作から一定時間が経過すると、この製品の電源が自動的に切れるようにオートパワーオフの設定をします。
オートパワーオフで電源が切れても電話着信／ライトメール受信時などは自動的に電源が入ります（☞1-12ページ）
バッテリ（充電池）使用時と外部電源使用時（ACアダプター接続時）を別々に設定します。

- 通話中やインターネットなどで通信中のときは、設定時間を経過しても、使用しているプログラムや動作状況によってすぐにオートパワーオフしない場合があります。
- **以下のときは、設定した時間が経過してもオートパワーオフしません。**
  - ・ワイヤレスLAN接続中
  - ・通話中
  - ・インターネットなどで通信中
  - ・ActiveSyncでパソコンと接続中
  - ・Windows Media Player 10 Mobileで再生中
  - ・ブンコビューアの自動表示中

4 設定が終われば、ok にタップします。

プログラムを削除する

追加したプログラムを削除します。

1 すべてのプログラムを終了します。

プログラムの終了については、7-42ページをご覧ください。

2 スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。

3 “プログラムの削除”にタップします。

プログラムの削除設定画面が表示されます。

4 削除するプログラムを選択し、削除 にタップします。

5 確認画面で、はい にタップします。

- あらかじめこの製品にインストールされているプログラムは削除できません。

メモリを確認する

メモリの使用状況を確認したり、実行しているプログラムの切り替えや終了をしたりできます。

1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“メモリ”にタップします。**

メモリ設定画面が表示されます。

3 **メモリの使用状況を確認したり、プログラムを終了します。**

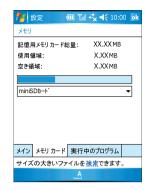
◇ メイン タブ ◇

メモリの使用領域や空き領域を確認できます。

7
設定

各種設定

◇ メモリカード タブ ◇

装着しているメモリカードの使用容量／空き容量を確認できます。

◇ 実行中のプログラム タブ ◇

実行中のプログラムを確認できます。

4 設定が終われば、ok にタップします。

ユーティリティの設定をする

通信モードやワイヤレスLANなどの設定を行います。

1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“ユーティリティ”にタップします。**

ユーティリティ画面（通信モード タブ）が表示されます。

3 **通信モードなどの設定をします。**

◇ 通信モード タブ ◇

パソコンとこの製品を接続したとき、同期またはモデムとして使用するのかを設定します。

◇ 無線ON／OFF タブ ◇

PHS電波（PHS電話機能）と内蔵ワイヤレスLANのON（有効）／OFF（停止）を設定します。

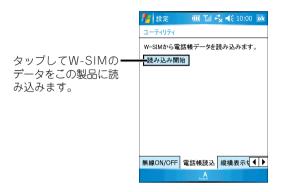
7 設定

各種設定

MEMO

● PHS電波を停止すると、電話やライトメールなどができなくなります。
内蔵ワイヤレスLANを停止すると、内蔵ワイヤレスLANへの電源供給が止まり使用できなくなります。フライトモード（☞7-5ページ）にしても電源は供給されますが、この方法では電源供給も止まります。

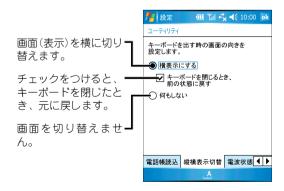
◇ 電話帳読込 タブ ◇

他の商品でW-SIMに保存した電話帳のデータを、この製品に読み込みます。

ご注意！

● 読み込みを一度行ったのち再度、読み込みを行うと、同じデータが読み込まれてデータが重複します。

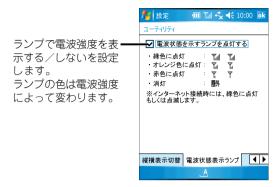
◇ 縦横表示切替 タブ ◇

キーボードを開いたとき、画面を横に切り替える／切り替えないを設定します。

ご注意！

● カメラ撮影時（☞4-3ページ）は、キーボードを開いたり、閉じたりしても画面は切り替わりません。

● 画面の向き（キーボードの開閉に関わらない）は“画面”で設定します（☞7-50ページ）。

◇ 電波状態表示ランプタブ ◇

電波状態ランプを点灯する／しないを設定します。電波状態ランプ（☞1-2、1-4ページ）の色で電波強度が分かります。

● ホームページ閲覧などでPHS電話機能を使ってインターネットに接続したときは、ランプ（緑色）の点灯／点滅で電波状態を示します（☞1-4ページ）。

設定が終われば、ok にタップします。

設定が保存されます。

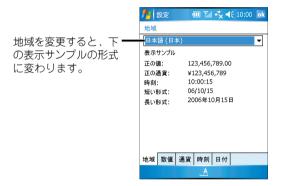
地域を設定する

この製品で使う数値の表示形式を変更できます。

1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“地域”にタップします。**
地域設定画面が表示されます。

3 **数値の表示形式などを設定します。**

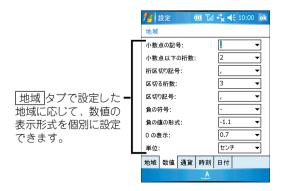
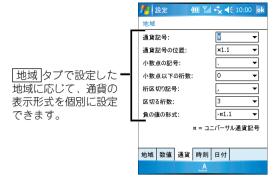
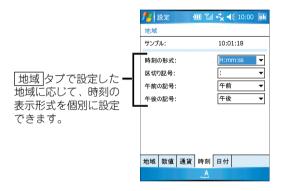
◇ 地域 タブ ◇

● 地域を変更し ok にタップすると、「再起動してください」と表示されます。このときは、リセット（☞8-2ページ）を行ってください。

◇ 数値 タブ ◇

◇ 通貨タブ ◇

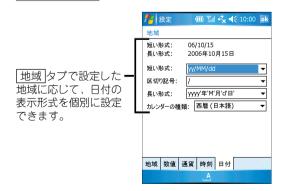
地域タブで設定した地域に応じて、通貨の表示形式を個別に設定できます。

◇ 時刻タブ ◇

地域タブで設定した地域に応じて、時刻の表示形式を個別に設定できます。

MEMO

● 地域を日本に選択したときは(☞前ページ)時刻表示は24時間制になります。

◇ 日付タブ ◇

地域タブで設定した地域に応じて、日付の表示形式を個別に設定できます。

4 設定が終われば、ok にタップします。

時計とアラームを設定する

現在地と訪問先の時刻や、決まった時刻にアラームを表示する設定などができます。

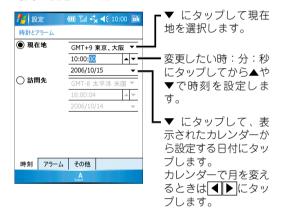
1 **スタートメニューの“設定”にタップして、システムタブにタップします。**

2 **“時計とアラーム”にタップします。**

時計とアラーム設定画面が表示されます。

3 **時刻やアラームに関する設定をします。**

◇ 時刻タブ ◇

現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。

- 画面の時分秒のいずれかにタップすると時刻は止まったように見えますが、「訪問先」(灰色になっている時分秒)の時刻で分かるように時刻は進んでいます。このため、変更する時刻の秒を「00」にして、時報に合わせてokにタップしても実際の時刻と合わなくなります。
  正確に時刻を合わせるためには、時報などに合わせて、変更する秒を「00」にしてください。
  また、ActiveSyncと同期するとパソコンと時刻を合わせることができます(☞5-8ページ)。

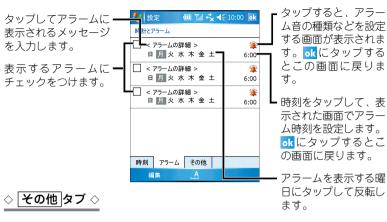
◇ アラーム タブ ◇

決まった時刻に通知するアラームを設定します。

◇ その他 タブ ◇

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

7 設定

各種設定

画面の設定／タッチスクリーンの補正をする

画面表示の方向や文字のサイズの設定ができます。

1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“画面”にタップします。**

画面設定画面が表示されます。

3 **画面に関する設定をします。**

◇ 全般 タブ ◇

画面の向きを設定したり、タッチスクリーンの調節をしたりします。

「横（右きき）」または「横（左きき）」を選択すると横画面に切り替わります。

選択した画面の向きが表示されます。

画面にタップした位置と反応する位置がずれているときは、タップしてタッチスクリーンの補正をします。

- キーボードを開いたときに画面を横に切り替えるように設定できます（☞7-44ページ）。

◇ 文字サイズ タブ ◇

文字サイズの設定をします。

つまみをドラッグして設定します。

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

証明書を確認する

個人の身元を証明する個人証明書や、接続先のサーバーを識別する証明書を確認できます。

1 スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。

2 “証明書”にタップします。

証明書の管理画面が表示されます。

3 証明書を確認します。

◇ 個人 タブ ◇

タップすると証明書の詳細が表示されます。ok にタップするとこの画面に戻ります。

◇ ルート タブ ◇

タップすると証明書の詳細が表示されます。ok にタップするとこの画面に戻ります。

4 確認が終われば、ok にタップします。

● 証明書についてくわしくは、ヘルプをご覧ください。

8 付録

異常が起きたとき

異常が起きたときは、まず「困ったときは」(☞8-26ページ)を参照してください。
「困ったときは」をご覧になっても症状が改善されず、データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しく働かない、など異常状態のときは、次の対処方法を順に試してみてください。

①リセット
②フルリセット
③完全消去(フォーマット)

① リセットする

データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しく働かない、などのときにリセット操作を試してみてください。
リセット操作を行うと編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。

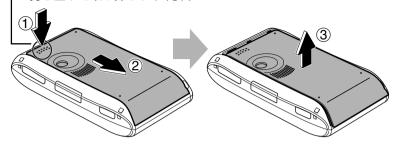
1 すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります(☞1-11ページ)。

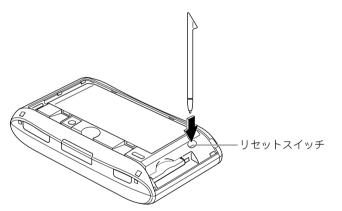
動作しない場合には、手順**2**へ進んでください。

2 この製品にUSBケーブルやminiSDカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

3 本体裏側の充電池ぶたを取り外します。

1 ここの突部を矢印の方向に押し（①）ながら、スライドします（②）。

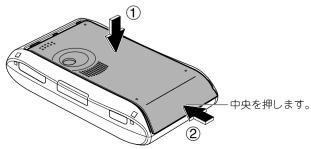
2 持ち上げて取り外します（③）。

4 約15秒待って、リセットスイッチをスタイラスペンで押します。

リセットされます。

ご注意！

- リセットスイッチを押す前には、約15秒待ってください。

5 充電池ぶたを取り付けます。

1 充電池ぶたを置きます（①）。

2 図のように中央を押して取り付けます（②）。

6 PWR ボタンを約2～3秒間押して電源を入れます。

電源が入らないときは、ACアダプターを接続して充電してください。

MEMO

- 誤ってこの製品を落下させないよう十分注意してください。

7 Today画面（待ち受け画面）が表示されます。

リセット後は、時刻が合っているか確認してください。

② フルリセットする

リセット（☞8-2ページ）しても正常に動作しないときは、次の方法でフルリセットしてください。この方法も編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞1-11ページ）。**

動作しない場合には、手順**2**に進んでください。

2 **この製品にUSBケーブルやminiSDカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。**

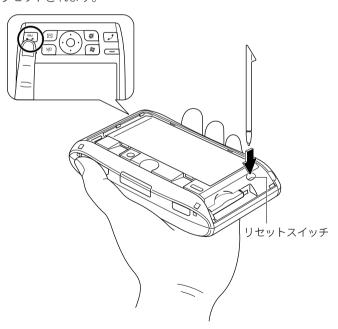
3 **裏側の充電池ぶたを取り外します（☞8-3ページの手順3）。**

4 **約15秒待って、[PWR]ボタンを押しながらリセットスイッチをスタイラスペンで押します。**

フルリセットされます。

8

付録

異常が起きたとき

5 充電池ぶたを取り付けます（☞8-3ページの手順5）。

6 [PWR]ボタンを約2～3秒間押して電源を入れます。

電源が入らないときは、ACアダプターを接続して充電してください。

7 Today画面（待ち受け画面）が表示されます。

8 時計画面を表示し、日付／時刻を設定します。

時刻設定画面は、Today画面（待ち受け画面）でにタップして「時計とアラーム」画面を表示します。時刻と日付を設定します。
「時計とアラーム」画面については、7-48ページをご覧ください。

ご注意!
● フルリセット後は必ず手順**8**を行い、日付／時刻を合わせてください。

③ 完全消去する（フォーマット）

8-2～6ページの①と②を行っても正常に動作しないときなどは、本体の全データを消去してフォーマットします。

ご注意！
- **データがすべて消去されます。**
  ご購入後に入力したデータや設定、追加したプログラムなどがすべて消去されます。

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞1-11ページ）。**
動作しない場合には、手順**2**に進んでください。

2 **この製品にUSBケーブルやminiSDカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。**

3 **裏側の充電池ぶたを取り外します（☞8-3ページの手順3）。**

4 **約15秒待って、リセットスイッチをスタイラスペンで押します（☞8-3ページの手順4）。**

5 **充電池ぶたを取り付けます（☞8-3ページの手順5）。**
さらにACアダプターを接続します。

6 **本体を表にして、キーボードを開きます。**

7 **Fnキーと Fキーの両方を押したままで、PWRボタンを長く（約2～3秒）押します。**

8 **しばらくすると、本体が起動し画面全体が白く表示され確認画面が表示されます。**

9 **okボタンを押します。**
完全消去が始まりますので、終わるまで待ちます。
終了後はセットアップ画面が表示されますので、画面の指示に従ってセットアップを行います。

充電池について

充電池を安全にお使いいただくために、「安全にお使いいただくために」(☞0-6ページ)をよくお読みください。

使用できる充電池

リチウムイオン充電池:EA-BL12
※EA-BL12以外の充電池は使用しないでください。

- 通常は、電源を切った状態で充電し始めてから約3.5時間で満充電されますが、工場出荷時からの時間の経過により、ご購入直後の充電時間は変わります。
- 充電池は、ご使用にならなくても自然に放電します。充電池の消耗によるトラブルを避けるために、長期間ご使用にならないときは、使用される前に充電されることをおすすめします。

充電する

この製品に充電池を取り付け、ACアダプターを接続して充電します(☞1-9ページ)。
使用しながら充電を行った場合、充電が完了するまで長い時間がかかるため、充電するときは電源を切ることをおすすめします。
充電中に温かくなることがありますが、故障ではありません。

残量を確認する

充電池の残量は、タイトルバーの充電池残量のアイコンで確認することができます(☞1-18ページ)。
パワーマネージメント画面(バッテリ タブ)でも確認できます(☞7-38ページ)。

充電池を交換する

1 この製品の電源を切ります(☞1-11ページ)。
また、USBケーブルを接続しているときは、取り外します。

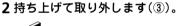
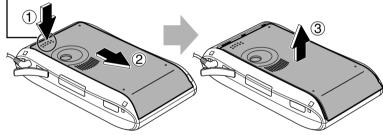
2 表示が消えたことを確認してから、裏返します。

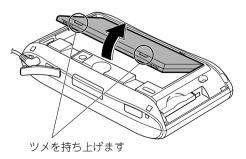
3 ACアダプターを接続します(☞1-9ページ)。

ご注意!

- ACアダプターを接続せずに(手順**3**を行わずに)充電池を交換すると、リセットがかかり手順**8**のあと約1分後にToday画面(待ち受け画面)が表示されます。さらに時刻が合っているか必ず確認してください。
このようなことを避けるために、ACアダプターは必ず接続してください。

4 本体裏側の充電池ぶたを取り外します。

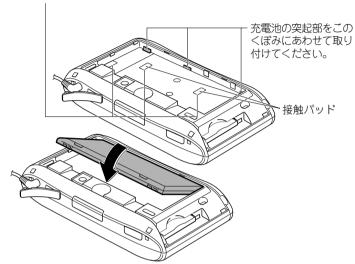
1 ここの突部を矢印の方向に押し(①)ながら、スライドします(②)。

2 持ち上げて取り外します(③)。

5 消耗した充電池を持ち上げて取り外します。

ご注意!

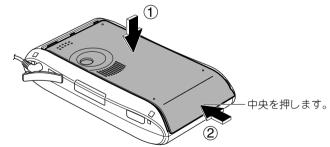
- 充電池は端子面を下にして金属などの導電性物の上に置かないでください。ショートの原因になります。

6 図のようにして充電池の突起部をこの製品のくぼみにあわせて取り付けます。

ご注意!

● 充電端子や接触パッドに金属片や鉛筆の芯などの導電性の物が触れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因になります。

7 充電池ぶたを取り付けます。

1 充電池ぶたを置きます(①)。

2 図のように中央を押して取り付けます(②)。

8 [PWR]ボタンを長く押します。電源が入らないときは手順1からやり直してください。

電源が入ります。

交換した充電池を充電するときは、いったんACアダプターを取り外し、再度、ACアダプターを取り付けてください。

ACアダプターを接続せずに充電池を交換したときは、日付と時刻が合っているか確認してください。合っていないときは、7-48ページをご覧になり設定してください。

W-SIMを取り外す／取り付ける

1 この製品の電源を切ります（☞1-11ページ）。

2 この製品にUSBケーブルやminiSDカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

3 本体裏側の充電池ぶたを取り外します（☞8-9ページの手順4）。

4 W-SIMを取り外します。または、取り付けます。

取り外す

W-SIMを指で押し込み、スロットから外れたカードを抜き取ります。

取り付ける

端子側を下向きにしてW-SIMを取り付けます。

5 充電池ぶたを取り付けます（☞前ページの手順7）。

※上記の方法で正常に動作しない場合は、充電池ぶたを取り外してリセットスイッチを押してください（☞8-3ページ）。

8
付録
W-SIM

シフトJISコード表

絵文字の入力と、シフトJISコードを使って文字や記号を入力できるのはライトメールのみです(☞2-70ページ)。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8140		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾
8150	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼
8160	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛
8170	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	
8180	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
8190	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆
81A0	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓			
81B0									∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩
81C0									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	・
81D0											∠	⊥	⌒	∂	∇	≡
81E0	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬							
81F0	Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯			
8240																０
8250	１	２	３	４	５	６	７	８	９							
8260	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ
8270	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ						
8280		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
8290	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					ぁ
82A0	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け
82B0	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち
82C0	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
82D0	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め
82E0	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ
82F0	を	ん														
8340	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ
8350	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ
8360	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ
8370	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	
8380	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
8390	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									Α
83A0	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ
83B0	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α
83C0	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
83D0	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω									
8440	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О
8450	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю
8460	Я															
8470	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	
8480	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
8490	ю	я														─
84A0	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗
84B0	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂	
8740	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
8750	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ		㍉
8760	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜
8770	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻	
8780	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
8790	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪			
8890																亜
88A0	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
88B0	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷
88C0	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
88D0	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣
88E0	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨
88F0	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭			
8940	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓
8950	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲
8960	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴
8970	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	
8980	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
8990	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	押
89A0	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶
89B0	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価
89C0	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
89D0	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過
89E0	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会
89F0	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改			
8A40	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外
8A50	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣
8A60	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚
8A70	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	
8A80	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
8A90	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	粥
8AA0	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官
8AB0	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢
8AC0	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
8AD0	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩
8AE0	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇
8AF0	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄			
8B40	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌
8B50	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇
8B60	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍
8B70	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	
8B80	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
8B90	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	供
8BA0	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯
8BB0	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響
8BC0	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
8BD0	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近
8BE0	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具
8BF0	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈			
8C40	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫
8C50	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契
8C60	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経
8C70	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨	
8C80	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
8C90	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	検
8CA0	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険
8CB0	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺
8CC0	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8CD0	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午
8CE0	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉
8CF0	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向			
8D40	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘
8D50	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩
8D60	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔
8D70	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降	
8D80	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
8D90	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	此
8DA0	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮
8DB0	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐
8DC0	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
8DD0	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪
8DE0	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾
8DF0	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷			
8E40	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三
8E50	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸
8E60	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉
8E70	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	
8E80	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
8E90	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	次
8EA0	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識
8EB0	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質
8EC0	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
8ED0	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	釈
8EE0	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣
8EF0	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周			
8F40	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆
8F50	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔
8F60	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出
8F70	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	
8F80	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
8F90	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	勝
8FA0	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄
8FB0	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵
8FC0	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
8FD0	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鍾
8FE0	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾
8FF0	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾			
9040	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇
9050	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神
9060	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵
9070	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	
9080	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
9090	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	澄
90A0	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星
90B0	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請
90C0	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
90D0	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節
90E0	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰
90F0	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線			
9140	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前
9150	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙
9160	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双
9170	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	
9180	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
9190	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	臓
91A0	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊
91B0	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰
91C0	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
91D0	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮
91E0	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托
91F0	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只			
9240	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹
9250	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆
9260	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛
9270	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	
9280	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
9290	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	帖
92A0	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹
92B0	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍
92C0	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
92D0	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴
92E0	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵
92F0	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓			
9340	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹
9350	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点
9360	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登
9370	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	
9380	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
9390	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	董
93A0	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同
93B0	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳
93C0	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
93D0	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那
93E0	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難
93F0	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入			
9440	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念
9450	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農
9460	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳
9470	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	
9480	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
9490	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	函
94A0	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪
94B0	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆
94C0	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
94D0	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲
94E0	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費
94F0	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美			
9540	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧
9550	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟
9560	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓
9570	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	
9580	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
9590	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	福
95A0	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮
95B0	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄
95C0	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
95D0	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕
95E0	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包
95F0	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋			
9640	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽
9650	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒
9660	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲
9670	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
9680	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
9690	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	漫
96A0	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民
96B0	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟
96C0	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
96D0	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻
96E0	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄
96F0	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒			
9740	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌
9750	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	誉
9760	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔
9770	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲	
9780	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
9790	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	痢
97A0	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留
97B0	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料
97C0	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
97D0	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令
97E0	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦
97F0	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯			
9840	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼
9850	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録	論
9860	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀
9870	湾	碗	腕													
9890																弌
98A0	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍
98B0	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭
98C0	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
98D0	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤	俥	倚
98E0	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假
98F0	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲			
9940	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖
9950	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩
9960	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩
9970	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭	
9980	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
9990	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	辧
99A0	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹
99B0	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅
99C0	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
99D0	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽	呀	听
99E0	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻
99F0	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨			
9A40	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹
9A50	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟
9A60	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤
9A70	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸	
9A80	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
9A90	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	圈
9AA0	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀
9AB0	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊
9AC0	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
9AD0	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥	壜	壤
9AE0	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲
9AF0	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩			
9B40	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑
9B50	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽
9B60	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃
9B70	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	
9B80	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
9B90	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	屐
9BA0	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷
9BB0	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛
9BC0	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
9BD0	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛	巫	已

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9BE0	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢
9BF0	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏			
9C40	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾
9C50	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑
9C60	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙
9C70	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠	
9C80	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
9C90	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	悄
9CA0	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘
9CB0	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾
9CC0	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
9CD0	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚	憊	憑
9CE0	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶
9CF0	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛			
9D40	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂
9D50	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈
9D60	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐
9D70	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫	
9D80	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
9D90	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	據
9DA0	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶
9DB0	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸
9DC0	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
9DD0	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊	昃	旻
9DE0	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢
9DF0	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼			
9E40	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧
9E50	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩
9E60	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞
9E70	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎	
9E80	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
9E90	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	棔
9EA0	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡
9EB0	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞
9EC0	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
9ED0	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹	槲	槧
9EE0	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸
9EF0	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣			
9F40	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅
9F50	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙
9F60	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪
9F70	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	
9F80	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
9F90	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	沺
9FA0	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣
9FB0	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸
9FC0	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
9FD0	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤	滿	渝
9FE0	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂
9FF0	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌			
E040	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎
E050	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱
E060	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰
E070	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝	
E080	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
E090	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	燹
E0A0	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘
E0B0	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒
E0C0	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
E0D0	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎	玻	珀

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
E0E0	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜
E0F0	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱			
E140	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍
E150	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧
E160	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂
E170	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿	
E180	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
E190	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	癲
E1A0	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹
E1B0	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩
E1C0	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
E1D0	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚
E1E0	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌
E1F0	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬			
E240	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕
E250	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬
E260	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉
E270	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰	
E280	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
E290	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	筺
E2A0	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟
E2B0	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩
E2C0	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
E2D0	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖	籥	籬
E2E0	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀
E2F0	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆			
E340	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨
E350	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫
E360	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊
E370	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷	
E380	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
E390	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	罅
E3A0	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆
E3B0	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱
E3C0	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
E3D0	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨	聳	聲
E3E0	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥
E3F0	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋			
E440	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂
E450	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉
E460	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與
E470	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤	
E480	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
E490	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	茵
E4A0	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟
E4B0	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫
E4C0	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
E4D0	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬	葯	葹
E4E0	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡
E4F0	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈			
E540	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜
E550	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋
E560	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩
E570	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬	
E580	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
E590	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	蝓
E5A0	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇
E5B0	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢
E5C0	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
E5D0	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿	袱	裃

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
E5E0	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃
E5F0	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞			
E640	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦
E650	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐
E660	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂
E670	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧	
E680	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
E690	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	譟
E6A0	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈
E6B0	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼
E6C0	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
E6D0	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧	赭	赱
E6E0	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣
E6F0	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊			
E740	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇
E750	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅
E760	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟
E770	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜	
E780	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
E790	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	遏
E7A0	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽
E7B0	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙
E7C0	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
E7D0	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼	釵	釶
E7E0	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐
E7F0	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮			
E840	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔
E850	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇
E860	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰
E870	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	門	閇	閊	閔	閖	閘	閙	
E880	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
E890	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	陝
E8A0	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸
E8B0	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑
E8C0	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
E8D0	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜
E8E0	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵
E8F0	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰			
E940	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔
E950	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑
E960	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮
E970	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃	
E980	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
E990	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	髻
E9A0	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃
E9B0	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀
E9C0	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
E9D0	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇
E9E0	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆
E9F0	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈			
EA40	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲
EA50	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚
EA60	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸
EA70	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯	
EA80	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
EA90	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	堯
EAA0	槇	遙	瑤	凜	熙											

絵文字一覧

シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字
F040		F060		F080		F0A0		F0C0		F0E0	
F041		F061		F081		F0A1		F0C1		F0E3	
F042		F062		F082		F0A2		F0C2		F0E7	
F043		F063		F083		F0A3		F0C3		F0E9	
F044		F064		F084		F0A4		F0C4		F0F0	SEIBU
F045		F065		F085		F0A5		F0C5		F0FC	
F046		F066		F086		F0A6		F0C6		F140	
F047		F067		F087		F0A7		F0C7		F148	
F048		F068		F088		F0A8		F0C8		F14D	
F049		F069		F089		F0A9		F0C9		F150	
F04A		F06A		F08A		F0AA		F0CA			
F04B		F06B		F08B		F0AB		F0CB			
F04C		F06C		F08C		F0AC		F0CC			
F04D		F06D		F08D		F0AD		F0CD			
F04E		F06E		F08E		F0AE		F0CE			
F04F		F06F		F08F		F0AF		F0CF			
F050		F070		F090		F0B0		F0D0			
F051		F071		F091		F0B1		F0D1			
F052		F072		F092		F0B2		F0D2			
F053		F073		F093		F0B3		F0D3			
F054		F074		F094		F0B4		F0D4			
F055		F075		F095		F0B5		F0D5			
F056		F076		F096		F0B6		F0D6			
F057		F077		F097		F0B7		F0D7			
F058		F078		F098		F0B8		F0D8			
F059		F079		F099		F0B9		F0D9			
F05A		F07A		F09A		F0BA		F0DA			
F05B		F07B		F09B		F0BB		F0DB			
F05C		F07C		F09C		F0BC		F0DC			
F05D		F07D		F09D		F0BD		F0DD			
F05E		F07E		F09E		F0BE		F0DE			
F05F		F07F		F09F		F0BF		F0DF			

ローマ字→かな変換表

キーボードまたは文字入力パネルでローマ字入力することができます。

あア行	A	I	U	E	O
かカ行	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さサ行	SA	SI SHI	SU	SE	SO
たタ行	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
なナ行	NA	NI	NU	NE	NO
はハ行	HA	HI	HU FU	HE	HO
まマ行	MA	MI	MU	ME	MO
やヤ行	YA		YU		YO
らラ行	RA	RI	RU	RE	RO
わワ行	WA				WO(を)
んン	N	NN			

がガ行	GA	GI	GU	GE	GO
ざザ行	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だダ行	DA	DI	DU	DE	DO
ばバ行	BA	BI	BU	BE	BO
ぱパ行	PA	PI	PU	PE	PO

きゃキャ行	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃシャ行	SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃチャ行	TYA CHA CYA	TYI CYI	TYU CHU CYU	TYE CHE CYE	TYO CHO CYO
にゃニャ行	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃヒャ行	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃミャ行	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃリャ行	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃギャ行	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃジャ行	ZYA JA JYA	ZYI JYI	ZYU JU JYU	ZYE JE JYE	ZYO JO JYO
ぢゃヂャ行	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃビャ行	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃピャ行	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
いぇイェ行				YE	
くぁクァ行	QA KWA	QI		QE	QO
くゎクヮ行		QWI	QWU	QWE	QWO
ぐぁグァ行	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
つぁツァ行	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃテャ行	THA	THI	THU	THE	THO
でゃデャ行	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ふぁファ行	FA	FI		FE	FO
ふゃフャ行	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
うぃウィ行		WI			
うぇウェ行				WE	
とぅトゥ行			TWU		
どぅドゥ行			DWU		
ヴぁヴァ行	VA	VI	VYU	VE	VO

●撥音(はつおん)の入力

・"ん､ン"の次に母音または"Y"がくるときや"ん､ン"で終わるとき"N"を2回入力する
　ほんやく→HONNYAKU
　はんい→HANNI
　ほん→HONN
・上記以外のとき
　ほんき→HONKI

●促音の入力

"N"と"Y"以外の子音を重ねる
けっか→KEKKA
トップ→TOPPU

●特殊な表現の入力

ヴゅ→VYU

●小さい文字（ァ、ィ、ゥ、ェ、ォ、ヵ、ヶ、ッ、ャ、ュ、ョ、ヮ）の単独入力

・"X"または"L"(エル)の次に、それぞれの文字を入力する。
　ティータイム→TEXI-TAIMU
　トップ→TOXTUPU
・"ヵ"と"ヶ"はカタカナで入力される。

仕様について

本体

形名	WS003SH
OS	Microsoft(R) Windows Mobile™ 5.0 software for Pocket PC 日本語版
CPU	Intel® PXA270 プロセッサ 416MHz
本体メモリ	Flashメモリ128MB（本体システム領域等含む） （ユーザーエリア：約75MB） SDRAM 64MB（ワークエリア）
表示部	640×480 ドット　3.7型　65,536色 モバイルASVシステム液晶（バックライト付き）
通信機能	PHS（W-SIM）
内蔵ワイヤレスLAN	IEEE802.11b準拠
内蔵カメラ	有効画素数：約133万画素
カードスロット	miniSD™カードスロット×1、W-SIMスロット×1
接続端子	USB端子（USB 2.0 Full Speed（12Mbps））、 ACアダプター端子、イヤホンマイク端子（平型）
電源	DC 3.7V　充電池：リチウムイオン充電池（EA-BL12）
消費電力	W-SIM（装着時）：4.1W W-SIM（取外時）：3.7W
使用温度	0〜40℃
外形寸法	（高さ）約130mm×（幅）約70mm×（厚さ）約26mm （キーボード収納時、突起部除く）
質量	約220g（充電池、スタイラスペン含む）
付属品	W-SIM（※1）、充電池（EA-BL12）、USBケーブル、 ACアダプター（EA-75）、ソフトケース、スタイラスペン、 『はじめにお読みください』、『取扱説明書』、CD-ROM、保証書
プログラム	電話、メール、ライトメール、Internet Explorer Mobile、 予定表、連絡先、仕事、メモ、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、 Word Mobile、Windows Media Player 10 Mobile、 画像とビデオ、電卓、ゲーム、バックアップツール、 Picsel PDF Viewer、ActiveSync、ブンコビューア、 JBlend（Java™アプリ）
連続待受時間	約200時間（電波状態ランプ消灯時）※2
連続通話時間	約5時間

※1　W-SIMは、箱に入っています。
※2　電波状態ランプ点灯時、連続待受時間は半分以下になる場合があります。

充電池（EA-BL12）

公称電圧	3.7V
公称容量	1500mAh
充電時間	満充電になるまでの時間：約3.5時間（常温25℃、電源を切った状態での目安）
使用温度	0〜40℃
充電温度	5〜35℃
充放電回数	約500回

ACアダプター（EA-75）

入力	100V-240V 50/60Hz
出力	DC 5V 1A

アフターサービスについて

保証について

①この製品には保証書がついています。

・保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

②保証期間は、お買いあげの日から1年間です。

・保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

③保証期間後の修理は…

・修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

・当社は、この製品の補修用性能部品を、製造打切後5年保有しています。
・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

①「困ったときは」(☞8-26ページ)をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
②それでも異常があるときは使用をやめて、ウィルコムサービスセンター(☞次ページ)、またはシャープドキュメントシステム株式会社(☞次ページ)にお申しつけください。ご自分での修理はしないでください。
③故障・修理のときは、本体のデータや追加ソフトウェアは消去されます。

修理に関するお問い合わせ先

- ウィルコムサービスセンター
  ウィルコムの電話から ....（局番なしの）116
  一般加入電話・公衆電話から 0120-921-156
  （携帯電話・PHSからもかけられます）
  受付時間　9：00〜21：00（日・祝日を除く）

- シャープドキュメントシステム株式会社
  大阪フィールドサポートセンター
  住所　　　　：大阪市平野区加美南3丁目7番19号
  ナビダイヤル：0570-081010
  ※全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
  ※IP電話・PHSからはご利用いただけません。06-6794-9708へおかけください。

携帯電話・PHS端末のリサイクルについて

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず下記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

ご注意！

- 回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客様の情報（電話帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

困ったときは

この製品を使っていて、『使いかたが分からないとき』や『困ったときは』、ここに書いている内容をご覧ください。

電話操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● **電話がかからない**	● 市外局番からダイヤルしていますか。 ● エリア外から電話をかけていませんか。また、サービスエリア外や電波の届きにくい場所から電話をかけていませんか(☞1-4ページ)。 ● インターネットに接続中ではありませんか。タイトルバーに⇄アイコンが表示されていると、インターネットに接続中です。接続を切ってください(☞0-21、2-84ページ)。 ● 通話／通信機能が制限されていませんか。通話／通信機能の制限を解除してください(☞2-105ページ)。 ● W-SIMはきっちりと装着されていますか。充電池ぶたを取り外し確認してください(☞8-11ページ)。
● **着信音が鳴らない**	● 着信音の音量を確認してください(☞2-92ページ)。 ● マナーモードを設定していませんか(☞2-100ページ)。 ● 安全運転モードを設定していませんか(☞2-101ページ)。
● **電話がかかってこない**	● サービスエリア外や電波の届きにくい場所にいませんか(☞1-4ページ)。 ● 着信拒否の設定をしていませんか(☞2-104ページ)。 ● インターネットに接続中ではありませんか。タイトルバーに⇄アイコンが表示されていると、インターネットに接続中です。接続を切ってください(☞0-21、2-84ページ)。 ● 着信転送サービスを利用していませんか(☞2-113ページ)。

	● 電源を切っていませんか(☞1-11ページ)。 ● タイトルバーに⇄が表示されていませんか。このアイコンが表示されていると回線が接続したままになっています。Internet Explorer Mobileを使ってホームページを閲覧したあと、画面右上のokにタップしただけでは、回線は切れず接続したままになっています。 PWRボタンを押します。またはタイトルバーの⇄にタップし、表示されたウィンドウの切断にタップして、回線を切断してください(☞0-21、2-84ページ)。
● **通話中、相手の声が聞き取りにくい、雑音が入る**	● アンテナマークがY.ılやY.ılになっていますか。Y.ılやY.ılになる場所に移動してください(☞1-4、1-17ページ)。 ● 周囲が高いビルに囲まれている場所ではありませんか。見通しのよい場所に移動してください。 ● 受話音量が小さくなっていませんか(☞2-13ページ)。

本体操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● **画面が暗い**	● 充電池の残量が少なくなっていませんか(☞1-18、7-38ページ)。
● **充電ランプが点灯しない** ● **充電ランプが点滅する**	● 指定のACアダプターは正しく接続されていますか(☞1-9ページ)。 ● ACアダプターとUSBケーブルを取り外してから充電池をいったん取り出し、再び充電池を取り付けてリセットしてください(☞8-2、8-9ページ)。
● **充電したが本体の電源が入らない** ● **充電開始後所定の充電時間以上が経過しても充電ランプが消灯しない**	● 長期間使用しなかったときなど充電池が過放電の状態になっている場合は、しばらく充電しても本体の電源が入らなかったり、所定の充電時間以上充電しても、充電ランプが黄緑色にならなかったりすることがあります。そのときには、ACアダプターとUSBケーブルを取り外してからリセット(☞8-2ページ)をして再度充電してみてください。 ● 指定の周囲温度(5～35℃)で充電してください。 ● 充電が終了し、そのままにしておくと、充電池を消費し、また充電がはじまる場合があります。

● 急に電源が切れた	● オートパワーオフが働くと電源が切れます（☞7-39ページ）。 ● 充電池が消耗すると、電源が切れます。すぐにACアダプターを使って充電してください（☞1-9ページ）。 ● 強い静電気や電気的なノイズなどを受けたときに、電源が切れることがあります。
● PWRボタンを押しても何も表示されない（電源が入らない） ● 画面が明るくなるだけで文字などが表示されない	● PWRボタンを約2～3秒以上押し続けていますか。すぐPWRボタンを離すと電源は入りません（☞1-11ページ）。 ● 充電池が消耗していませんか（☞1-18、7-38ページ）。 ● リセットしてください（☞8-2ページ）。
● PWR ボタンを押すと、1、2秒間隔で電源が入りそうになるが、入らない	● 充電池が消耗しています。ACアダプターを使って充電池を充電してください（☞1-9ページ）。
● ACアダプターを使用中や充電中に、ACアダプターやこの製品が温かくなる	● 故障ではありません。ACアダプター使用中や充電中は、ACアダプターやこの製品は温かくなります。
● すべてのキー／ボタンが働かない ● データを正常に表示しない	●「異常が起きたとき」（☞8-2ページ）の対処方法を順に試してみてください。 ● キーロックにしていませんか。 キーロックが働いているとキーやボタンを押しても動作しません。キーロックを解除してください（☞1-7ページ）。
● miniSDカードを認識しない	● 奥までしっかりと装着していることを確認してください。 ● 表裏が逆になっていませんか。端子面を上にして装着してください（☞1-50ページ）。 ● いったん本体からカードを取り外し、リセット（☞8-2ページ）をしてから、再度カードを装着してください。
●「シュルシュル」という音がする	● 静かな場所でご使用のとき、「シュルシュル」という音が聞こえる場合がありますが、これは構成回路の動作音であり、故障ではありません。
● バーコード（JANコード、QRコード）は読みとれるのか	● この製品ではバーコード（JANコード、QRコード）を読み取ることはできません。
● オートパワーオフを設定しているのに働かない	● ワイヤレスLANなど接続中は、オートパワーオフしません。お使いにならないときは、ワイヤレスLANを停止してください（☞7-43ページ）。

インターネット接続／メール操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● インターネット接続ができない	●プロバイダーのアクセスポイントの電話番号があっているか確認してください。 ●インターネットに接続するユーザー名/パスワードが合っているか確認してください。文字を入力時、大文字と小文字、全角と半角、「0」(ゼロ)と「O」(英字のオー)、数字の「1」と「l」(英字のエル)などをまちがえていないか、よく確認してください。 ●サーバーアドレス(DNSサーバー)などが、プロバイダーから指定されたものと合っているか確認してください。 ●電波状況が良好か確認してください(☞1-4、1-17ページ)。
● インターネットに接続すると電波状態ランプが点滅する	●PHS電話機能を使ってインターネット接続中は、電波状態ランプの点灯／点滅で電波状態を示します(☞1-4ページ)。
● メールの送信や受信ができない	●メールアドレス、ユーザー名、パスワード、メールサーバーなどが、プロバイダーから指定されたものと合っているか確認してください。 ●プロバイダーのアクセスポイントの電話番号が合っているか確認してください。 ●ご自分で入会しているプロバイダーのアカウントを使ってメール送信するときは、必ず、画面右下の メニュー ー 送受信 (☞2-29ページの手順**8**)を行ってください。この操作を行わないと、メールは「送信トレイ」に入ったままになっています。
● メールが途中で切れている／添付ファイルが受信できない	●メールの最後部に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、「メッセージの全文／添付ファイルを取得する」(☞2-36ページ)をご覧になり、メールの／添付ファイル取得してください。 ●サーバー情報を設定するとき、「メッセージヘッダーのみ取得する」になっていませんか。2-49ページをご覧になり「メッセージの全文を取得する」を選択すると、メール受信時に添付ファイルも受信します。

● ライトメールの送信ができない	●宛先となる電話番号を間違えていませんか。ライトメールは、ライトメール対応電話機にのみ送信できます。 ●送信相手が電源を切っている、エリア外、話し中などになっていませんか。送信できないライトメールは送信待ちフォルダに入りますので、時間をおいて送信してください(☞2-65ページ)。 ●連絡先に登録している電話番号を使ってライトメールを作成するとき、(電話番号)選択画面でまちがった電話番号を選び(ライトメールに対応していない電話機の電話番号)ライトメールを作成すると、その宛先には送信できません(そのライトメールは送信待ちフォルダに入ります)。宛先の電話番号を確認してください(☞2-8ページ)。
● ライトメールの受信ができない	●エリア外や電源を切っていませんか。エリア外にいると、ライトメールの受信はできません。
● ホームページが表示できない	●サーバーアドレス(DNSサーバー)の設定がまちがえていないか確認してください(☞7-14ページ)。

その他のプログラムで困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● 内蔵カメラで接写ができない	●この製品に内蔵しているカメラの焦点距離は1.2m以上です。これよりも短い距離で撮影すると、焦点が合いません。
● アプリケーションの終了はどのようにするの	●画面の右上の✕にタップしただけでは、アプリケーションは終了しません。7-42ページに記載の方法で、アプリケーションを終了してください。
● メモリー不足の画面が表示された	●使っていないアプリケーションを終了してください(☞7-42ページ)。
● 画面の縦横切り替えなどが遅い	●使っていないアプリケーションを終了してください(☞7-42ページ)。
● 他の機種から電話帳などを転送できない	●W-SIMを使っている機種は、「電話帳読込」を行ってください(☞7-44ページ)。 ●この製品はMicrosoft Outlookと同期できます。お使いの機種がOutlookと同期できる場合は、その機種とOutlookを同期したのちこの製品と同期することで転送することができます。

ワイヤレスLAN接続で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● ワイヤレスLAN接続ができない	● 内蔵ワイヤレスLANが有効か確認してください(☞7-2ページ)。 ● WEPキーがまちがっていませんか。社内ネットワークに接続する場合などは、通常WEPキーが必要となります。7-10ページをご覧になり、WEPキーを確認してください。 ● フライトモードに設定していないか確認してください(☞7-5ページ)。 ● IPアドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定が正しく設定されているか確認してください(☞7-6ページ)。 ● 電波の状態を確認してください。 電波の状態がよくないときは、次の対策を行ってください。 ・インフラストラクチャ通信の場合 アクセスポイントとの距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしてから、再度接続してください。 ・アドホック通信の場合 接続相手との距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしてから、再度接続してください。 ● 接続先のネットワークにアクセスする権限があるかどうか確認してください。
● 一時的にワイヤレスLAN機能を無効にするには	● フライトモードに設定してください(☞7-5ページ)。ワイヤレスLANの使用が禁止されているところで、一時的に内蔵ワイヤレスLAN機能を使用できなくします。
● セキュリティを設定するにはどうしたらいいですか？	● データ暗号化設定をしてください(☞7-10ページ)。 WEPを設定されることを強く推奨します。
● ワイヤレスLANの消費電力を抑えるにはどうしたらいいですか？	● ワイヤレスLANを使用しないときは、無効にしてください(☞7-4ページ)。
● ワイヤレスLANで接続したいのに、PHSで接続される	● ワイヤレスLANが使えない場所やワイヤレスLANが正しく接続できていないことが考えられます。ワイヤレスLANの接続を確認してください。また、ワイヤレスLANが有効(オン)になっていることを確認してください(☞7-3ページ)。

同期(ActiveSync)操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● ActiveSyncがインストールできない ● ActiveSyncを使って接続/同期ができない	● パソコンにウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトをお使いのときは、それらを停止してからインストールしてください(ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトを停止する方法は、各ソフトウェアの問い合わせ先へご確認ください)。 ● パソコンにOutlookがインストールされているか確認してください。ActiveSyncと同期するときは、Microsoft Outlook98以降が必要です。
● 付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続しても、ActiveSyncが動作しない	● パソコンに正しく接続されているか確認してください(☞5-5ページ)。 ● ActiveSyncの接続設定を確認してください。 1. パソコンのActiveSyncを起動させます。 2. [ファイル]ー[接続の設定]で、「USB接続を有効にする」にチェックが付いているか確認してください。 ● USB接続の設定が「モデム」になっていませんか。 ユーティリティ画面(通信モードタブ)をご覧になり、確認してください(☞7-43ページ)。
● 同期がうまく取れなくなってしまったのですが	● 複数のアプリケーション(プログラム)を起動している場合は、起動しているアプリケーションを全て終了してから操作してください。 ● 同期中に接続/切断を繰り返したり、USBケーブルを取り外したりすると、正しく接続できなくなることがあります。 このような時は、本体をリセットし、パソコンを再起動させてからもう一度接続してください。
● 同期する情報の種類を変更するには、どうすればよいのですか?	● 次の操作をしてください。 1. パソコンのActiveSyncを起動させます。 2. [ツール]ー[オプション]をクリックします。 3. 同期する情報の種類を変更して[OK]をクリックします。

株式会社ウィルコムの電話・サービスに関するお問い合わせはウィルコムサービスセンターへ

ご利用のお申し込み・お問い合わせ（無料）

ウィルコムの電話から ………………………… （局番なしの）**116**
一般加入電話・公衆電話から ……………… **0120-921-156**
携帯電話・PHSからもかけられます

受付時間 ／ 9：00〜21：00（日・祝日を除く）

データ通信に関するお問い合わせ（無料）

ウィルコムの電話から ………………………… （局番なしの）**157**
一般加入電話・公衆電話から ……………… **0120-921-157**
携帯電話・PHSからもかけられます

受付時間 ／ 9：00〜21：00（日・祝日も受付）

ホームページもご覧ください

http://www.willcom-inc.com/

商品についてのお問い合わせは・・・

お客様相談センター ……………… **0120-606-512**

受付時間 ／ 月曜〜土曜：午前9時〜午後6時
（日・祝日および年末・年始、当社の休業日は除く）

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492

（TINSJ1353YCZZ）③